

# 全員協議会会議次第

日 時：令和6年6月10日 午前9時  
場 所：全員協議会室

## 1 開 会

## 2 協議事項

- |                                           |             |
|-------------------------------------------|-------------|
| (1) 株式会社信州東御市振興公社決算報告について (資料No.1)        | 9:00～9:15   |
| 【 産業経済部(振興公社) 】                           |             |
| (2) 一般社団法人信州とうみ観光協会決算報告について (資料No.2)      | 9:15～9:25   |
| 【 産業経済部 (観光協会) 】                          |             |
| (3) 社会福祉法人みまき福祉会決算報告について (資料No.3)         | 9:25～9:35   |
| 【 健康福祉部(みまき福祉会) 】                         |             |
| (4) 公益財団法人身体教育医学研究所決算報告について (資料No.4)      | 9:35～9:45   |
| 【 健康福祉部(身体教育医学研究所) 】                      |             |
| (5) 新型コロナウイルスワクチン特例臨時接種実績報告について (資料No.5)  | 9:45～9:55   |
| 【 健康福祉部 】                                 |             |
| (6) 外出活動支援による新たな介護予防サービス実証事業について (資料No.6) | 9:55～10:05  |
| 【 健康福祉部 】                                 |             |
| (7) 東御市地域産物販売促進施設について (資料No.7) 【 産業経済部 】  | 10:05～10:20 |
| (8) 海野宿滞在型交流施設改修工事について (資料No.8) 【 産業経済部 】 | 10:20～10:30 |

( 10:30～ 休憩 ～ 10:45)

- |                                        |             |
|----------------------------------------|-------------|
| (9) 市保育料軽減事業の拡充について (資料No.9) 【 教育委員会 】 | 10:45～10:55 |
|----------------------------------------|-------------|

- (10) (株)エコパワーとうみ決算報告について (資料No.10) 【 市民生活部 】 10:55～11:10
- (11) 重点対策加速化事業 (オフサイトPPA) について (資料No.11) 【 市民生活部 】 11:10～11:20
- (12) 市営合葬式墓地整備方針について (資料No.12) 【 市民生活部 】 11:20～11:30
- (13) 窓口フロントヤード改革事業について (資料No.13) 【 市民生活部 】 11:30～11:40
- (14) 定額減税調整給付金について (資料No.14) 【 市民生活部 】 11:40～11:50
- (15) 東御市土地開発公社決算報告について (資料No.15)  
【 総務部(土地開発公社) 】 11:50～12:00

( 12:00 ～ 昼食 ～ 13:00 )

- (16) 能登半島地震被災地支援について (資料No.16) 【 総務部 】 13:00～13:15
- (17) 第3期総合戦略の策定方針について (資料No.17) 【 企画振興部 】 13:15～13:25
- (18) チャレンジ・スポーツ・エイトの実施について (資料No.18) 【 企画振興部 】 13:25～13:35
- (19) 刀剣振興事業の進捗について (資料No.19) 【 企画振興部 】 13:35～13:45

# 第 30 期 事 業 報 告

自 2023年4月 1日

至 2024年3月31日

株式会社信州東御市振興公社

## 第30期 事業報告

### 1. 事業の概要

わが国の経済は、本年度当初において、景気は一部に弱さがみられるものの、緩やかに持ち直しているとされてきました。その後、新型コロナウイルス感染症（以下、「新型コロナ」という。）の5類移行などウィズコロナの下で、政府による各種政策の効果もあって個人消費等の持ち直しが見られました。年度末において、景気は足踏みもみられるが、緩やかに回復しているとされています。

当社においては、指定管理施設の利用者数及び売上高について、前年度より増加となったものの、新型コロナ前に比べて減少となりました。また、ビール事業においては、家飲み需要が減少するとともに、大手を含めたクラフトビールの競争が激化するなど厳しい状況になり、売上減少となりました。

このような状況の中、施設の効率化や売上げに応じたスタッフの配置を徹底し、経費の管理を強化するなど努力はしたものの、社会全体の賃上げ動向に伴い、当社での人的体制を整える費用の増大などにより、前期に比べ増収減益となり、赤字の決算となりました。

以下、今期の主要事業の業務内容は、次のとおりでした。

#### ①オラホビール事業

出荷量は、前期比 10.6% 減の 426,130L、売上高は、前期比 8.9% 減の 305,074 千円になりました。

出荷量の減少の要因としては、①新型コロナが5類に移行し、家飲み需要の減少とともに、主な販売先である量販店でのクラフトビールの取り扱い品目が減少したこと、②前年1月の価格改定で税抜希望小売価格が300円を超えたことに加え、③に伴いカット対象となり売り場が縮小したこと、④当初見込んでいた大手ドラッグストアでの採用が叶わなかったこと、⑤前年のサッカーワールドカップ特需によるコンビニエンスストアでの採用がなかったこと、⑥10月の酒税の減税が追い風とはならず、大手4社の売り場が広がり、クラフトビールの売り場縮小となったこと、⑦家庭用ビールサーバーによる販売を行うドリームピアが在庫過多により、上期の発注が減少したことなどです。

出荷量の内訳としては、内製商品は前期比 8.3%増の 205,7580でした。委託商品の「キャプテックロウ」は、前期比 29.1%減で 105,4080でした。

「雷電カンヌキ IPA」は、前期比 16.7%減で、114,9640でした。内製商品はスポット商品（クレイジーハイジージョー）などを積極的に展開したため増となりましたが、委託商品 2 品は、㊶ ㊷が原因となり減少しました。特に前年コンビニエンスストアでの取り扱いがあったキャプテックロウは大幅な減少となりました。

来期は今期の状況を踏まえて、市場調査や取引先とのヒアリングの回数を多く持ち、シェア回復に努めます。特に量販店の売り場の回復や、駅近店の再開拓を実施して行きます。また、留型商品（PB）など、差別化が図れる商品の開発を行い、価格でカットされにくい販路の開拓を行います。

## ② 大田区休養村とうぶ管理運営事業

利用者数は、前期比 33.9%増の 19,741人。一般利用者は、前期比 15.7%増の 14,590人、大田区立小学校の移動教室は、前期比 140.9%増の 5,151人となりました。上期は、新型コロナ5類移行後からファミリーを中心に利用が増えました。夏休みのスポーツ合宿等の団体利用は、件数は回復したものの、1団体あたり的人数や泊数は減少しました。下期は、同窓会など一般の団体利用や平日の利用が回復し、スポーツ団体やスキーを目的とした利用も増え、コロナ前（2019年度）の約90%にまで回復しました。区立小学校の移動教室は、6学年児童が1泊2日の行程で全59校が実施しました。お客様満足度向上のため、ビンゴ大会やスポーツ大会などの参加型イベントやクラフトビールの試飲会を実施しました。ほぼ毎月企画している区民バスツアーは、9回催行し、250人が参加しました。自主事業売上は、利用者数の増加により、前期比 31.3%増の 62,112千円となりました。

来期は、大田区と新たに締結した5年間の指定管理の開始となります。区立小学校の移動教室は、コロナ前と同じ2泊3日の行程で実施されます。安全・安心の施設運営を行い、積極的に休養村とうぶの誘客に取り組んでまいります。

## ③ 東御市農林漁業体験実習館「湯楽里館」管理運営事業

利用者数は、前期比 9.1%増の 211,755人、入館料収入は、前期比 12.8%増の 81,192千円となりました。一年を通して一般客の立寄りが増え、特に下期は、スキー客の来館が多くなりました。入館料収入は、一般客の

利用増に比例し当日券が増額となりました。自主事業収入は、前期比 6.9%増の 113,315 千円となりました。宴会の利用が回復したこと、入館者増に伴い売店や食堂の利用者が増えました。イベントは、開館 30 年目を迎え、入館料割引や自主部門で様々な関連イベントを継続的におこない、また、外部に向けての情報発信を強化しました。来期はさらに施設運営の効率化を図り、収支の改善に努めてまいります。

#### ④ ふるさと納税事業

ふるさと納税の返礼品売上は、前期比 7.0%減の 28,777 千円となりました。オラホピールの訳あり特価品の投入を随時おこないましたが、家飲み需要の減少や、10 月から製造場所の厳格化によりキャプテックロウ及び雷電カンヌキ IPA の出品が出来ず減額となりました。

来期は、セット販売の強化と訳あり品の投入を随時おこない、新規顧客およびリピーターの確保に取り組んでまいります。

#### ⑤ 東御市温泉健康複合施設「ゆうふる tanaka」管理運営事業

利用者数は、前期比 3.8%増の 197,280 人、入館料収入は、前期比 6.5%増の 66,863 千円となりました。会員数は、3 月末在籍で温泉会員が前期と同数の 355 人、フィットネス会員が前期比 30 人増の 331 人でした。今期も東御市民向けの優待デー企画を年 2 回実施し、地元の利用促進を図りました。

自主事業収入は、6.7%増の 30,148 千円となりました。売店は、農産物の売上を中心に、前期比 2.2%減の 11,060 千円、飲食は、テイクアウト、企画弁当、おせちを中心とした季節毎の商品を提供し、前期比 15.0%増の 15,918 千円となりました。食事の評判もよく広間で食されるお客様も徐々に回復してきました。

来期から飲食部門が外部委託となります。利用者のニーズにあった食の提供および新たな利用者層の開拓に期待します。

#### ⑥ 温泉コミュニティセンター「御牧乃湯・道の駅みまき」管理運営事業

利用者数は、前期比 2.0%増の 94,825 人。利用料収入は、前期比 9.3%増の 28,686 千円となりました。新型コロナ 5 類移行によりゴールデンウィークと夏休み以降の行楽シーズンは観光客（車中泊）が増加しました。

自主事業収入は、前期比 9.8%減の 16,274 千円となりました。直売は、天候不順による作物の不作が続き、特にメインのスイートコーンの入荷

が減少し売上げの確保ができませんでした。しかし、広域的な仕入れをおこない、杏、ブドウなどを販売し売上げの減少を抑えました。物販は、度重なる商品の値上げにより、販売が減少しました。

来期は、みまき福社会に管理の大部分を移行することで、福祉的サービスの向上と、周辺施設の一元的管理により、効率的な施設運営を期待します。

#### ⑦ 東御市芸術むら公園「明神館」「憩いの家」管理運営事業

利用者数は、前期比 1.2%減の 69,079 人、宿泊者数は、前期比 1.1%減の 4,067 人、利用料収入は、前期比 0.5%減の 59,181 千円となりました。利用者数は減少しておりますが、前期は信州割の恩恵で大幅に利用が増加しており、今期は各種割引が無い中では健闘できました。各旅行サイトでは評価がよい施設としてサイト経由の利用者が増加しております。

自主事業売上は、前期比 2.6%増の 57,037 千円となりました。宴会は、お祝いや法要の利用が多く、宿泊の食事は、定期的に旬の特別料理を提供し好評を得られました。

憩いの家は、「株式会社わざわざ」に再委託し運営しました。利用者数は、前期比 3.0%減の 9,264 人。年間のイベントを計画的に行いましたが、利用者は伸び悩みました。SNS 等で常に情報発信とクーポン配布を行い、利用者増加に努めていました。

来期は、憩いの家の指定管理者は「株式会社わざわざ」となりますが、双方の協力体制を維持し芸術むら公園の誘客を図ります。

#### ⑧ 不動産事業

今期は土地の売買はありませんでした。

なお、土地の賃貸借料収入総額は 89,877 千円となりました。

経理の内容は、次のとおりでした。

収入は、受託料収入が 252,337 千円（税抜、以下同じ。）、施設利用料及び自主事業売り上げが 773,200 千円、不動産収入が 89,877 千円となり、営業外収益等を含めた総額では 1,117,482 千円となりました。

支出は、販管費及び一般管理費が 738,792 千円で、売上（製造）原価、営業外費用、特別損失、及び法人税地方税を含めた総額では 1,151,392 千円となりました。

この結果、当期損失は 33,910 千円となりました。

\* 受託料収入 252,337 千円（税抜）

内訳	東御市からの 4 温泉施設指定管理料	78,904 千円
	東御市からの管理委託料（道の駅みまき）	2,132 千円
	（憩いの家）	2,727 千円
	大田区からの指定管理経費	168,574 千円

来期については、会社創立 30 周年という節目を迎えるなかで、様々な社会状況の変化への対応及び指定管理者更新に伴う新たな課題に社員一丸となって取り組みます。そして、収益の向上に努め、更なるコスト削減を実現し「もっと足腰の強い会社」にするため、次の方針により経営を進めてまいります。

⑦ オリジナリティを持った施設運営

施設の優位性を高め、来ていただいたお客様に「ここでしか味わえない感動」「かけがえのない思い出」をお持ち帰りいただけるよう、オリジナリティをもった施設運営に心掛けます。

⑧ 常に自ら検証

日々の業務が、お客様の目線に立っているか、ニーズに適っているか、実態をきちんと把握しているか等々、常に自ら検証を行います。

⑨ お客様との接点を増やす情報発信

売上向上に繋げるため、お客様との接点を多くつくることが重要です。そのために、SNS のほか新しい情報源及び「お客様、知人」の口コミ等を有効に用いて情報発信を強化します。

⑩ 新規事業（新商品、新サービス等）の実行

顧客環境が、新型コロナ前には戻らないことを踏まえ、既存の営業スタイルのほかに、今に合ったニーズを感じ取り、新しい自主事業にチャレンジします。

⑪ 働きがいのある職場づくり

社員間のコミュニケーションの円滑化を図り、職場環境や労働条件のさらなる改善により働きやすさとやりがいのある職場づくりに努めます。

主要業務をとおして、株主並びに関係者各位のご期待にお応えすべく、

お客様本位の営業姿勢と活気ある地域づくりを基本に、地域の発展に貢献できるような事業の伸展及び業績向上に努めてまいります。

今後とも、一層のご指導ご支援を賜りますようお願い申し上げます。



決 算 報 告 書

( 第 30 期 )

自 2023 年 4 月 1 日

至 2024 年 3 月 31 日

株式会社 信州東御市振興公社

長野県東御市県281-2

## 貸借対照表

2024年3月31日現在

資産の部		負債の部	
科目	金額	科目	金額
	円		円
【流動資産】	【 285,784,027】	【流動負債】	【 174,850,968】
現金及び預金	127,431,920	未払金	113,102,923
売掛金	76,365,563	前受金	1,159,042
商品	14,290,509	預り金	32,525,178
(製)製品	32,482,407	仮受金	248,250
(製)原材料	17,768,439	未払法人税等	536,500
(製)仕掛品	4,868,819	賞与引当金	14,903,675
貯蔵品	6,275,454	未払消費税等	12,375,400
前払費用	2,116,593	【固定負債】	【 124,638,792】
立替金	400	長期借入金	50,999,972
仮払金	2,923,325	預り保証金	24,299,255
未収入金	1,718,791	退職給付引当金	46,128,973
貸倒引当金	△458,193	リース債務	3,210,592
【固定資産】	【 235,254,628】		
(有形固定資産)	( 220,779,466)	負債の部合計	299,489,760
建物	213,176,100	純資産の部	
建物付属設備	33,460,723	【株主資本】	【 221,548,895】
構築物	22,533,108	(資本金)	( 98,000,000)
機械装置	175,383,973	資本金	98,000,000
車輛運搬具	6,144,949	(資本剰余金)	( 247,675,890)
工具器具備品	20,079,315	資本準備金	247,675,890
リース資産	11,042,400	(利益剰余金)	( △124,126,995)
土地	158,344,768	繰越利益剰余金	△124,126,995
一括償却資産	159,604		
減価償却累計額	△419,545,474	純資産の部合計	221,548,895
(無形固定資産)	( 886,192)	負債及び純資産の部合計	521,038,655
電話加入権	819,292		
リース資産	66,900		
(投資その他の資産)	( 13,588,970)		
出資金	1,000,000		
投資有価証券	1,000,000		
保証金	11,549,000		
リサイクル預託金	39,970		
資産の部合計	521,038,655		

## 損 益 計 算 書

科 目	金 額	円
【純 売 上 高】		
売 上 高	274,799,185	
売 上 高 自 販 機	6,584,345	
不 動 産 貸 付 収 入	89,876,660	
売 上 高 受 託 料	252,336,898	
売 上 高 ビ ー ル	277,551,674	
売 上 値 引 戻 り 高	△211,198	
売 上 高 入 館 料	214,475,968	1,115,413,532
【売 上 原 価】		
期 首 棚 卸 高	15,595,118	
仕 入 高	174,324,076	
当 期 製 品 製 造 原 価	235,648,459	
合 計	( 425,567,653)	
期 末 棚 卸 高	14,290,509	411,277,144
売 上 総 利 益		( 704,136,388)
【販 売 費 及 び 一 般 管 理 費】		
広 告 宣 伝 費	8,117,074	
販 売 促 進 手 数 料	3,047,017	
荷 造 運 賃	8,291,622	
委 託 料	51,669,285	
役 員 報 酬	600,000	
給 料 手 当	249,054,791	
法 定 福 利 費	40,094,043	
福 利 厚 生 費	7,588,678	
賞 与 引 当 金 繰 入	△4,316,235	
退 職 給 付 費 用	11,749,506	
雑 給 料	84,646,336	
支 払 手 数 料	8,897,607	
賃 借 料	18,044,966	
諸 会 費	428,300	
接 待 交 際 費	86,117	
旅 費 交 通 費	7,751,853	
通 信 費	1,569,248	
消 耗 品 費	20,669,524	
租 税 公 課	1,512,198	
減 価 償 却 費	481,774	
地 代 家 賃	58,289,000	
修 繕 費	7,500	
水 道 光 熱 費	104,255,636	
保 険 料	1,567,023	
貸 倒 引 当 金 繰 入 額	△3,313,660	

科 目		金	額
			円
車 輛 費		1,268,813	
清 掃 費		14,606,162	
講 師 料		7,814,499	
会 議 費		153,535	
建 物 設 備 管 理 費		29,600,000	
研 修 費		93,311	
リ ー ス 減 価 償 却 費		2,488,200	
雑 費		1,978,517	738,792,190
	營 業 損 失		( 34,655,802)
【 營 業 外 収 益 】			
受 取 利 息		213	
雑 収 入		2,067,906	2,068,119
【 營 業 外 費 用 】			
支 払 利 息		150,515	
雑 損 失		97,181	247,696
	経 常 損 失		( 32,835,379)
【 特 別 損 失 】			
固 定 資 産 売 却 損		538,677	538,677
	税 引 前 当 期 純 損 失		( 33,374,056)
	法 人 税、住 民 税 及 び 事 業 税		536,529
	当 期 純 損 失		( 33,910,585)

## 製造原価報告書

科 目	金 額	円
【材 料 費】		
(製)期首原材料棚卸高	15,211,823	
(製)材料仕入高	106,564,628	
小 計	( 121,776,451)	
(製)期末原材料棚卸高	17,768,439	104,008,012
【労 務 費】		
(製)給料手当	17,088,028	
(製)法定福利費	2,650,804	
(製)福利厚生費	184,096	19,922,928
【製 造 経 費】		
(製)消耗品費	6,104,636	
(製)水道光熱費	9,971,431	
(製)通信費	70,920	
(製)地代家賃	896,029	
(製)修繕費	3,048,179	
(製)旅費交通費	242,105	
(製)租税公課	79,135,252	
(製)減価償却費	7,398,418	
(製)保険料	2,245,296	
(製)研究開発費	14,650	
(製)支払手数料	2,091,039	
(製)賃借料	349,200	
(製)諸会費	70,000	
(製)委託料	2,179,677	
(製)販売手数料	591,505	
(製)車輛費	56,000	
(製)雑費	1,000	114,465,337
当期総製造費用		( 238,396,277)
(製)期首仕掛品棚卸高		2,455,693
(製)期首製品棚卸高		32,147,715
(製)期末仕掛品棚卸高		4,868,819
(製)期末製品棚卸高		32,482,407
当期製品製造原価		( 235,648,459)

## 株主資本等変動計算書

自 2023 年 4 月 1 日 至 2024 年 3 月 31 日 単位 円

	株主資本						純資産合計
	資本金	資本剰余金		利益剰余金		株主資本 合計	
		資本準備金	資本剰余金 合計	その他利益剰余金 繰越利益剰余金	利益剰余金 合計		
当期首残高	98,000,000	247,675,890	247,675,890	△90,216,410	△90,216,410	255,459,480	255,459,480
当期変動額							
当期純損益金				△33,910,585	△33,910,585	△33,910,585	△33,910,585
当期変動額合計				△33,910,585	△33,910,585	△33,910,585	△33,910,585
当期末残高	98,000,000	247,675,890	247,675,890	△124,126,995	△124,126,995	221,548,895	221,548,895

## 個別注記表

### 1. 重要な会計方針に係る事項に関する注記

#### (1) 棚卸資産の評価基準及び評価法

商品、貯蔵品は、最終仕入原価法を採用しております。

製品、仕掛品は、製造原価法を採用しております。

#### (2) 固定資産の減価償却の方法

有形固定資産は、定率法を採用しております。

無形固定資産は、定額法を採用しております。

#### (3) 消費税等の会計処理の方法

消費税及び地方消費税の会計処理は、税抜方式によっております。

#### (4) 引当金の計上基準

賞与引当金 従業員の賞与支給に備えるため、支給見込額の当期負担分を計上しています。

退職給付引当金 従業員の退職給付に備えるため、退職金規程に基づく期末要支給額により計上しています。

### 2. 株主資本等変動計算書に関する注記

#### (1) 事業年度の末日における発行済株式数

普通株式 5,824 株

#### (2) 利益剰余金

利益剰余金	前期末残高	-90,216,410 円
	当期純損益	-33,910,585 円
	繰越利益剰余金	-124,126,995 円

### 3. その他の注記

減価償却資産の当期減価償却実施額	10,368,392 円
減価償却資産の償却累計額	645,784,586 円

以上のとおり、ご報告いたします。

2024.06.10 全員協議会資料 (一社) 信州とうみ観光協会

資料No. 2

## 決算報告

### 令和5年度事業報告

(令和5年4月1日から令和6年3月31日まで)  
一般社団法人信州とうみ観光協会

東御市内外の旬な情報は信州とうみ観光協会がお届けします。  
スマートフォンで下記QRコードから読み取り検索できます。

ホームページ



Facebook



Instagram



YouTube



とうみファン倶楽部



## 【法人の概要】

法人名：一般社団法人信州とうみ観光協会（英文名：Shinshu Tomi Tourism Association）  
 設立日：平成29年（2017）9月1日（登録観光地域づくり法人：令和4年3月28日 区分：地域DMO）  
 営業開始日：平成30年（2018）4月1日（旅行業登録：2017年11月22日 長野県地域-603号）  
 事務所：長野県東御市田中279番地 東御市観光情報ステーション内  
 基金総額：100万円（東御市より）

役員：	会長	北沢 達	湯の丸観光開発株式会社 常務取締役
	副会長	田丸 基廣	東御市 副市長
	副会長	清水 初太郎	東御市商工会 会長
	理事	清水 徳美	有限会社雷電くるみの里 社長
	理事	小林 文治	J A信州うえだ農協 東部地区事業部 部長
	理事	高木 敦	株式会社信州東御市振興公社 営業部長
	理事	寺西 将樹	ガラス工房橙 代表
	理事	山岸 龍平	株式会社アサマリゾート 事業推進部長
	理事	小山 岳史	八十二銀行田中支店 支店長
	理事	小山 英明	株式会社リュードヴァン 代表取締役
	理事	尾山 直樹	代表有限会社テールマウンテン代表取締役
	監事	中川 良二	葡萄直売の萬果園 代表
	監事	斉藤 俊一	奈良原温泉 あさま苑

法人目的：この法人は、東御市の豊かで美しい自然、景観、文化・歴史、産業などの多彩な地域資源を活かし、地域住民をはじめ地域の多彩な事業者、行政等と一体的に観光の振興を図ることにより、交流人口の増加を促進し、地域経済の持続的な発展・向上に寄与することを目的とする。

法人事業：（1）観光に関する情報の収集及び発信  
 （2）観光に関する誘客宣伝、案内及び観光客の誘致促進  
 （3）観光に関するイベントの開催  
 （4）国内外の観光に関する調査、研究  
 （5）観光商品の開発、宣伝及び販売  
 （6）観光関係者の資質の向上及び観光ボランティア等の育成  
 （7）観光施設の管理運営  
 （8）観光関係団体の支援及び連携の推進  
 （9）旅行業法に基づく旅行業に関すること  
 （10）食品衛生法に基づく飲食業に関すること  
 （11）酒税法に基づく酒類販売業に関すること  
 （12）旅館業法に基づく宿泊業に関すること  
 （13）その他、当法人の目的を達成するために必要な事業（※定款第3条抜粋）

会員数：129団体（令和6年4月1日現在）

## 【事業の状況】

### 1. 状況

3年以上にわたるコロナ禍も5月8日には5類へと引き下げられましたが、コロナ前の日常にはまだまだですが、後半以降はコロナ前に近い状況となりつつあります。冬場のスキーシーズンにおいては当初の雪不足から年明け3月においては、100cmを超える積雪であります。能登半島地震や物価高の影響もあり利用者数は前年並み程度と感じています。全国や県内のインバウンド受入エリアについてはプラス材料となっています。

#### ○観光庁の2023年 年間旅行・観光消費動向調査（速報）

- ・2023年の日本人国内旅行消費額（速報）は、21兆8,802億円（2019年比0.2%減、前年比27.5%増）日本人国内旅行消費額のうち宿泊旅行消費額は、17兆7,660億円（2019年比8.6%増、前年比29.4%増）日帰り旅行消費額が4兆1,142億円（2019年比13.8%減、前年比19.8%増）
- ・2023年の日本人国内延べ旅行者数（速報）は、4億9,733万人（2019年比15.3%減、前年比19.0%増）うち宿泊旅行が2億8,105万人（2019年比9.8%減、前年比20.9%増）日帰り旅行が2億1,628万人（2019年比21.5%減、前年比16.7%増）
- ・2023年の日本人国内の1人1回当たり旅行支出（旅行単価）※（速報）は、43,995円/人（2019年比17.8%増、前年比7.1%増）宿泊旅行が63,212円/人（2019年比14.8%増、前年比7.1%増）日帰り旅行が19,023円/人（2019年比9.7%増、前年比2.6%増）

#### ○観光庁 2023年 暦年訪日外国人消費動向調査結果（速報）

- ・訪日外国人旅行消費額（速報）は5兆2,923億円（2019年比9.9%増）過去最高
- ・放日外国人（一般客）1人当たり旅行支出は、21万2千円（2019年33.8%増）
- ・国籍・地域別では、台湾7,786億円（構成比14.7%）、中国7,599億円（同14.4%）、韓国7,444億円（14.1%）米国6,062億円（同11.5%）、香港4,795億円（同9.1%）の順で多く、これら上位5カ国・地域で全体の63.7%を占めています。

### 2. 事業報告

#### （1）観光地域づくり事業（受け入れ環境の整備）

（市：観光地域づくり支援事業）

事業内容	実施状況
地域を巡るまち歩きや食と健康を意識した里山ウォーキング、景観を楽しむサイクリングコース	継続中
東御市観光情報ステーションを中心とした各インフォメーションセンターの充実	継続中
地域観光ガイドの育成、運営（協力）（湯の丸ネイチャーマイスター、海野宿、祢津地域ほか）	継続中
とうみワインタクシーの運営、観光2次交通の充実、3月からレッツ号の活用促進	利用者 27件 92名
とうみシェアサイクルの運営、管理 会員増強キャンペーンの実施（毎月9日）	利用者数 207名
（御堂地域活性化構想推進協議会参加）祢津御堂ぶどう団地との連携推進	継続中
5月21日グランフォンドとうみ湯の丸主催（軽井沢グランフォンドとの連携）	24名参加
5月27日とうみワインマルシェ（千曲川ワインゴーランド連携事業）	300名参加

8月26日アサマスタートクロスウォーク 東御(田中)スタート・湯の丸・高峰・小諸ゴール	489名エントリー
9月2日東御ワインフェスタ 2023 (ワインクラブ連携事業管理運営業務)	来場数 1500人
9月3日湯の丸ヒルクライム大会	参加者 85名
9月15日 JICA 開発途上国の観光行政官研修の受け入れ ワイン研修、海野宿視察	12か国 13名
10月22日グランフォンド軽井沢への協力 湯の丸エイドステーションにて	400名の昼食
東御市のフィールドを使った企業研修誘致事業 (信毎との協働 元気づくり支援金事業)	6名の参加
10月28日ハロウィンおんせん de マルシェ with とうみワイン(千曲川ワインゴーランド連携事業)	来場 200名
信州を走ろう! 田中マラソンで台湾とつなぐ新たな観光コンテンツ造成事業(観光庁) 田中駅提携友好5周年、田中マラソンにてプロモーションしな鉄沿線インバウンド連絡会連携	台湾プロモーション 沿線番組放映



5月21日グランフォンド湯の丸スタート・ゴール初開催

5月27日春の千曲川ワインゴーランドワインマルシェ



6月1日湯の丸山開き 6月25日湯の丸高原つつじ祭りイベントに婦恋村産キャベツ・東御市産ブロッコリー無料配布参加者約6500人



8月19日れいわ六斎市

8月26日アサマスタートクロスウォーク初開催

9月2日東御ワインフェスタ屋外にて開催



9月3日湯の丸ヒルクライム大会

9月23日軽井沢サイクルトレインツアー受入(海野宿-田中駅)



9月13日~15日企業研修モニターツアー実施(元気づくり支援金事業)

9月15日 JICA 各国行政研修受入



11月3日 祢津山城巡り



10月29日 烏帽子スカイラン



11月5日 日れいわ六斎市、海野宿ふれあい祭



入場券1000円 台中馬場17000人参加



台湾で有名な女優田中千絵さん  
を活用した番組制作及び  
台湾民視局にて放映

11月10～14日 台湾台中マラソン 17,000人参加にて連携プロモーション実施（観光庁補助事業）



10月22日 軽井沢グランドフォンド湯の丸中継



11月24日 冬山安全祈願祭



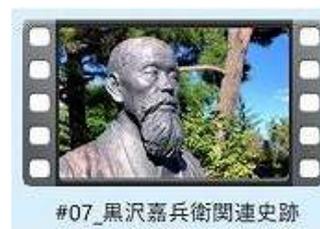
2月3日 丸山晩霞スノーシュートレッキング



3月3日 湯の丸スキー大会



ワインタクシー事業



#07 黒沢嘉兵衛関連史跡

魅力創造事業のセルフガイド映像とパンフレット制作

**(2) 体験・滞在型観光プログラムの造成事業（観光資源の磨き上げ）**（市：観光地域づくり支援事業）

事業内容	実施状況
東御市型グリーンツーリズムの充実と宿泊の連携推進 （観光地域魅力創造事業）体験・滞在型ツーリズムの構築webページの政策	モニター実施 造成継続

<実績>

年度	GT 体験受入れ件数	前年対比	海野宿ガイド	前年対比
令和1年度 2019年	83		103	-
令和2年度 2020年	中止	-	14	14%
令和3年度 2021年	中止	-	8	121%
令和4年度 2022年	中止	-	28	165%
令和5年度 2023年	中止	-	50組 (823人)	178%



グリーンツーリズムモニターツアー



くるみ収穫祭体験会協力



連携事業クワオルトウォーキング湯の丸協力

(3) 観光情報発信事業（一元的なプロモーション） (市：観光地域づくり支援事業)

事業内容	実施状況
湯の丸高原つつじ祭り開催とグリーンアクティビティの発信と誘客、湯ノ丸ニーズ調査	随時
うんのわを軸とした海野宿関係者との連携プロモーション展開	六斎市3回
旅行商品を地元企業やファンクラブ会員への案内促進	随時
観光パンフレットの修正や増刷、配布、広報、広告展開	随時
とうみファン倶楽部（メール配信）の運営管理 会員増強、来訪促進	随時
協会HPやSNSを活用したデジタルプロモーション展開	随時
商談会などを活用した旅行エージェントや近隣宿泊施設への営業・情報提供	随時
長野県観光機構、近隣観光協会や広域連携による誘客イベント・キャンペーンに連携	随時
信州フィルムコミッション（撮影支援）事業、映画・テレビの撮影等への協力とPR	随時
しなの鉄道沿線広域インバウンド連絡会との連携推進事業、サイクルトレイン事業の連携	随時
東京都大田区との連携 物産展等を中心としたキャンペーンへの積極的な参加	随時
（観光地域魅力創造事業：継続）現地を巡るためのセルフガイド動画作成業務	進行中

<実績>

年度	ホームページ ページビュー	フェイスブック フォロワー数	インスタグラム フォロワー数	YouTube 登録数
令和1年度（2019）	719,545	864	181	121
令和2年度（2020）	628,819	1,050	576	304
令和3年度（2021）	681,073	1,121	914	341
令和4年度（2022）	724,380	1,839	1,131	383
令和5年度（2023）	653,000	1,916	1,311	466

年度	ファン倶楽部会員数	会員メール配信数
令和1年度（2019）	390	9
令和2年度（2020）	516	15
令和3年度（2021）	865	15
令和4年度（2022）	1,113	15
令和5年度（2023）	1,171	9





4月9日上田城桜祭り



9月1日~10月15日巨峰の収穫フェア 2023・9月22~23日巨峰の王国まつり キャンペーン広報展開



9月30日~10月1日上越物産展



10月14~15日蒲田駅前



11月4~5日大田フェスタ



12月15日銀座 NAGANO



2月10日春節軽井沢駅プロモーション



2月24日ろくもん日本酒プロモーション



3月16日浅観協軽井沢駅プロモーション



各施設にパンフレット・リーフレット等の配架



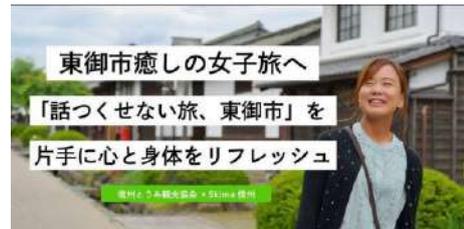
各局テレビ番組取材アテンド



海野宿にてフランスメディア取材受入



中山新平物語映画ロケ受入



デジタルプロモーション展開

(4) - I 地域との戦略共有・合意形成

(市：観光地域づくり支援事業)

事業内容	実施状況
理事会の開催(年2回)	5月23日、3月28日
定時総会の開催(年1回)	5月29日 28名出席
湯の丸部会の開催(年2回)	4月28日、10月4日
観光地域づくり戦略ワーキングの開催(戦略検討、市共催 年1~2回程度)	未実施
観光地域づくりタウンミーティングの開催(合意形成、市共催、年1回)	未実施

**(4)-II 適切な KPI(指標)の設定・PDCA サイクルの確立 (市:観光地域づくり支援事業)**

事業内容	実施状況
満足度調査、宿泊統計調査の実施	継続中
KPI 達成状況の会員への通知 PDCA によるターゲット戦略構築化	継続中

&lt;DMO 申請 KPI 項目と達成状況&gt;

項目 【単位】		2020(R2)年度		2021(R3)年度		2022(R4)年度		2023(R5)年度		2024(R6)年度		2025(R7)年度	
		目標	実績	目標	実績	目標	実績	目標	実績	目標	実績	目標	実績
<b>必須KPI</b>													
①-1 旅行消費額 (総額) 【億円】	全体	37.9	22.1	43.0	35.9	45.0	22.1	45.0	<b>52.1</b>	47.5		48.5	
	インバウンド												
①-2 旅行消費額 (一人当たり単価) 【円】	全体	—	5,523	—	9,050	7,400	5,524	7,400	<b>8,436</b>	7,700		8,000	
	インバウンド												
直近のKPI達成状況に対する分析		新型コロナウイルス感染症の5類移行するも収集サンプル数が戻らず、リピーターとなるため参考値として掲載											
②延べ宿泊者数 【千人泊】	全体	47.9	19.9	54.0	34.8	56.0	25.8	56.0	<b>49.8</b>	58.0		59.0	
	インバウンド												
直近のKPI達成状況に対する分析		新型コロナウイルス感染症の5類移行により、宿泊者数は増加傾向											
③来訪者満足度 【%】	全体	70.9	62.5	71.6	80.7	72.3	92.0	72.3	<b>91.8</b>	74.0		76.0	
	インバウンド												
直近のKPI達成状況に対する分析		新型コロナウイルス感染症の5類移行するも収集サンプル数が戻らず、リピーターとなるため参考値として掲載											
④リピーター率 【%】	全体	62.2	70.9	65.0	66.9	66.0	87.0	66.0	<b>78.1</b>	67.0		70.0	
	インバウンド												
直近のKPI達成状況に対する分析		新型コロナウイルス感染症の5類移行するも収集サンプル数が戻らず、リピーターとなるため参考値として掲載											
<b>その他の目標</b>													
Webサイトの アクセス状況 【回】	全体	749,000	617,001	824,000	687,297	906,500	782,921	997,150	584,074	1,096,865		1,100,000	
	インバウンド												
直近のKPI達成状況に対する分析		一元的な発信を積極的に継続していたが、Googleアナリティクスの統計定義見直しにより、統計可能なアクセス数は減少した											
住民満足度【%】							88.8						
直近のKPI達成状況に対する分析		当協会では未調査のため東御市市民意識調査報告書から参考に引用 R5は調査無し											
三大観光地利用者数(万人)		92.1	40.0	<b>60.1</b>	39.7	60.7	52.5	60.7	<b>61.8</b>	61.4		80.0	
直近のKPI達成状況に対する分析		新型コロナウイルス感染症の5類移行により、来訪者数は増加傾向											
雷電くみの里レジ通過者数(万人)		38.8	44.5	45.1	38.1	48.5	43.6	48.5	<b>45.5</b>	51.5		55.0	
直近のKPI達成状況に対する分析		三大観光地利用数と同様に上向き傾向ではあるが近隣に競業等の出店と多少影響はある様である											
宿泊施設定員稼働率(%)		19.8	8.0	22.3	17.1	23.0	17.5	23.0	<b>25.2</b>	24.6		25.0	
直近のKPI達成状況に対する分析		新型コロナウイルス感染症の5類移行により、宿泊施設定員稼働率は増加傾向											
体験プログラム利用者数(人)		100	0	500	628	1,100	686	1,100	<b>1,339</b>	<b>1,200</b>		1,200	
直近のKPI達成状況に対する分析		新型コロナウイルス感染症の5類移行により、増加傾向。5月以降の実績増。											

**5)収益事業と会員の増強 (安定した経営)**

各種事業・イベントを含む公・公益事業を実施するとともに、それらの事業を補完する収益事業を実施し、協会の財政基盤の安定化を図ります。

## ア DMO 法人運営

(市:地域づくり支援事業)

一般社団法人として下記業務を適切に実施し、持続可能な健全な法人運営を行います。

- ・定時総会、理事会、会計監査等の各種会議の運営・開催
- ・総務、経理事務の適正な処理
- ・公益目的支出計画の実施と報告
- ・登録観光地域づくり法人(登録 DMO)としての更新業務

### 【会議委員会関係】

○4月5日 長野県旅行業協会東信地区会総会 10日 ヒルクライム打合せ 理事選定 13日 アサマスタートクロスウオーク実行委員会 18日 第1回湯の丸部会 21日 浅産協事務局会議 25日 浅観協事務局会議 27日 湯の丸ヒルクライム実行委員会 29日 湯の丸高原ビジターセンターオープン

○5月3日 池の平駐車場オープン 10日 アサマスタートクロスウオーク実行委員会 湯の丸グランfond会議 14日 ワイン特区協議 17日 浅観協総会 長野原 ネイチャーマイスターキックオフミーティング 19日 湯の丸グランド地元説明会:新張区 21日 グランfond湯の丸大会 24日 湯の丸部会 商工会田中支会 25日 長野県旅行業協会総会 浅産協総会 29日 令和5年度観光協会通常総会

○6月1日 池の平インフォメーションセンターオープン 湯の丸高原山開き 火のアート実行員会 6日 アサマスタートクロス実行委員会 7日 湯の丸部会 雷電委員会 湯の丸 NL 研修 8日 議会説明 湯の丸 NL 研修 12日 長野県旅行業協会東信地区会 池の平宿泊 14日 湯の丸部会 ぶどう部会会議 15日 新会長関係個所へ挨拶回り 19日 せせらぎ 千野書士 28日 御堂全体会議 29日 雷電委員会

○7月3日 アサマスタートクロスウオーク実行委員会 4日 上田振興局会議 5日 上信越ふるさと街道協議会会議 11日 巨峰委員会 浅産協事務局会議 18日 観光まちづくり会議 19日 御堂販売部会 21日 上田振興局 22日 道の駅清掃 台鉄歓迎会軽井沢 23日 クワオルト開所式 24日 日本くるみ会議 火のアートフェス委員会 27日 御堂施設部会 31日 DMO 更新申請 御堂イベント部会

○8月1日 日本くるみ会議 8日 アサマスタートクロスウオーク会議 ワイン特区会議 スノーリゾート信州会議 10日 巨峰実行委員会 11日 自然体験講座 18日 上州屋オープン 22日 御堂部会 23日 大田区交流委員会

○9月5日 上田地域振興局 サイクルツーリズム 6日 嶋観光大使訪問 20日 雷電委員会 22日 浅観協サイクリング試走 27日 湯の丸部会 火のアートフェス委員会

○10月2~3日 台湾放映用番組取材対応 4日 湯の丸部会 雷電漫画委員会 7~8日 火のアートフェス 5日火入れ式 13日 ロマンチック街道会議 14~15日 友好都市ふれあい広場(大田区 JR 蒲田駅) 菅平高原冬山開き 16日 アサマスタートクロスウオーク反省会 26日 菅平索道巨議会 31日 スノーリゾート信州

○11月6日 浅産協視察造成 15日 湯の丸高原ネイチャーマイスター反省会 19日 上田地域振興局ワイン事業審査会 24日 湯の丸高原冬山安全祈願祭 27日 ウェルネスユニバーサルデザイン(鹿教湯温泉)

○12月2日 長野県旅行業協会東信地区会 うんのわ運営者営業視察受入随時対応

○1月25日 慶応大学千曲川ワインツーリズム調査協力 9日 雷電委員会

○2月1日 巨峰部会 6日 DMO 全国連絡会 8日 丸山晚霞委員会 14日 湯の丸スキー大会実行委員会 15日 浅産協講演会

○3月3日 湯の丸スキー大会 5日 学習旅行視察受入

○毎月第2水曜うんのわスタッフ定例会

## イ 会員様向けサービス

- ・会員向けセミナー・勉強会や会員同士の交流機会、情報提供の随時実施(HP・メール配信)
- ・協会会員の観光案内所活用やイベントプロモーションなどに参加機会を提供
- ・協会員主催のイベントへの企画・後援広報支援活動

<実績>

年度	前期末会員数	当期入会者数	当期退会数	期末会員数	メール配信数
令和1年度(2019)	121	7	9	119	14
令和2年度(2020)	119	8	3	124	41
令和3年度(2021)	124	8	0	132	23
令和4年度(2022)	132	9	8	133	15
令和5年度(2023)	133	3	7	129	12

## ウ 公・共益事業

(市:地域づくり支援事業)

### ■東御市観光情報ステーション運営

期 間:令和5年4月1日から令和6年3月31日まで

営業時間:9時~17時 定休日:水曜日、年末年始 場 所:しなの鉄道田中駅舎内

内 容:

- ・来訪者へのコンシェルジュ観光案内、レンタサイクル・シェアサイクルの収益事業化運営
- ・商工会・田中商店街との連携、イベント装飾などにより、東御市の玄関口としての田中駅周辺の活性化
- ・観光客及び市民を温かく親切に迎え、おもてなしをする受入体制の推進

<実績>

年度	来場者数(人)	レンタサイクル/ シェアサイクル(台)	パンフレット発送 (件)	ろくもんプロモーション(回)
令和1年度(2019)	7,070	228	266	8回
令和2年度(2020)	3,383	308	108	4回

令和3年度(2021)	3,607	390	139	8回
令和4年度(2022)	4,703	391/106	114	4回
令和5年度(2023)	6,057	276/207	154	2回

■海野宿無料休憩案内所「せせらぎ」

期 間:令和5年4月1日から令和5年6月30日

内 容:来訪者サービス施設として東御市の物産販売(道の駅雷電くるみの里様へ運営委託6月末)その後、充実としてデザインリソースセンターとクリエイティブ機能を持ったワークルームとしてリニューアルを計画していたが、貸主所有者死亡により賃貸契約が打ち切りとなり余儀なく撤退となりました。

工 市指定管理受託事業

■湯の丸高原ビジターセンター

(市:湯の丸高原誘客推進事業)

期 間:令和5年4月1日から令和6年3月31日まで(指定管理期間令和6年3月31日まで)

場 所:湯の丸高原地藏峠 定休日:水曜日 4月29日(土)オープン

内 容:

- ・グリーンシーズンの利用者に対し、湯の丸高原の自然案内、登山案内を行う。
- ・山岳高原アクティビティ(遊び・体験・スポーツ)に必要な装備品やオリジナルグッズ、協会員の商品、キャンプ用品の販売。湯の丸テレワーク施設の紹介、来訪者サービスの充実
- ・ネイチャーマイスター(自然解説員)によるトレッキングガイド、ネイチャーガイドンスや木工クラフト体験等の受け入れ。
- ・グリーンシーズンにおける来訪者ニーズ調査
- ・冬季はスキー利用者の無料仮眠所として、指定管理基本協定書に基づいた運営管理業務を行う。

事業内容	実施日	実施状況
初夏の自然体験講座(烏帽子岳トレッキング)	6月17日	参加者31名
山の日夏の自然体験講座 地藏峠から東麓ノ登山トレッキング	8月11日	参加者21名
秋の自然体験講座 白駒池から高見石トレッキング	9月21日	参加者23名
※スノーシュートレッキング	1月13日~3月10日	6回実施 23名参加



湯の丸ビジターセンター来訪者サービスとしてサイクルスタンド、コーヒーセットの用意、



自然体験講座の実施

■東御市海野宿滞在型交流施設「うんのわ」

(市:海野宿誘客推進事業)

期 間:令和5年4月1日から令和6年3月31日(指定管理期間令和6年3月31日まで)

定休日:水曜日 場 所:東御市本海野1013番地 営業時間:10時~16時

内 容:

- ・地域おこし協力隊による運営オペレーションで観光案内と施設運営
- ・無料休憩所、公衆トイレ利用の開館と合わせて飲食施設と来訪者サービスの充実
- ・ビール・ワイン販売と商品の充実化 自主事業の計画
- ・本海野区や NPO 法人海野宿トラスト、商店業者との連携体制の構築など(海野宿検定の開催)
- ・飲食業経営者の募集 うんのわ発信のイベント開催

<実績>

年度	入館数 4月~3月	ワンデーシェフランチ
令和3年度(2021)	(5月~3月) 5,075人	(1月~2月) 食事人数 504人
令和4年度(2022)	(4月~3月) 13,127人	(4月~2月) 食事人数 1,773人
令和5年度(2023)	(4月~2月) 11,186人	(4月~1月) 食事人数 1,315人



ワンデーシェフランチの定着

うんのわイベント れいわ六斎市ほか



5月3日れいわ六斎市花しょうぶ、8月19日れいわ六斎市 夕涼みまつり、11月5日海野宿ふれあいまつり六斎市

オ 受託事業

■池の平インフォメーションセンター運営管理

(市:湯の丸高原自然環境保全啓発業務)

期 間:令和5年6月1日(木)から令和5年10月31日(火)

場 所:池の平湿原入口

内 容:

- ・常駐するネイチャーマイスターによる来訪者への情報提供、トレッキングルート案内、自然ガイド
- ・案内板等の点検及び登山道等の巡視、軽微な整備
- ・ネイチャーマイスターの新規育成と充実 AED研修、ニールリーダー資格教育

<実績>

年度	VC 来館者数	クラフト体験	ガイドツアー	合計(人)	前年対比
令和1年度(2019)	12,076人	188人	24件 1,442人	12,665	102%
令和2年度(2020)	7,260人	33人	2件 26人	7,319	58%
令和3年度(2021)	5,910人	67人	10件 233人	6,210	85%
令和4年度(2022)	7,620人	68人	7件 212人(プチガイド121名)	7,900	127%
令和5年度(2023)	8,214人	142人	12件 425人	8,781	111%



SBC テレビ番組取材協力

ネイチャーマイスターの方々による木道の整備

新設された木道 24年春供用開始

■田中駅改札案内業務

(市:受託事業)

期 間:令和5年4月1日(土)から令和6年3月31日(日)まで(毎日業務)

場 所:しなの鉄道 田中駅

内 容:しなの鉄道利用者の利便性向上と東御市を訪れた観光客等に的確な観光情報の提供

鉄道の玄関口田中駅の有効活用 来訪デコレーション、台湾田中駅との連携

<乗降者実績>

年度	乗車数(人)	降車数(人)	乗降数(人)	前年対比
令和1年度(2019)	415,917	412,025	827,942	95.7%
令和2年度(2020)	313,705	312,163	625,868	75.6%
令和3年度(2021)	275,989	275,323	694,953	111%
令和4年度(2022)	366,922	365,154	732,761	105%
令和5年度(2023)	362,085	359,095	721,180	98%

カ 収益事業

■池の平湿原有料駐車場 運営管理

期 間:令和5年5月3日(水祝)から令和5年11月5日(日)※天候により変動あり

設置場所:池の平湿原駐車場

内容:池の平湿原を訪れる来訪者に対する駐車料金の徴収、観光案内及びオリジナルグッズ等の販売。

駐車料金:(1)普通車(軽自含む) 600円

(2)中型車 2,500円

(3)大型車 3,500円

(4)自動二輪 200円

(5)身体障害者手帳を所持し提示した者は、上記金額の半額とする

※ 森林環境整備協力金について(湯の丸・高峰レクリエーションの森)

森林や施設の整備、環境美化などに使われる協力金で、普通車1台30円、中型車50円、大型車100円、自動二輪10円とし、駐車料金に含める。

※ 市内小中学校の教育学習利用時、また市内保育園、幼稚園の園外活動の場合は駐車料金を免除

<駐車実績>

年度	普通車	中型	大型	障害	自動二輪	合計
令和1年度(2019)	8,457	85	407	41	43	9,033 台
令和2年度(2020)	9,505	20	38	52	39	9,654 台
令和3年度(2021)	9,598	28	105	60	65	9,856 台
令和4年度(2022)	10,396	50	228	69	73	10,816 台
令和5年度(2023)	11,136	76	224	59	97	11,604 台

### ■協会オリジナル商品・事業開発

・ふるさと納税お礼の協会商品開発 新規:とうみワンタクシー 6種

<ふるさと納税お礼品実績>

年度	種類	件数	扱い高(円)	前年対比 件数/扱い高
令和1年度(2019)	40	2,542	16,987,262	373%/324%
令和2年度(2020)	98	3,460	18,544,954	136%/109%
令和3年度(2021)	3	10	358,326	0.02%/0.02%
令和4年度(2022)	9	17	589,281	170%/164%
令和5年度(2023)	9	12	412,640	71%/70%

・来訪者サービスを兼ねて本、コーヒー、パンや駄菓子、協会の商品販売などを行いました。

### (雇用関係)

事業所	職員	派遣	臨時・パート	派遣(協力隊)	合計	備考
法人事務局	2		1	3	6	週5日、週4日
東御市観光情報ステーション			1		1	水曜日定休
田中駅			4		4	休日無し常時1名勤務
湯の丸ビジターセンター		1	1		2	夏季6月1日~10月31日
池の平駐車場			14		14	夏季5月14日~11月3日
うんのわ				3	3	水曜日定休
職員数	2	1	21	6	30	

(令和6年3月現在)

財務諸表に対する注記

1. 重要な会計方針

固定資産の減価償却の方法  
定額法によっている。

2. 固定資産の取得価額、減価償却累計額及び当期末残高（直接法により減価償却を行っている場合）

固定資産の取得価額、減価償却累計額及び当期末残高は次のとおりである。

(単位：円)

科 目	取得価額	減価償却累計額	当期末残高
建物	281,819	53,733	228,086
建物附属設備	290,000	121,075	168,925
構築物	702,000	526,500	175,500
什器備品	753,840	612,899	140,941
繰延資産	2,529,000	716,550	1,812,450
合 計	4,556,659	2,030,757	2,525,902

3. 補助金等の内訳ならびに交付者、当期の増減額及び残高

補助金等の内訳ならびに交付者、当期の増減額及び残高は、次のとおりである。

(単位：円)

補助金等の名称	交付者	前期末 残高	当期 増加額	当期 減少額	当期末 残高	貸借対照表上 の記載区分
運営費補助金	東御市		9,800,000	9,800,000		
観光コンテンツ造成支援事業	観光庁		5,500,000	5,500,000		
企業研修の誘致推進事業	上田地域振興局		1,088,000	1,088,000		
合 計			16,388,000	16,388,000		

4. 基金及び代替基金の増減額及びその残高

基金及び代替基金の増減額及びその残高は、次のとおりである。

(単位：円)

科 目	前期末残高	当期増加額	当期減少額	当期末残高
基金				
基金	1,000,000			1,000,000
基 金 計	1,000,000			1,000,000
合 計	1,000,000			1,000,000

貸借対照表

令和6年3月31日現在

(単位：円)

科 目	当 年 度	前 年 度	増 減
<b>I 資産の部</b>			
1. 流動資産			
現金預金	11,544,982	10,383,266	1,161,716
未収金	5,207,064	10,673,182	△ 5,466,118
仮払金	0	25,300	△ 25,300
貯蔵品	0	5,844	△ 5,844
商品	926,131	1,136,704	△ 210,573
流動資産合計	17,678,177	22,224,296	△ 4,546,119
2. 固定資産			
(1) 基本財産			
基本財産合計	0	0	0
(2) 特定資産			
特定資産合計	0	0	0
(3) その他固定資産			
建物	228,086	268,386	△ 40,300
建物附属設備	168,925	265,785	△ 96,860
構築物	175,500	263,250	△ 87,750
什器備品	140,941	187,921	△ 46,980
繰延資産	1,812,450	2,318,250	△ 505,800
営業保証金	200,000	200,000	0
その他の固定資産合計	2,725,902	3,503,592	△ 777,690
固定資産合計	2,725,902	3,503,592	△ 777,690
資産合計	20,404,079	25,727,888	△ 5,323,809
<b>II 負債の部</b>			
1. 流動負債			
未払金	3,648,085	4,573,900	△ 925,815
預り金	40,210	62,613	△ 22,403
仮受金	8,967	0	8,967
未払法人税等	71,000	71,000	0
未払消費税等	469,500	1,547,500	△ 1,078,000
流動負債合計	4,237,762	6,255,013	△ 2,017,251
2. 固定負債			
固定負債合計	0	0	0
負債合計	4,237,762	6,255,013	△ 2,017,251
<b>III 正味財産の部</b>			
1. 基金			
基金	1,000,000	1,000,000	0
2. 指定正味財産			
指定正味財産合計	0	0	0
3. 一般正味財産			
(2) その他一般正味財産	15,166,317	18,472,875	△ 3,306,558
一般正味財産	15,166,317	18,472,875	△ 3,306,558
正味財産合計	16,166,317	19,472,875	△ 3,306,558
負債及び正味財産合計	20,404,079	25,727,888	△ 5,323,809

正味財産増減計算書

令和5年4月1日から令和6年3月31日まで

(単位:円)

科 目	当 年 度	前 年 度	増 減
I 一般正味財産増減の部			
1. 経常増減の部			
(1) 経常収益			
基本財産運用益	0	0	0
特定資産運用益	0	0	0
受取入金	0	0	0
受取会費	3,060,000	3,000,000	60,000
受取会費	3,060,000	3,000,000	60,000
事業収益	33,930,472	48,843,966	△ 14,913,494
受託事業収益	21,837,201	36,896,584	△ 15,059,383
販売事業収益	2,687,850	2,715,392	△ 27,542
その他事業収益	9,405,421	9,231,990	173,431
受取補助金等	16,388,000	15,947,000	441,000
受取地方公共団体補助金	16,388,000	15,947,000	441,000
受取負担金	1,808,205	182,961	1,625,244
受取負担金	1,808,205	182,961	1,625,244
受取寄付金	0	0	0
雑収益	1,280,889	1,588,946	△ 308,057
受取利息	124	93	31
雑収益	1,280,765	1,588,853	△ 308,088
経常収益計	56,467,566	69,562,873	△ 13,095,307
(2) 経常費用			
事業費	45,893,016	49,234,518	△ 3,341,502
給料手当	6,120,566	4,250,853	1,869,713
賃金	9,242,032	8,558,949	683,083
法定福利費	668,851	659,869	8,982
旅費交通費	0	338,184	△ 338,184
通信運搬費	197,273	111,125	86,148
消耗什器備品費	102,835	0	102,835
消耗品費	119,614	278,041	△ 158,427
印刷製本費	1,942,123	1,436,253	505,870
使用料及び賃借料	873,938	541,770	332,168
保険料	50,453	63,041	△ 12,588
報償費	0	150,000	△ 150,000
事業宣伝費	19,634,367	25,450,076	△ 5,815,709
駐車場整備費	399,000	0	399,000
支払負担金(協力金)	364,820	337,510	27,310
委託料	3,004,067	2,915,721	88,346
商品仕入費	2,005,999	2,817,443	△ 811,444
ツーリズム費	564,398	780,798	△ 216,400
雑費	602,680	544,885	57,795
管理費	13,810,093	14,859,404	△ 1,049,311
給料手当	3,951,673	5,886,188	△ 1,934,515
法定福利費	915,456	932,245	△ 16,789
福利厚生費	71,305	43,058	28,247
会議費	100,188	36,200	63,988
旅費交通費	28,364	56,629	△ 28,265
通信運搬費	383,847	388,208	△ 4,361
消耗什器備品費	94,534	0	94,534
消耗品費	477,582	578,593	△ 101,011
研修費	5,455	0	5,455
印刷製本費	14,980	228,910	△ 213,930
光熱水料費	2,242,971	2,655,327	△ 412,356
使用料及び賃借料	1,521,364	1,273,561	247,803

科 目	当 年 度	前 年 度	増 減
保険料	29,571	13,200	16,371
報償費	328,700	197,500	131,200
租税公課	31,739	61,565	△ 29,826
支払負担金	338,912	435,678	△ 96,766
委託料	519,900	389,300	130,600
減価償却費	777,690	383,128	394,562
支払利息	0	9,143	△ 9,143
雑費	1,975,862	1,290,971	684,891
経常費用計	59,703,109	64,093,922	△ 4,390,813
評価損益調整前経常増減額	△ 3,235,543	5,468,951	△ 8,704,494
基本財産評価損益等	0	0	0
特定資産評価損益等	0	0	0
投資有価証券評価損益等	0	0	0
評価損益等計	0	0	0
当期経常増減額	△ 3,235,543	5,468,951	△ 8,704,494
2. 経常外増減の部			
(1) 経常外収益			
固定資産売却益	0	0	0
固定資産受贈益	0	0	0
経常外収益計	0	0	0
(2) 経常外費用			
固定資産売却損	0	0	0
固定資産減損損失	0	0	0
災害損失	0	0	0
経常外費用計	0	0	0
当期経常外増減額	0	0	0
当期一般正味財産増減額	△ 3,235,543	5,468,951	△ 8,704,494
法人税、住民税及び事業税	71,015	71,010	5
一般正味財産増減額	△ 3,306,558	5,397,941	△ 8,704,499
一般正味財産期首残高	18,472,875	13,074,934	5,397,941
一般正味財産期末残高	15,166,317	18,472,875	△ 3,306,558
II 指定正味財産増減の部			
受取補助金等	0	0	0
受取負担金	0	0	0
受取寄付金	0	0	0
固定資産受贈益	0	0	0
基本財産評価益	0	0	0
特定資産評価益	0	0	0
基本財産評価損	0	0	0
特定資産評価損	0	0	0
一般正味財産への振替額	0	0	0
当期指定正味財産増減額	0	0	0
指定正味財産期首残高	0	0	0
指定正味財産期末残高	0	0	0
III 基金増減の部			
基金期首残高	1,000,000	1,000,000	0
基金期末残高	1,000,000	1,000,000	0
IV 正味財産期末残高			
正味財産期末残高	16,166,317	19,472,875	△ 3,306,558

## 令和5年度 社会福祉法人みまき福祉会 事業経営報告（法人本部）

## 1. 基本理念

「いつまでもすこやかに生き生きと安心して暮らし続けたい」

その願いをかなえる核となります。

## ◇基本理念の達成に向けて、私たちが取り組む姿勢

みまき福祉会では法人の基本理念に立ち返り、その人らしさを支えていく心を育みながら、これからもより良く生きる地域づくりを目指し、次の5つの行動指針を掲げ活動してきました。

- ① お客様を大切にすること。
- ② 心のこもった笑顔と言葉づかいをすること。
- ③ 安全、安心に向けた取り組みを進めていくこと。
- ④ 支え支えられの精神を常にもって行動すること。
- ⑤ 職員が生き生きと働く職場づくりを目指していくこと。

## 2. 法人の活動状況と経営

## 【新型コロナウイルス関連】

新型コロナウイルス感染症は、令和5年5月8日から「5類感染症」に移行されました。施設、在宅サービス事業所では、従来の活動の回復に向け出来るところから取り組みを始めました。施設での面会緩和、家族会の開催、運営推進会議の対面開催など実施しました。

また、島根県雲南市「ケアポートよしだ」との人材交流研修を再開、宮城県東松島市「はまなすの里」への夏祭りの支援活動。その他、小・中学校の福祉体験実習等の受入れ、すずらん会ボランティアを再開し、コロナ禍前の事業を実施することが出来ました。これからも感染症の予防対策に配慮しながら地域や連携法人との活動を進めてまいります。

## 【ほのぼののホーム移転、新設】

令和5年4月3日、みはらしの郷デイサービスに隣接した「ほのぼののホーム」の新設開所式を行いました。風光明媚な環境の中、住み慣れた地域で暮らすことを目指し、認知症であってもその人らしく生活できる共同生活住居が完成。9名のご利用者の生活が始まりました。なお、旧施設はユニバーサルワークセンターが障がい者の事務所兼作業所として活用しています。

## 【障がい者就労継続支援事業所「KiU」の開設】

令和5年4月新たに障がい者就労継続支援B型事業所「KiU」（定員20名）をcaféみまき苑内に開設し、就労のニーズに応えられるよう多彩な業務を通して、地域の中で障がい者が就労する機会を拡げました。また、10月から新たに障がい児の相談支援事業所を開設し、幅広く相談支援を進めてまいります。

## 【地域社会の動向 2025年—2040年問題】

少子高齢化が進行する中、団塊の世代が75歳を迎え後期高齢者となり高齢化率が30%を超える2025年。そのジュニア世代が65歳を超える2040年には高齢化率が35%となります。東御市では、2020年に30%を超え、2030年には35%を超えることが予測されており、全国平均より5～10年早く加速している現状にあります。

この現状を踏まえ、地域の介護サービスのニーズを掘り起こし、フレイル対策、介護予防事業の一層の推進を図ります。次年度には、運動特化型のデイサービスを新設します。

### 【人権の尊重―虐待、権利侵害の根絶】

社会福祉の根幹となる人権の尊重は、ご利用者の命と生活を守ることを使命とする社会福祉法人として重要な責務です。近時、社会福祉施設における虐待や権利侵害が数多く報道されていますが、根絶するための取組を改めて我が事として行動しなければなりません。

法人内研修では、この点を留意し外部講師による基礎研修に力を入れてきました。職員同士が共に確認し合い、不適切なサービスの芽を摘み、より良い福祉サービスを創出する職場風土を構築していきます。

### 【共生型社会の実現】

第3次中期経営計画（令和3～7年度）では、地域共生型社会の実現に向けて主要計画を策定し、実践活動を展開しています。就労継続支援事業（AB型複合型一定員20名）、同じくK i U（B型一定員20名）を運営してきました。ケアポートみまき内での清掃や介護補助、温泉アクティブセンター、道の駅など地域との関わりの深い施設で就労も開始し、地域の中で障がい者が活躍できる機会となっています。

### 【持続継続計画 BCP】

福祉施設等においては、高齢者や障害者など、日常生活上の支援が必要な皆さんが多数利用されていることから、災害等により、電気・ガス・水道等のライフラインが寸断され、サービス提供が困難となった場合、利用者の生命・身体に著しい影響を及ぼすおそれがあります。

また、新型コロナウイルス感染症等の感染症発生時においても、サービス提供に必要な人材を確保しつつ、感染防止対策の徹底を前提とした継続的なサービス提供が求められます。

こうした事態が生じた場合でも最低限のサービス提供が維持できるよう、緊急時の人員の招集方法や飲料水・食料・マスク等の衛生用品、冷暖房設備や空調設備稼働用の燃料などの確保策等を定める「業務継続計画」（BCP）を策定することが義務付けられ、本年度策定することが出来ました。

### 【ケアポートみまきリニューアル工事】

ケアポートみまきは開所29年になりました。建物や設備等が経年劣化によって大規模な修繕が必要となっています。ご利用者、ご入居者が安心して利用できる居場所として、また災害への対応や環境へ配慮した福祉施設を目指し、法人内でプロジェクトを立ち上げ検討しました。特にゼロカーボンに配慮し、化石燃料からのエネルギー変換、効率的な供給設備、省エネに向けた修繕計画を策定し、日本財団と協議を重ねた結果、助成事業の対象として認可を頂きました。

令和5年11月から工事に着手することが出来ました。工事完了は、令和6年12月の予定となっています。

### 【総合的な人材マネジメントシステムの構築】

当法人が目指す職員像に基づき、職務能力の開発や総合的に成長できる人材の育成に努めています。キャリアパス制度に準じた研修計画を立て職員の資質の向上に努めてきました。

#### （求める人材像）

- ・共に働く仲間を認め合い、常に感謝の気持ちを持ちます。
- ・常にご利用者の立場に立って、粘り強くあきらめないサービスを提供します。
- ・高齢者及び障がい者の多様化、高度化、複雑化に対応できる総合的な専門知識と技術を有し、自律的に行動できるよう目指します。

【資金収支の状況】

(単位：円)

区分		法人全体	本部事業拠点	施設事業拠点	在宅事業拠点	ユニバーサル事業拠点
事業活動 収支	収入	888,404,932	2,805,684	366,243,779	369,187,791	150,167,678
	支出	865,526,705	32,060,993	346,550,413	326,877,266	160,038,033
	差額	22,878,227	-29,255,309	19,693,366	42,310,525	-9,870,355
施設整備等 収支	収入	31,373,900	0	28,783,900	0	2,590,000
	支出	50,868,260	107,800	29,203,900	16,756,750	4,799,810
	差額	-19,494,360	-107,800	-420,000	-16,756,750	-2,209,810
その他 活動 収支	収入	46,980,699	39,919,000	2,000,000	61,699	5,000,000
	支出	46,980,783	3,549,800	16,625,084	20,443,000	6,362,899
	差額	-84	36,369,200	-14,625,084	-20,381,301	-1,362,899
資金収支差額		3,383,783	7,006,091	4,648,282	5,172,474	-13,443,064

3. 事業拠点ごとの活動実績

拠点区分	活動の内容・実績
法人本部 事業拠点	<ul style="list-style-type: none"> <li>・事業所ヒアリング</li> <li>・特養ケアポートみまきリニューアル工事。契約、着工 (R5.11~施工)</li> <li>・BCP 策定</li> <li>・法人内研修、キャリアパス研修の推進</li> </ul>
ケアポート みまき 事業拠点	<ul style="list-style-type: none"> <li>・特養…入居者 66 人、平均介護度 4.0 要介護 2=1 人、要介護 3=17 人、要介護 4=26 人、要介護 5=21 人 平均年齢 90.1 歳。退去者 30 人 (うち看取り 25 人)</li> <li>・栄養課…月 4 回特別食、行事食等、在宅配食 329 食、ひまわり弁当 1,665 食</li> <li>・きつず…施設内保育 利用状況月平均=4.25 人、最大 12 人</li> <li>・診療所…東御市委託 (看護師 2 人配置) 往診件数 1,203 件/年 (+254 件)</li> </ul>
在宅総合支援 センター 事業拠点	<ul style="list-style-type: none"> <li>・デイきた…定員 40 人。利用者 10,978 人/年 (88.5%)</li> <li>・デイあぜだ…定員 9 人。利用者 1,817 人/年 (78%)</li> <li>・みはらしの郷…定員 18 人。利用者 4,623 人/年 (82%)</li> <li>・予防センターみまき…利用者 815 人/年</li> <li>・トレーニングセンターみまき…利用者 1,682 人/年</li> <li>・マネージ…計画実績 1,653 件/年、予防委託 147 件/年</li> <li>・訪問看護…訪問回数 4,335 件/年 (延べ利用者 1,198 人)、在宅看取り 25 人</li> <li>・ヘルパー…利用者 4,400 件/年 (+700 件)</li> <li>・ショート…定員 20 人 (2~3 月 10 人) 利用者 5,209 人/年 (77.5%) 看取 2 件</li> <li>・ほのぼのホーム (4/1 新設移転) …定員 9 人、運営推進会議 6 回、訪看連携</li> </ul>
ユニバーサル ワーク センター 事業拠点	<ul style="list-style-type: none"> <li>・相談支援…相談支援 45 件/年、児童相談 4 件/年 (10 月~)</li> <li>・障がい者支援…同行 173 件/年 (7 名)、移動 25 件/年 (3 名) 家事援助 476 件/年 (9 名)、福祉有償運送 1,050 件 (48 名)</li> <li>・就労継続支援…A型延べ 1,376 名/年 平均賃金 135,168 円/月 B型延べ 2,941 名/年 平均工賃 18,483 円/月</li> <li>・アクティブ…会員数 899 人。(内 Jr スイミング 292 人。) 利用者 延べ 86,008 人/年 (前年 87,858 人。対比 97.9%)</li> <li>・みまき苑…総売上 15,313,855 円、総来客数 11,092 名</li> <li>・K i u…定員 20 名、B型延べ 870 名/年 平均工賃 13,680 円/月</li> </ul>



## 職務執行状況の報告

令和5年	4月	1日	ほのぼのホーム引越し
		3日	ほのぼのホーム竣工式・開所式 身体教育医学研究所仕事始め式
		5日	辞令交付 運営会議 職員全体会
		7日	看護師面接会
		10日	理事会書面決議 一体型事業打合せ
	11～13日		新年度事業所ヒヤリング
		13日	業者選定委員会 理事、監事、評議員懇談会
		18日	ほのぼの運営推進会議
		19日	衛生委員会 経営戦略会議
		25日	しんたいミーティング
		26日	入札会（ケアポートみまきリニューアル工事設計監理業務）
		29日	祢津東町歌舞伎
	5月	11日	理事、監事、評議員懇談会
	15～17日		管理者面談（常務理事）
		18日	東御市企業人権同和教育連絡協議会
		23日	令和4年度決算打合せ（土屋税理士）
		25日	身体教育医学研究所決算監査会
		26日	法人決算監査会
		31日	長野県経営者協議会総会
	6月	1～6日	主任面談（常務理事）
		3日	身体教育医学研究所理事会
		8日	第2回理事会 東御市議会全員協議会決算報告
		9日	北御牧中学認知症学習会
		15日	ほのぼの運営推進会議
		16日	介護福祉士会総会（サテライト会場ふれあいホール）
		20日	しんたい評議員会
		21日	北御牧小学校福祉体験
		22日	ケアポートよしだとの人材育成交流会（～24日）
		27日	しんたいミーティング
		29日	第1回評議員会・第3回理事会・合同懇親会
		30日	入所調整委員会

- 7月 3日 辞令交付式  
7日 日本財団みらいの福祉プロジェクトフォーラム  
11～14日 事業所ヒヤリング（事業計画推進）  
15日 特養家族会  
信州短大集中講義（ふれあいホール）  
19日 北御牧中学校職場体験（アクティブセンター）  
20日 みまきっず指導監査  
24日 雲南市石飛市長視察  
26日 上田養護学校施設見学  
28日 東御市福祉課ヒヤリング（第9期介護保険計画）
- 8月 1日 K i u（就労継続支援B型）実地指導  
長野市（福）森の木へ視察（障がい者事業）  
5日 宮城県はまなすの里へ夏祭り支援（～7日）  
雷電まつり（社協連に踊り参加）  
8日 高年齢雇用機構（J e e d）打合せ  
雲南市ケアポートよしだへ（～9日）  
12日 みまきふれあい朝市  
13日 新盆見舞い  
17日 ほのぼの運営推進会議  
信州短大施設見学  
23日 農福連携会議（コモダ農園）  
24日 千葉県医療法人君津会視察受入  
29日 上田市明照会視察受入  
笹川スポーツ財団視察受入
- 9月 1日 辞令交付式  
みはらしの郷車両入魂式  
3日 ケアポートみまき総合防災訓練  
7日 東京リハ総研交流会  
東御市振興公社打合せ  
8日 民生児童員デイきた視察  
11日 ケアポートよしだリモート会議  
15日 退職者の会  
20日 特養敬老会  
21日 東御市、社協敬老の日訪問  
日本財団より施設見学  
管理者研修会  
23日 御牧乃湯マルシェ（cafe みまき苑）  
セラピスト機能訓練報告会  
26日 4法人研修会（グループホーム部会）  
27日 法人本部車両入魂式  
28日 北御牧中学校総合学習  
29日 みはらしの郷・デイあぜだ運営推進会議  
30日 令和6年度新規採用職員試験

- 10月 2日 ケアポート田稲刈り  
3日 管理者研修会  
全国経営協関東ブロック災害委員会・研修会  
4日 運営会議・辞令交付式  
職員全体会（オンライン開催）  
5日 第4回理事会  
6日 高齢・障害・求職者雇用支援機構全国理事長表彰授賞式  
高齢者活躍企業コンテスト優秀賞（東京＝イイノホール）  
7日 火のアートフェスティバル  
ごぜ唄の会（協力支援） 八反田旧渡辺醫院  
10日 特養リニューアル工事業者選定委員会  
11日 上記 書面決議  
12日 上記 入札公告開始  
17日 第12回信州エルダーフォーラム（事例発表等）  
18日 リニューアル工事東御市へ陳情  
20日 ほのぼのホーム運営推進会議  
23日 ケアポート田脱穀  
24日 上小圏域介護事業所連絡協議会総会・研修会  
災害時避難受入施設ヒヤリング（東御市）  
25日 非常食献立の日  
27日 第3者委員会  
ハロウィン（みまきっず）  
28日 しんたい理事会  
31日 みまき福祉会中間決算監査会（監事2名）
- 11月 2日 特養リニューアル工事入札会  
7日 島根県雲南市副市長様東御市へ来訪  
10日 すずらん会総会  
11日 高所トレーニング国際シンポジウム  
御牧乃湯 温泉マルシェ  
第72回長野県社会福祉大会（松本市）  
「長野県社会福祉協議会長表彰」授賞式  
13日 訪問看護ステーション実地指導  
16日 第2回母子健康推進ネットワーク会議（ふれあいホール）  
ケアプラン点検  
21日 しんたいミーティング  
21～22日 人事考課事業所ヒヤリング  
23日 アクティブセンターお客様感謝デイ  
24日 ユニバーサルワークセンターみまき実地指導  
26日 第19回ケアポートみまき事業所報告会  
28日 4法人研修会（看護師部会ズーム研修）
- 12月 6日 運営会議  
7日 「人生会議」勉強会（講師；斎藤診療所長）

	10日	アクティブ水泳フェスタ	
	13日	社会福祉施設安全衛生管理講習会	
	17日	元消防団長掛川久義氏叙勲式典	
	19日	衛生委員会	
	20日	経営戦略会議	
	22日	第7回理事会・第2回評議員会合同会議、懇親会	
	26日	しんたいミーティング	
	27日	特養「望年会」	
	28日	餅つき（特養、在宅センター） 仕事納め	
令和6年	1月	4日	仕事始め 辞令交付式
		5日	東御市長様へ新年挨拶
	9～	11日	事業所ヒヤリング（次年度臨時職員雇用調査）
		10日	施設運営会議・管理者会議
		11日	コミュニティーホスピタル協会視察対応
		16日	経営戦略会議
		18日	企業人権同和教育研修会
		20日	特養家族会
		23日	地域包括一体化事業令和6年度打合せ
		24日	経営戦略会議
		25日	酒販協会管理者研修会
		26日	福祉の職場説明会
		27日	長野県議会議員視察対応
		29日	東御市振興公社打合せ（御牧乃湯関連） しんたいミーティング
	2月	2日	辞令交付式
		4日	サニーとうみ2周年記念イベント
		7日	施設運営会議 職員面接会
		8日	管理者研修会
	13～	16日	新年度事業計画・予算ヒヤリング
		15日	農福連携シンポジウム
		21日	経営戦略会議 望月悠玄福祉会打合せ（職員交流研修）
	～	22日	全国青年協関東ブロック研修会（長野市）
		24日	しんたい理事会
		28日	木島社労士打合せ（新雇用契約制度）
	3月	1日	東御市民病院打合せ（令和6年度事業関連）
		3日	北御牧地区冬季スポーツ大会（特養ポッチャ出場）
		4日	全国経営協管理者研修（ズーム）
		5日	長野県看護協会打合せ（看護師採用）

- 6日 施設運営会議
- 11日 福祉ムーバー打合せ（東御市福祉課協議）
- 13日 みまきっず卒園式
- 14日 望月悠玄福祉会打合せ（職員交流研修）
- 15日 デイあぜだ、みはらしの郷運営推進会議
- 19日 けんしん上田支店打合せ（資金関連）  
経営戦略会議
- 20日 特養への職員交流研修打合せ
- 21日 しんたいミーティング  
東御市振興公社打合せ（御牧乃湯関連）
- 22日 ボランティア「すずらん会」総会
- 25～28日 新任職員研修会
- 27日 第8回理事会
- 28日 総合防災訓練
- 29日 退職者の会（辞令交付式）

## ご寄付者の報告

No	受付年月日	贈与者氏名	受贈品・寄附金	摘要
1	R5. 4.10	渡辺 善成 様	紙オムツ他	
2	R5. 4.22	富沢 敏一 様他	飲み物	
3	R5. 5.26	荻原 輝久 様	浄財	
4	R5. 5.26	かなもと青果 様	レタス	
5	R5. 5.30	岡田 佳澄 様	尿取りパット	
6	R5. 6. 5	緑川栄寿郎 様	玉ねぎ	
7	R5. 6.12	白倉 義雅 様	ブロッコリー	
8	R5. 6.14	武井 正次 様	ブロッコリー	
9	R5. 6.14	山浦 義代 様	たけのこ	
10	R5. 6.15	清水いずみ 様	野菜苗	
11	R5. 6.15	白倉 義雅 様	白菜	
12	R5. 6.19	緑川栄寿郎 様	キャベツ	
13	R5. 6.24	荻原 新一 様	紙オムツ他	
14	R5. 6.27	内堀 佑花 様	紙オムツ他	
15	R5. 7. 3	匿名 様	浄財	
16	R5. 7. 6	赤尾 正 様	清拭布	
17	R5. 7. 6	田中志津子 様	紙オムツ他	
18	R5. 7. 6	青木 久明 様	ジャガイモ	

19	R5. 7.13	田中 和弘 様	ピーマン	
20	R5. 7.17	田中 信子 様	紙オムツ他	
21	R5. 7.18	緑川栄寿郎 様	ジャガイモ	
22	R5. 7.18	斎藤 雪枝 様	紙オムツ他	
23	R5. 8. 8	井出 進一 様	清拭布	
24	R5. 8.15	田中 和弘 様	ピーマン	
25	R5. 8.17	田中 和弘 様	ピーマン	
26	R5. 8.18	山浦 義代 様	カボチャ	
27	R5. 8.19	赤尾 正 様	ジャガイモ	
28	R5. 8.25	田丸 勝夫 様	紙オムツ他	
29	R5. 8.28	小林 敬子 様	カボチャ	
30	R5. 8.30	赤尾 正 様	ジャガイモ	
31	R5. 9. 4	赤尾 昭義 様	カボチャ	
32	R5. 9.12	丸山 和 様	ジャガイモ	
33	R5. 9.15	丸山 和 様	米	
34	R5. 9.16	赤尾 昭義 様	カボチャ	
35	R5. 9.20	岩下美智子 様	米	
36	R5. 9.27	金井 稔幸 様	米	
37	R5.10. 4	赤尾 昭義 様	野菜等	
38	R5.10.10	武井袈裟美 様	野菜等	
39	R5.10.16	赤尾 昭義 様	野菜等	
40	R5.10.16	土屋 深雪 様	清拭布	
41	R5.10.19	小山 優 様	米	
42	R5.10.20	白倉 征恵 様	野菜等	
43	R5.10.23	山浦 義代 様	野菜等	
44	R5.11. 1	丸山 和 様	米	
45	R5.11. 8	赤尾 昭義 様	野菜等	
46	R5.11. 9	青木 久明 様	野菜等	
47	R5.11. 9	田中 和幸 様	浄財	
48	R5.11.20	アサヒ緑健 様	飲物等	
49	R5.11.20	小林まさ江 様	米	
50	R5.11.21	赤尾 昭義 様	野菜等	
51	R5.11.22	山口真紀子 様	テレビ等	

52	R5.11.27	大熊 節男 様	りんご	
53	R5.11.27	匿 名 様	野菜等	
54	R5.11.27	丸山 耕一 様	紙オムツ	
55	R5.12. 6	匿 名 様	クリスマス装飾品	
56	R5.12. 7	尾山 直樹 様	シクラメン鉢花	
57	R5.12.11	武井 正次 様	野菜	
58	R5.12. 9	匿 名 様	リンゴ	
59	R5.12.11	成田 一郎 様	シルバーカー他	
60	R5.12.14	滝沢 良一 様	米	
61	R5.12.22	滝沢 良一 様	もち米	
62	R5.12.25	小林 経明 様	オムツ	
63	R5.12.25	白倉 義雅 様	米	
64	R5.12.25	桜井多美子 様	タオル	
65	R5.12.28	匿 名 様	米	
66	R6. 1. 9	尾山 富男 様	オムツ	
67	R6. 1.10	匿 名 様	ギフトカード	
68	R6. 2.11	小松 信子 様	タオル他	
69	R6. 2.13	匿 名 様	ボックスティッシュ	
70	R6. 2.14	岩下 久雄 様	米	
71	R6. 2.19	小山 敦子 様	手ぬぐい	
72	R6. 2.22	匿 名 様	ポータブルトイレ	

## 令和5年度 理事会・評議員会の開催状況

会議	回	開催日	内 容
理事会	第1回	4月10日(月)	(1) 令和5年度資金収支補正予算(第1号)について (2) 業者選定委員会の開催について ※書面決議
	第2回	6月8日(木)	(1) 令和4年度 事業報告及び決算について (2) 令和5年度 資金収支補正予算(第2号)について (3) 定款の一部改正について (4) 温泉アクティブセンター会費及び営業日の変更について (5) 理事候補者の推薦について (6) 監事候補者の推薦について (7) 評議員会の開催について ※出席状況: 理事6名 監事2名
	第3回	6月29日(木)	(1) みまき福社会 理事長の選定について (2) みまき福社会 常務理事の選定について (3) 第三者委員の承認について ※出席状況: 理事6名 監事2名
	第4回	10月5日(木)	(1) 令和5年度 資金収支補正予算(第3号)について (2) 就業規則の一部改正について (3) 臨時職員就業規則の一部改正について (4) 給与規則の一部改正について (5) 工賃規程の一部改正について (6) 相談支援センターみまき 運営規程の制定について (指定障害児相談支援事業所) (7) 業者選定委員会の開催について (特別養護老人ホーム「ケアポートみまき」のリニューアル工事) ※出席状況: 理事5名 監事1名
	第5回	10月11日(水)	(1) みまき福社会業者選定委員会の結果の同意について ※書面決議
	第6回	11月10日(金)	(1) みまき福社会業者選定委員会の結果の同意について ※書面決議
	第7回	12月22日(金)	(1) 第1号議案 評議員会の開催について (2) 第2号議案 資金収支補正予算について ※出席状況: 理事6名 監事1名

	第8回	3月27日(水)	<ul style="list-style-type: none"> <li>(1) 令和6年度 事業計画(案) 予算(案) について</li> <li>(2) 定款細則の一部改正について</li> <li>(3) 事務処理規則の一部改正について</li> <li>(4) LIFE 運営規程の制定について</li> <li>(5) 共用型認知症対応型通所介護ほのぼの運営規程の制定について</li> <li>(6) 運営規程の一部改正について</li> <li>(7) 経理規程の一部改正について</li> <li>(8) 給与規則の一部改正について</li> <li>(9) 座貸越契約の変更について</li> <li>(10) 役員賠償責任保険の契約について</li> </ul> <p>※出席状況：理事6名 監事1名</p>
--	-----	----------	--------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------

会議	回	開催日	内容
評議員会	第1回	6月29日(木)	<ul style="list-style-type: none"> <li>(1) 令和4年度 事業報告及び決算について</li> <li>(2) 定款の一部改正について</li> <li>(3) 役員報酬規程の一部改正について</li> <li>(4) 理事の選任について</li> <li>(5) 監事の選任について</li> </ul> <p>出席状況：評議員7名 監事1名</p>
	第2回	12月22日(金)	<ul style="list-style-type: none"> <li>(1) 第1号議案 評議員会の開催について</li> <li>(2) 第2号議案 資金収支補正予算について</li> </ul> <p>出席状況：評議員5名 監事1名</p>

## 令和5年度 職員研修実績一覧表

(みまき福祉会職員研修プログラム)

研 修 名	期 日	内 容	参加者
職員全体会(リモート開催)	R5. 4. 5 (木)	新任職員紹介・勤続10年表彰 基礎研修 勤怠・経理・研修関係連絡	職員 全体
自己点検シート配布・集計	R5. 5. 10～24	虐待防止チェックリスト記入	職員全体
法人内独自研修	R5. 6 月 12. 19. 21. 23 R5. 7 月 3. 19. 26. 28	高齢者虐待防止	136名
法人内独自研修	R5. 8 月 4. 7. 23. 30	プライバシー保護	101名
法人内独自研修	R5. 9 月	事故防止・再発防止アンケート	77名
法人内独自研修	R5. 10 月 6. 16. 20. 23	緊急時・事故対応	71名
法人内独自研修	R5. 11 月 10. 13. 17. 27	身体拘束排除	61名
法人内独自研修	R5. 12 月 4. 11. 18. 25	感染症予防・対策	82名
法人内独自研修	R6. 1 月 15. 19. 26. 29 R6. 2 月 2. 9. 19. 26	意欲向上・グループワーク	123名
管理者研修 (社会福祉法人佛子園 専務理事 村岡 裕 氏)	R5. 6. 7 (木) R5. 8. 10 (木) R5. 10. 3 (火) R6. 2. 8 (木)	法人運営への取組・課題解決	主任 以上
4 法人合同研修 職種別懇談会 (第1回)	R5. 7. 25 (火)	ユニットリーダー懇談会 (リモート開催)	15名 (4名)
4 法人合同研修 職種別懇談会 (第2回)	R5. 9. 26 (火)	グループホーム・小規模多機能職員 部会 (リモート開催)	9名 (2名)
職員全体会 (リモート開催)	R5. 10. 4 (水)	基礎研修(リスクマネジメント・ 虐待防止・感染症予防・職業倫理規定)	職員全体
4 法人合同研修 職種別懇談会 (第3回)	R5. 11. 28 (火)	看護職員部会 (リモート開催)	9名 (2名)
ケアの質向上研修会 (東御市立みまき温泉診療所 所長 齊藤 文護 医師)	R5. 12. 7 (木)	人生会議とは・・・? 意思決定支援	30名
4 法人合同研修 職種別懇談会 (第4回)	R6. 1. 23 (火)	居宅(ケアマネージャー)職員部会 (リモート開催)	13名 (2名)

令和5年度 資金収支実績 (総括表)

< 社会福祉法人みまき福祉会 >

(単位; 円)

(列)		1	2	3	4	5	
(行)	勘定科目	法人全体	法人本部 事業拠点	ケアポート みまき 事業拠点	在宅総合支援 センター みまきの家 事業拠点	ユニバーサル ワークセンター みまき 事業拠点	
1	事業活動による収支	介護保険事業収入	685,268,365		325,454,557	359,813,808	
2		保育事業収入	2,107,000		2,107,000		
3		就労支援事業収入	103,432,671			103,432,671	
4		障害福祉サービス等事業収入	46,561,985			46,158,215	
5		医療事業収入	6,945,375			6,945,375	
6		その他の事業収入	19,491,440	994,500	18,496,940		
7		経常経費寄付金収入	251,800	251,800			
8		受取利息配当金収入	13,243	12,053	261	834	95
9		その他の収入(雑収入)	24,333,053	1,547,331	20,185,021	2,024,004	576,697
10		事業活動収入計	888,404,932	2,805,684	366,243,779	369,187,791	150,167,678
11	支出	人件費支出	525,236,177	26,098,868	211,512,713	240,662,397	46,962,199
12		事業費支出	141,590,694		89,377,376	48,472,796	3,740,522
13		事務費支出	88,509,675	5,962,125	42,157,609	35,075,602	5,314,339
14		就労支援事業支出	104,018,666			10,000	104,008,666
15		支払利息支出	1,549,208		200,275	1,336,626	12,307
16		その他の支出	4,622,285		3,302,440	1,319,845	
17		事業活動支出計	865,526,705	32,060,993	346,550,413	326,877,266	160,038,033
18	事業活動資金収支差額	22,878,227	-29,255,309	19,693,366	42,310,525	-9,870,355	
19	施設による整備等	施設整備等補助金収入	12,590,000		10,000,000		2,590,000
20		設備資金借入金収入	18,783,900		18,783,900		
21		施設整備等収入計	31,373,900	0	28,783,900	0	2,590,000
22		設備資金借入金元金償還支出	16,834,600			15,835,000	999,600
23		固定資産取得支出	33,085,510	107,800	29,203,900	316,250	3,457,560
24		ファイナンス・リース返済支出	948,150			605,500	342,650
25	施設整備等支出計	50,868,260	107,800	29,203,900	16,756,750	4,799,810	
26	施設整備等資金収支差額	-19,494,360	-107,800	-420,000	-16,756,750	-2,209,810	
27	その他活動による収支	拠点区分間繰入金収入	46,980,699	39,919,000	2,000,000	61,699	5,000,000
28		積立資産取崩収入	0				
29		その他の活動収入計	46,980,699	39,919,000	2,000,000	61,699	5,000,000
30		拠点区分間繰入金支出	46,980,699	3,549,800	16,625,000	20,443,000	6,362,899
31		積立預金積立支出	84		84		
32		その他の活動支出計	46,980,783	3,549,800	16,625,084	20,443,000	6,362,899
33	その他の活動資金収支差額	-84	36,369,200	-14,625,084	-20,381,301	-1,362,899	
34	当期資金収支差額	3,383,783	7,006,091	4,648,282	5,172,474	-13,443,064	
35	前期末支払資金残高	208,211,021	18,933,291	63,542,427	178,302,862	-52,567,559	
36	当期末支払資金残高	211,594,804	25,939,382	68,190,709	183,475,336	-66,010,623	

## 公益財団法人身体教育医学研究所

## 令和 5 (2023) 年度事業報告

(令和 5 (2023) 年 4 月 1 日から令和 6 (2024) 年 3 月 31 日まで)

## I. 法人の概況

## 1. 設立年月日等

平成 11 (1999) 年 5 月 15 日 研究所開所 (社会福祉法人みまき福祉会内)  
平成 21 (2009) 年 2 月 2 日 一般財団法人設立  
平成 23 (2011) 年 3 月 22 日 公益財団法人認定 (長野県)  
令和 元 (2019) 年 8 月 31 日 開所 20 周年記念式典

## 2. 定款に定める目的 (定款第 3 条)

この法人は、身体に関わる様々な事象について、従来の保健・医療・福祉・介護・教育・スポーツ等の諸分野を総合させた調査研究・分析評価・教育啓発活動を行い、「からだを育む」ことを通した全ての人々の健康づくりと公共政策づくりに寄与することを目的とする。

## 3. 定款に定める事業内容 (定款第 4 条)

定款第 4 条に定める事業区分	公益認定に伴う公益目的事業の区分
(1) 身体教育医学に関する調査研究	(公 1) 身体教育医学に関する調査研究事業
(2) 調査研究事業、 健康づくり事業等の受託及び協力	(公 2) 健康づくりに関する事業受託、講演会・教室への 講師派遣、相談指導等の教育啓発事業
(3) 講演会、健康づくり教室等への講師派遣	
(4) 健康づくりに関する相談及び指導	
(5) 講演会、講習会、研究会等の開催	(公 3) 法人主催の研修会、出版物の発刊、収集した 文献の一般公開等による情報発信事業
(6) 学術機関誌・一般啓発用資料他出版物等の発行	
(7) 身体教育医学に関する文献等の収集及び閲覧	
(8) その他この法人の目的を達成するために必要な事業	※内容により (公 1) ~ (公 3) のいずれかに該当

## 4. 所管官庁に関する事項

長野県 総務部 情報公開・法務課

## 5. 主たる事務所の状況

長野県東御市布下 6 番地 1 ケアポートみまき内

## 6. 職員に関する事項 (令和 6 (2024) 年 3 月 31 日現在)

職員数 (臨職数)		前期末比増減 (臨職数)	平均 年齢	平均勤続 年数	備考
男子	5 名(2 名)	-1 名(0 名)	46.7	7.2	うち正規雇用 1 名は東御市より派遣
女子	5 名(4 名)	0 名(0 名)	51.4	11.0	
全体	10 名(6 名)	-1 名(0 名)	49.0	9.1	平成 25 (2013) 年度末の状況 8 名(3 名)、+2 名、36.6 歳、7.3 年

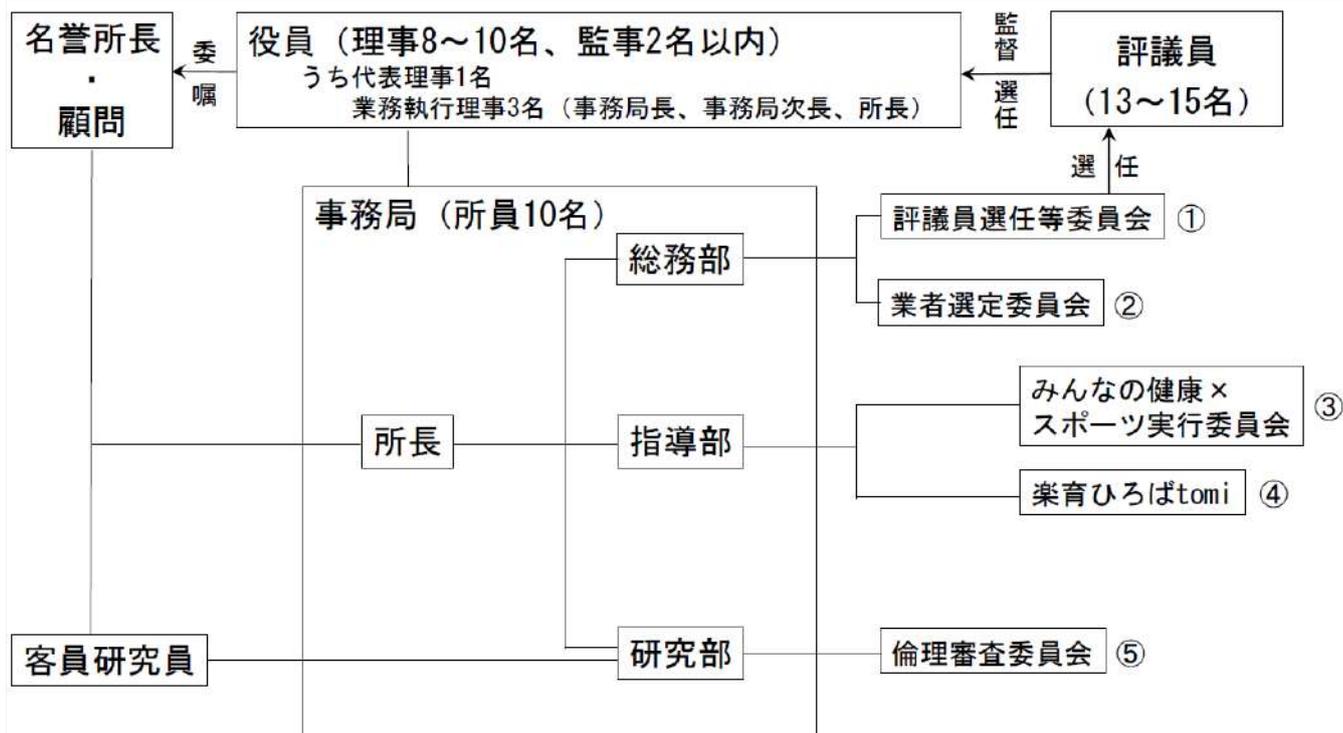
7. 名誉所長、顧問、客員研究員に関する事項（令和6（2024）年3月31日現在）

役 職	氏 名	常勤・非常勤	現 職
名誉所長	武藤 芳照	非常勤	一般社団法人東京健康リハビリテーション総合研究所・所長
顧問	桂川 保彦	非常勤	株式会社スポーツデザイン研究所・首席研究員
顧問	木村 貞治	非常勤	信州大学医学部保健学科・教授
顧問	中澤 公孝	非常勤	東京大学スポーツ先端科学連携研究機構・機構長
客員研究部長	奥泉 宏康	非常勤	上田市武石診療所・所長
客員研究部長	上岡 洋晴	非常勤	東京農業大学大学院農学研究科環境共生学専攻・教授
客員研究部長	小松 泰喜	非常勤	日本大学スポーツ科学部・教授
客員研究部長	朴 眩泰	非常勤	韓国・東亜大学校・健康科学大学長
客員研究員	大関 真理子	非常勤	公益財団法人ニッポンドットコム・総務部長
客員研究員	加藤 美絵	非常勤	元身体教育医学研究所・研究員
客員研究員	金藤 理絵	非常勤	東御市企画振興部文化・スポーツ振興課・GMOアスリートパーク湯の丸PR大使
客員研究員	鎌田 真光	非常勤	東京大学大学院医学系研究科公共健康医学専攻・講師
客員研究員	佐藤 照友旭	非常勤	元公益財団法人東京リビック・パフォーミング競技大会組織委員会・アスリート・ヒーフーム係長
客員研究員	高橋 亮輔	非常勤	日本大学理工学部・准教授
客員研究員	朴 相俊	非常勤	佐久大学看護学部・教授

8. 役員等に関する事項（令和6（2024）年3月31日現在）

役 職	氏 名	常勤・非常勤	現 職
評議員	荒川 玲子	非常勤	NPO 法人うえだミックススポーツクラブ・理事長
評議員	飯島 裕一	非常勤	信濃毎日新聞社・特別編集委員
評議員	岩橋 輝明	非常勤	東御市民病院・院長
評議員	掛川 卓男	非常勤	㈱信州東御市振興公社・取締役総務部長
評議員	金井 一子	非常勤	東御市民生児童委員協議会・理事
評議員	久堀 周治郎	非常勤	社会福祉法人みまき福祉会・顧問
評議員	後藤 誠	非常勤	東御市工業振興会・代表
評議員	小山 隆文	非常勤	東御市・教育長
評議員	佐藤 千枝	非常勤	長野県議会・議員
評議員	田中 信寿	非常勤	東御市議会・副議長
評議員	茅野 隆徳	非常勤	社会福祉法人上田明照会・専門幹
評議員	中澤 敏正	非常勤	長野県上田保健福祉事務所・副所長
評議員	中堀 雅夫	非常勤	NPO 法人東御市スポーツ協会・会長
評議員	堀内 ふき	非常勤	佐久大学・学長
評議員	横山 好範	非常勤	社会福祉法人東御市社会福祉協議会・会長
代表理事	田丸 基廣	非常勤	東御市・副市長
業務執行理事	井出 政之	非常勤	東御市・健康福祉部長
業務執行理事	翠川 昌博	非常勤	社会福祉法人みまき福祉会・理事長
業務執行理事	岡田 真平	常勤	公益財団法人身体教育医学研究所・所長
理事	北湯口 純	非常勤	身体教育医学研究所うなん・管理研究員
理事	工藤 保子	非常勤	大東文化大学スポーツ・健康科学部・准教授
理事	齋藤 文護	非常勤	東御市立みまき温泉診療所・所長
理事	三溝 和子	非常勤	東御市スポーツ推進委員会・代表
理事	田中 千晶	非常勤	東京家政学院大学人間栄養学部・教授
理事	中村 崇	非常勤	一般社団法人健康福祉広域支援協会・代表理事
監事	小林 経明	非常勤	学校法人信学会・理事長
監事	堀内 和子	非常勤	株式会社エフエムとうみ・代表取締役

## 9. 組織図



### ※各委員会の構成

#### ①評議員選任等委員会 (5人)

評議員1人、監事1人、事務局員1人、外部委員2人

#### ②業者選定委員会 (委員長及び委員若干名)

委員長:業務執行理事(事務局次長) 委員:理事1名、評議員1名、監事1名、所長、総務部若干名

#### ③みんなの健康×スポーツ実行委員会 (20人以内)

東御市身体障害者福祉協会、東御市手をつなぐ育成会、陽だまりの会、ぴかそくらぶ、はこべの会、東御市、東御市教育委員会、東御市スポーツ推進委員会、(特非)東御市スポーツ協会、(福)みまき福祉会、(福)東御市社会福祉協議会、(福)ちいさがた福祉会、(一社)Sany TOMI、(公財)身体教育医学研究所(事務局)

#### ④楽育ひろば tomi (20人以内)

- (1)公益財団法人身体教育医学研究所関係者
- (2)東御市及び周辺地域の教育・福祉関係者
- (3)東御市役所内関連部署関係者
- (4)識見を有する者

#### ⑤倫理審査委員会 (5人以上)

- (1)医学・医療の専門家等、自然科学の有識者が含まれていること  
市立みまき温泉診療所(所長)、東京農業大学(教授)
- (2)倫理学・法律学の専門家等、人文・社会科学の有識者が含まれていること  
(福)みまき福祉会(理事長)
- (3)研究対象者の観点も含めて一般の立場から意見を述べることのできる者が含まれていること  
学識経験者
- (4)委員会の設置者の所属機関に所属しない者が複数含まれていること
- (5)男女両性で構成されていること
- (6)5人以上であること

## II. 事業の状況

### 1. 事業の実施状況

2023年度は、第3期中期計画の最終年度として、掲げた基本的考え【コンセプト】、社会的使命【ミッション】、行動指針【ビジョン】に沿って、当年度の重点課題を定めたうえで各種事業に取り組んだ。

#### ～基本的考え【コンセプト】と社会的使命【ミッション】～

##### 「からだを育み、こころを育み、きずなを育む」研究と実践を地域(信州・東御)から発信する

私たち「しんたい」は、保健・医療・福祉・介護・教育・スポーツ等の諸分野にまたがる調査研究・教育啓発・情報発信等の活動を地域で実践し、各活動に関連する幅広いネットワークを生かすことにより、誰もが「からだを育み、こころを育み、きずなを育む」ながら、地域で健やかに暮らし続けることができるための公共政策づくりに寄与します。

**行動指針【ビジョン】** しんたいは、「子どもの育ち」「心身の健康」「みんなのスポーツ」に関わる各領域を個別に捉えることなく、相互に関連づけながら研究と実践を進めていくことを強みとし、地域に密着した独自性のあるシンクタンクとして、核となる各種事業を展開していきます。またその活動により、公益法人として「SDGs（持続可能な開発目標）」の達成にも貢献します。

まず要旨として、年度当初の事業計画に記載した以下の重点課題に沿って事業の概況を報告する。

#### <重点課題>

1. 第3期中期計画（2020－2023）の最終年度、ポストコロナの状況もふまえて、法人の持続的発展・財源安定とSDGs（持続可能な開発目標）の達成への貢献とが両立し、次期の4年間につなげる。
2. 事業内容に沿った調査研究活動を精力的に進め、研究成果等をわかりやすく発信する。（公1，3）
3. 理念に沿った地域に貢献する教育啓発活動を行い、地域との協働による取り組みを進める。（公2）

#### ①重点課題（1）

##### 第3期中期計画（2020－2023）の最終年度、ポストコロナの状況もふまえて、法人の持続的発展・財源安定とSDGs（持続可能な開発目標）の達成への貢献とが両立し、次期の4年間につなげる。

2023年度は1年間、正規職員が1名欠員の状況の中で、正規4名と臨時6名の職員体制によって、多様な業務が滞らず遂行できるように、役割分担の明確化や、地域との協働による活動（楽育ひろば、みんなの健康×スポーツ、総合型クラブとの連携）の推進などに継続的に取り組んできた。

新型コロナウイルス感染症の5類感染症への移行に伴い、指導現場がコロナ前の状況に回復するとともに、助成事業により大規模な普及事業に取り組んだことから、（公2）教育啓発事業の経常収益が46,592,546円と、前年度の約2倍の大きな金額になった。

業務上では、研究、実践の両面において、幅広いネットワークの中で連携をコーディネートする役割が定着してきており、調査研究事業と教育啓発事業の展開における当研究所の強みとなっている。また、コロナ禍の経験を経て、より柔軟な活動が可能な組織体として運営を行っている。今後に向けてさらに組織体制や活動内容を充実・発展できるよう、地域からの特色ある発信とシンクタンク機能の強化を進めていく。

加えて、第3期中期計画の中に明示したSDGsのゴール・ターゲットに対して、当研究所の各種活動が貢献できることは明確であり、今後はSDGsとの親和性の高さも法人活動の強みとしていく。

収支全般の状況で報告すべき主な点は次の通り。

【単位：円】

項目	2023年度	2022年度	対前年増減額	前年対比
経常収益計	84,118,238	73,374,736	10,743,502	115%
うち（公2）教育啓発事業	46,592,546	23,422,347	23,170,199	199%
事業収益	28,941,361	42,873,571	-13,932,210	68%
受取補助金等	44,561,902	19,874,098	24,687,804	224%
受取寄附金	10,614,748	10,626,700	-11,952	100%
経常費用計	85,735,268	71,911,841	13,823,427	119%
事業費	83,631,592	68,717,083	14,914,509	122%
当期経常増減額	-1,617,030	1,462,895	-3,079,925	-111%
一般正味財産期末残高	12,622,501	14,739,531	-2,117,030	86%
指定正味財産期末残高	1,026,000	34,382,902	-33,356,902	3%
正味財産期末残高	13,648,501	49,122,433	-35,473,932	28%

今年度の正味財産期末残高は、前年度の 49,122,433 円から 13,648,501 円へと大幅に減少したが、これは、2021 年度からの大規模な日本財団助成事業（47,200,000 円、2023 年度で終了）において計画通りに支出したものである。このように、年度によって経常収益・費用の変動が大きい状況が変わらず続いていることから、改めて長期的な資金の見通しが立つ財源を確保し、より安定した持続可能な体制を確立していかなければならない。具体的には、賛助会員制度の本格運用による「しんたい応援寄附金」の公募等への積極的な取り組みが必要だが、これには、公益目的事業 1, 2, 3 の充実の中で賛助会員登録を喚起できるような仕組みづくりが不可欠となる。

## ②重点課題（2）

### 事業内容に沿った調査研究活動を精力的に進め、研究成果等をわかりやすく発信する。（公1, 3）

2023 年度も継続的に、地域の要望に応じたテーマと研究所が主体的に取り組むテーマとを融合させて、市の健康福祉・教育関連の分析業務を行うとともに、高地プール関連では、運営支援にかかる業務として継続的に「モニタリング調査」を行った。また、大学・研究機関からの依頼による新たな研究課題として、東京都健康長寿医療センター研究所「ウェアラブル機器による身体活動指標の比較可能性の検証」や東京大学大学院教育学研究科「高齢者におけるサルコペニア予防のための睡眠パターンの解明」等に協力した。

2021 年度末に着手した日本財団助成事業「ハイブリッド型つながり支援による健康寿命延伸事業モデルの構築」については、コロナ禍の影響も受けた事業期間の延長から、2023 年度はアプリ普及のための教育啓発事業として、助成事業最終年度としての取り組みを行った。

継続的な連携協力関係を基盤とした一般社団法人東京健康リハビリテーション総合研究所との協働事業では「地域活動を担う中高年の健康・体力づくりに関する調査研究」を行い、成果物がまとめられた。また、長期間にわたる研究課題となっている、「農業・農村の特性に着目した介護予防コホート研究」と「全国大規模調査による幼児期の身体活動、座位行動、睡眠と発育・発達指導との関連」の 2 つのプロジェクトにも継続的に関わってきた。

また、全国組織である一般社団法人日本転倒予防学会の事務局業務を受託して 2 年目となり、引き続き国内で転倒予防の学術研究と社会啓発を推進するネットワークの要となる機能を担っている。

調査研究活動（分担研究・共同研究含む）のアウトプットとしては、自己資金・外部資金による調査研究実績 6 件、学術論文実績 4 件、編著書 2 件、学会発表 12 件であった。なお、主任研究者としての研究成果発信や、所員が主体的に取り組む研究の質・量の向上、文部科学省の研究機関の指定等を活用した競争的資金の獲得、倫理審査体制の充実を含めた大学との連携は継続課題として残っている。

なお、「しんたい学会」と銘打っての開催ではなかったが、湯の丸高原を会場に開催した第 24 回高所トレーニング国際シンポジウムの大会長を研究部長が務め、現地参加とオンライン合わせてのべ 350 人の全国の関係者が集う有意義な機会を提供することができた。

関係する各種団体への役員等の関わりは 30 件（前年度 30 件）、書籍・新聞・雑誌等への掲載は 33 件（前年度 44 件）であった。

## ③重点課題（3）

### 理念に沿った地域に貢献する教育啓発活動を行い、地域との協働による取り組みを進める。（公2）

教育啓発事業の規模を件数及び対象人数で示すと（5 類感染症への移行と、所員欠員の両方が影響）、

- ・健康づくり事業：398 件（前年度のワクチン接種支援除いた健康づくり事業 479 件に対して 83%）、8,985 人（同じく、前年度のワクチン接種支援を除く 10,386 人に対して 87%）
- ・講演等への講師派遣：108 件（同 139 件の 78%）、4,140 人（同 7,354 人の 56%）は、これまで多くの件数を担っていた所員の欠員が大きく影響した。

また、これまでと同様に、直接指導と並行して人材育成を通じた地域貢献に関わる業務量は大きい状況であり、中でも、健康づくりに関する相談及び指導に含まれる「楽育ひろば tomi 事業」と『みんなの健康×スポーツ』実行委員会事業』の 2 つの事業は、いずれも研究所が事業を組み立て、関係機関や地域ボランティア等の積極的な参画を得ての取り組みが定着するとともに、市や関連団体の関与もさらに強まってきており、法人が主体的に地域に働きかける事業として重要な位置づけになっている。これらの事業は 83 件で、2,930 人が参加した。

加えて、研究所が設立と運営に深く関わってきた総合型地域スポーツクラブ「一般社団法人 Sany TOMI」が通年での活動を本格的にスタートして 2 年目となり、地域との協働による取り組みがより一層充実した形で取り組めるようになった。

## (1) 身体教育医学に関する調査研究

---

### 1. 自己資金による調査研究事業

- ① 東京健康リハビリテーション総合研究所との協働事業「地域活動を担う中高年の健康・体力づくりに関する調査研究」(岡田真平)

### 2. 外部資金による調査研究事業

- ① 日本財団 2021 年度助成事業「ハイブリッド型つながり支援による健康寿命延伸事業モデルの構築」(岡田真平・横井佳代) …アプリ普及に向けて教育啓発事業として実施
  - ② 日本農村医学会・農村の生活習慣病部会「農業・農村の特性に着目した介護予防コホート研究」(塩飽邦憲<代表>・岡田真平<分担>)
  - ③ 東京家政学院大学 科研費基盤研究(B)「全国大規模調査による幼児期の身体活動、座位行動、睡眠と発育・発達指導との関連」(田中千晶<代表>・岡田真平<協力>)
  - ④ 東京都健康長寿医療センター研究所「ウェアラブル機器による身体活動指標の比較可能性の検証」(笹井浩行<代表>・志村広子<担当>・岡田真平・横井佳代・堀口志穂<協力>)
  - ⑤ 東京大学大学院教育学研究科身体教育学コース「高齢者におけるサルコペニア予防のための睡眠パターン の 解 明 」 ( 東 郷 史 治 < 代 表 > ・ 黄 婉 綺 < 担 当 > ・ 岡 田 真 平 ・ 半 田 秀 一 < 協 力 > )
- 

### 3. 学術論文

- ① T Baba, M Watanabe, H Ogihara, **S Handa**, K Sasamoto, **S Okada**, H Okuizumi, T Kimura. Validity of temporo-spatial characteristics of gait as an index for fall risk screening in community-dwelling older people. *Journal of Physical Therapy Science*, 35(3):265-269, 2023.
  - ② 安部孝文, 北湯口純, 福島教照, 鎌田真光, **岡田真平**, 田中千晶, 井上茂, 武藤芳照. PAIREM モデルを用いた保育者を対象とする幼児期運動プログラムの普及施策の実装評価. *運動疫学研究*, 早期公開, <https://doi.org/10.24804/ree.2304>.
  - ③ 横田匡俊, 庄子博人, 川島啓, 稲垣憲治, **岡田真平**. スポーツ関連政策・事業における経済的な効果の分析方法の検討: 地域付加価値創造分析と産業連関分析の活用について. *日本体育大学紀要* 52: 1031-1039, 2023.
  - ④ **半田秀一**, 中沢栄一, 中村崇. フレイル患者に対する外来理学療法の現状と課題: 長野県東御市での取り組みを中心に. *理学療法* 40 (7), 625-633, 2023.
- 

### 4. 編著書

- ① **岡田真平**, 岩橋輝明. 予防教育のための実践モデルの事例⑤長野県東御市の事例. *理学療法士のための学校における運動器疾患・障害の予防教育マニュアルー認定スクールトレーナーの活動の手引き*, 南江堂.
  - ② **半田秀一**. ストレッチングの方法・アイシングの方法. *理学療法士のための学校における運動器疾患・障害の予防教育マニュアルー認定スクールトレーナーの活動の手引き*, 南江堂.
- 

### 5. 学会発表

- ① **半田秀一**, 金藤理絵, 黒岩健一, 小山和晃, **岡田真平**. 高地プールを地元中学生スイマーが安全かつ有効に定期利用するための試行事業. 第 12 回日本アスレチックトレーニング学会学術集会, 勝浦市, 7 月 8-9 日, 2023.
- ② 郡司弥恵, 新井彩乃, 高橋優衣香, **岡田真平**, **半田秀一**, **横井佳代**, 中村彩希, 稲山貴代. 高い健康意識を有する地域在住高齢者のフレイル予防を目指した行動科学理論に基づく栄養教育介入の前後比較研究. 第 31 回日本健康教育学会学術大会, 千代田区, 7 月 22-23 日, 2023.
- ③ K Hayamizu, N Yoshida, S Sato, Y Kuramochi Y Akamatsu, K Uchida, **S Handa**. Application of weighted change-point regression approach for evaluating food function. 8th Conference on Innovations in Nutrition and Food Science, Rome, Italy, Sep 7-8, 2023.
- ④ 朴相俊, 今村晴彦, **岡田真平**, 影山隆之. 一般住民に対する自殺予防教育効果の評価尺度「ゲートキーパー教育効果評価尺度 (Gatekeeper Educational Effectiveness Assessment Scale: GEEAS)」の開発. 第 47 回日本自殺予防学会総会, 大分市, 9 月 15-17 日, 2023.
- ⑤ **岡田真平**, 小林良清, 今村晴彦. 長寿県・長野の取組と課題. 第 3 回日本ライフスタイル医学会オープンシンポジウム. WEB, 9 月 28 日, 2023.
- ⑥ 吉田恵里子, 赤松裕訓, **半田秀一**, 速水耕介, 内田健志, **岡田真平**. スケソウダラのタンパク質摂取による筋力増加に有効な摂取頻度の検討. 第 17 回日本アミノ酸学会学術大会, 福岡市, 9 月 30

日-10月1日, 2023.

- ⑦ 佐藤澄佳, 倉持優衣, 吉田直峻, 赤松裕訓, 吉田恵理子, 内田健志, 半田秀一, 岡田真平, 速水耕介. 魚肉タンパク質の有効性解析における重み付け変化点回帰モデルの応用. 第17回日本アミノ酸学会学術大会, 福岡市, 9月30日-10月1日, 2023.
- ⑧ 宮下拓麻, 北湯口純, 安部孝文, 岡田真平. 都道府県別にみた児童生徒の不登校出現率の地域差に関連する要因: 地域相関研究. 第82回日本公衆衛生学会総会, つくば市, 10月31日-11月2日, 2023.
- ⑨ 半田秀一, 岡田佳澄, 岡田真平, 所洋一, 小林裕次, 武藤芳照. 地域における障がい者の運動・スポーツ実施の現状と課題について. 第32回日本パラスポーツ学会, 大分市, 11月17-18日, 2023.
- ⑩ 岡田佳澄, 半田秀一, 岡田真平, 関豊春, 所洋一. 長野県東御市における「みんなの健康×スポーツ」実行委員会の取り組み. 第47回日本障がい者体育・スポーツ研究発表会, 長野市, 11月25-26日, 2023.
- ⑪ M Watanabe, K Takami, S Tanaka, M Okuda, M Takakura, S Okada, JJ Reilly, MS Tremblay, A Okely, C Tanaka. Influence of parental factors on WHO global guidelines for Japanese children under the age of five: the SUNRISE International Study. The 3rd Asia-Pacific Society for Physical Activity conference, Wellington, New Zealand, Nov 27-28, 2023.
- ⑫ 渡邊将司, 高見京太, 田中茂穂, 奥田昌之, 高倉実, 岡田真平, JJ Reilly, MS Tremblay, A Okely, 田中千晶. 幼児の24時間行動に地域類型および園の種別で違いはあるのか: The SUNRISE Study. 日本発育発達学会第22回大会, 京都市, 3月16-17日. 2024.

(2) 調査研究事業、健康づくり事業等の受託及び協力

	件数	のべ人数
1. 調査研究事業		
① 東御市健康保健課		
1) 5地区別健康課題資料作成業務		
2) 特定健診データ集計・分析業務		
3) 高齢者保健・介護予防一体的実施事業分析業務		
② 東御市福祉課		
1) 地域支援事業評価分析事業		
③ 東御市子ども家庭支援課		
1) 子ども子育て支援事業計画ニーズ調査業務		
④ 一般社団法人とうみ湯の丸高原スポーツコミッション		
1) モニタリング調査等業務		
2. 健康づくり事業等		
	計 398 件	計 8985 人
① 東御市健康保健課健康増進係		
1) 出前講座 運動教室等指導事業 (集団)	13	386
2) 特定健診受診者運動教室指導事業 (集団)	15	172
3) 健康づくり運動教室指導事業 (集団)	13	137
4) 健康づくり事業 講演会	1	85
② 東御市健康保健課保健係		
1) 心の健康づくり推進事業	-	-
③ 東御市健康保健課地域推進係		
1) 新型コロナワクチン集団接種運営業務	13	978
④ 東御市福祉課高齢者係		
1) 介護予防把握事業(健脚度測定、ずく出し教室) 事務作業 60件	62	1049
2) 地域リハビリテーション活動支援事業 (出前講座)	31	293
3) 介護予防指導員派遣事業	5	161
4) オンライン通いの場アプリ「つどエール」利用契約業務	-	-
5) 多職種連携会議	4	160
⑤ 東御市子ども家庭支援課		
1) 運動指導等講師派遣業務	1	6

2) 信州型自然保育等にかかわる活動支援	5	201
3) 東御の子どもの元気な育ちを支える事業	12	156
⑥ 東御市企画政策部文化・スポーツ振興課		
1) 障がい児者の健康づくり運動実施支援	10	308
2) チャレンジデー	4	340
⑦ 東御市学校教育係		
1) 市内小中学校体力向上支援事業	10	314
2) 小学校新体力テスト集計分析業務	-	-
⑧ 東御市民病院庶務係		
1) みまき温泉診療所 リハビリ指導助手派遣	24	354
2) みまき温泉診療所 リハビリテーション業務	49	305
3) 東御市の各分野における推進・育成サポート業務	-	-
⑨ 東御市社会福祉協議会		
1) くる me	6	352
⑩ 社会福祉法人みまき福祉会 理学療法士派遣		
1) 温泉アクティブセンター	6	6
2) 特別養護老人ホームケアポートみまき	37	423
⑪ 立科町		
1) いきいきストレッチ教室	8	251
2) たてしな保育園運動あそび指導事業業務	26	828
3) 立科小学校運動能力向上業務	16	1338
⑫ Sany TOMI		
1) カヌー体験	5	59
2) 担当者会議	9	44
⑬ その他		
1) 東御市田楽平区健康サロン	10	75
2) 東御市北御牧地区友遊クラブ(みまきっ子体験クラブ)	3	204
<b>(3) 講演会、健康づくり教室等への講師派遣</b>	<b>計 108 件</b>	<b>計 4140 人</b>
1. 授業講師		
① 上田女子短期大学	4	58
② 佐久大学	18	474
③ 長野県立大学	2	60
④ 信州スポーツ医療福祉専門学校	30	1720
⑤ 長野救命医療専門学校	15	315
⑥ 東御清翔高等学校	3	36
2. 講演会、健康づくり教室講師：依頼に応じて随時対応（別表）	32	1407
<b>(4) 健康づくりに関する相談及び指導</b>	<b>計 83 件</b>	<b>計 2930 人</b>
1. 楽育ひろば tomi 事業		
里山探検活動「キラキラ」(2-3 歳児の親子活動)	20	359
里山探検活動「ドキドキ」(年中から小1 の子ども活動)	16	457
里山探検活動「ニコニコ」(親子自然体験活動)	17	953
里山探検事業デイキャンプ	1	113
小学生の里山探検	9	221
ボランティア研修会(安全管理講習、フィールドリーダー会議)	9	49
2. 「みんなの健康×スポーツ」実行委員会事業		
とうみユニバーサルスポーツクラブ「わくわくスポーツ」	8	395
ボッチャ審判等スキルアップ研修	1	27
東御市総合体育大会	1	130
とうみボッチャ 2024	1	226

## (5) 講演会、講習会、研究会等の開催

1. カヌー体験（市内教員向け）	6/28	20
2. 第24回高所トレーニング国際シンポジウム	11/11-12	350

## (6) 学術機関誌・一般啓発用資料他出版物等の発行

1. シニア世代の健幸・生活ガイド	WEB上でPDF公開
-------------------	------------

## (7) 身体教育医学に関する文献等の収集及び閲覧

1. 研究所図書室の充実	図書 1677 冊 報告書資料 80 冊
--------------	-------------------------

## (8) その他この法人の目的を達成するために必要な事業

### 1. 各種団体役員等

- 1) 公益財団法人運動器の健康・日本協会理事（岡田真平）
- 2) 社会福祉法人みまき福祉会理事（岡田真平）
- 3) 身体教育医学研究所うなんん運営委員（岡田真平）
- 4) NPO 法人日本健康運動指導士会長野県支部長（岡田真平）
- 5) 一般社団法人日本転倒予防学会業務執行理事（岡田真平）
- 6) 一般社団法人日本体力医学会評議員・総務委員（岡田真平）
- 7) 信州公衆衛生学会理事・編集委員（岡田真平）
- 8) 日本運動疫学会理事（岡田真平）
- 9) 日本パラスポーツ学会理事（岡田真平）
- 10) 一般社団法人とうみ湯の丸高原スポーツコミッション理事（岡田真平）
- 11) 一般財団法人浅間山麓スポーツ医学研究所幹事（岡田真平）
- 12) 一般社団法人 Sany TOMI 副理事長（岡田真平）
- 13) 公益財団法人健康・体力づくり事業財団・指導者養成カリキュラム検討委員（岡田真平）
- 14) 高齢化社会一ウエルビーングマネジメントシステム国際標準化委員会委員（岡田真平）
- 15) とうみユニバーサルスポーツクラブ理事・NPO 法人東御市スポーツ協会評議員（岡田真平）
- 16) 御牧ふれあいの郷づくり協議会生活環境部会長（岡田真平）・青少年育成会副部会長（谷貴人）
- 17) 東御市スポーツ推進審議会委員（岡田真平）
- 18) みんなの健康×スポーツ実行委員（代表：岡田真平、委員：半田秀一・岡田佳澄）
- 19) 日本スポーツ協会公認アスレティックトレーナー長野県協議会副会長（半田秀一）
- 20) 日本障がい者スポーツ協会・指導者協議会トレーナー部会北信越ブロック代表（半田秀一）
- 21) 高所トレーニング環境システム研究会専門委員（半田秀一）
- 22) 東御市子育て審議会委員（谷貴人）
- 23) 東御市男女共同参画推進委員（谷貴人）
- 24) 楽育ひろば tomi（谷貴人）
- 25) 北御牧地区友遊クラブ実行委員（実行委員長：谷貴人、監事：岡田佳澄・堀口志穂）
- 26) 東信地区障がい者スポーツ指導員協議会監事（岡田佳澄）
- 27) 東御市社会教育委員（岡田佳澄）
- 28) 東御市いじめ・不登校対策連絡協議会委員（岡田佳澄）
- 29) 東御市立北御牧中学校学校運営委員（岡田佳澄）
- 30) 東御市生活支援協議体委員（横井佳代）

### 2. 書籍・新聞・雑誌等への掲載

- 1) FM 東御「ハレラジ体操」制作 オリジナルラジオ体操の動画撮影行う（信州民報、2023. 4. 28）
- 2) ワンポイント健康法「ずく」で元気が信州流！（信濃の国保、2023. 5 月号）
- 3) チャレンジデー「2023」参加 全国一斉開催は今回が最後（信州民報、2023. 5. 17）
- 4) GMO アスリートパーク湯の丸で大迫傑選手が市民ランナーを指導（YAHOO! ニュース、2023. 5. 20）
- 5) 市内体育館に「ポッチャ」の簡易コートを設置 気軽に体験を（信濃毎日新聞、2023. 5. 23）
- 6) 森林と標高差を活かした健康づくり 里山探検活動紹介（信濃毎日新聞、2023. 6. 27）
- 7) ありがとうチャレンジデー 結果と歴史を振り返る（市報とうみ、2023. 7 月号）
- 8) 湯の丸高原ホテル 埼玉の児童「ポッチャ」を体験（信濃毎日新聞、2023. 7. 25）
- 9) 日体大体操部の技に東御沸く 4年ぶりに市民との交流会も（信濃毎日新聞、2023. 9. 5）
- 10) 日体大体操部が市民と交流 体育館に子どもの歓声響く（信州民報 2023. 9. 5）
- 11) 「四季の森」で外遊び 子ども向け里山探検開催（週刊うえだ、2023. 9. 30）

- 12) みまき福祉会「知識豊富な高齢者雇用必要」取り組みを発表（介護保険情報、2023.10.20）
- 13) 市立全保育園にポッチャ用具一式寄贈（信濃毎日新聞、2023.10.20）
- 14) 贈られた用具で「ポッチャ」楽しむ園児（信州民報、2023.10.21）
- 15) 東御でモデル事業 理学療法士の認定制度創設目指す（信濃毎日新聞、2023.10.26）
- 16) 飯島評議員「老化と寿命の謎を探る」記事掲載（信濃毎日新聞、2023.11.6）
- 17) ポッチャリーグ戦開幕へ 競技の普及目指し創設（信濃毎日新聞、2023.11.7）
- 18) 第24回高所トレーニング国際シンポジウム始まる 大会長インタビュー（スポーツメディスン、2023.No.255）
- 19) スポーツで地域振興 東御市「優良自治体」スポーツ庁長官表彰（信濃毎日新聞、2023.11.11）
- 20) 湯の丸高原で国際シンポ開催 高所トレーニング効果巡り討論（信濃毎日新聞、2023.11.12）
- 21) しんたい応援者土井様 手術後、松本マラソンを完走（信濃毎日新聞、2023.11.14）
- 22) 東御で初開幕 リーグ戦でナイスポッチャ！（信濃毎日新聞、2023.11.18）
- 23) 母子の健康増進 東御で情報交換 市内外の活動共有（信濃毎日新聞、2023.12.8）
- 24) 技能実習生の外国人に思い出を 餅つきやポッチャ体験（信濃毎日新聞、2023.12.14）
- 25) 三溝理事 功労者で「5年度文部科学大臣表彰」受賞（信州民報、2023.12.23）
- 26) 「とうみポッチャリーグ」初開催 市内8チームが参加（信州民報、2024.1.23）
- 27) 特集「とうみの冬を歩こう」・上田高校硬式野球部が湯の丸で栄養セミナー（市報とうみ、2月号）
- 28) 東御市と県立大が包括協定結ぶ 健康増進や教育 連携を確認（信濃毎日新聞、2024.2.7）
- 29) 健康づくり推進 東御市が県立大と協定（読売新聞、2024.2.9）
- 30) 東御市と県立大が包括協定 食・健康・教育・生涯学習など連携・協力（信州民報、2024.2.14）
- 31) 高齢者センター（ふれあいとうみ）開所 地域包括ケアシステムの拠点（信州民報、2024.2.28）
- 32) NPO法人D-SHIP32 東御市へスポーツ車椅子8台貸与（信州民報、2024.3.9）
- 33) ポッチャ挑む世界 相沢さん 県勢初！強化指定選手に（信濃毎日新聞、2024.3.28）

## 【別表】

### (3) 講演会、健康づくり教室等への講師派遣

#### 2. 講演会、健康づくり教室講師の詳細

実施日	依頼元・依頼事業	場所	内容	担当
<b>【市内】</b>				
1 2023/6/5	東御市社会福祉協議会/福祉団体交流会実行委員会・東御市内福祉団体交流会	東御中央公園第2体育館	福祉団体ポッチャ交流会	半田・佳澄
2 2023/7/26	おひさま子ども園	四季の森	里山遊び	谷
3 2023/8/26	北御牧中学校・北御牧中学校キャリア教育	北御牧中学校	キャリア教育	半田
4 2023/9/7	北御牧地区健康づくり推進委員会	北御牧公民館	北御牧地区健康づくり推進員学習会「太極拳」	横井
5 2023/9/30	和地区健康づくり推進委員会	和コミュニティセンター	ボールを使ったウォーキング	岡田
6 2023/10/28	田中地区健康づくり推進委員会	田中商店街周辺・中央公民館	田中地区健康づくり推進員会「ウォーキング教室」	横井
7 2023/11/27	東御市民生児童委員会活動報告会全体会議	総合福祉センター	東御市民生児童委員会活動報告会助言	岡田
8 2023/12/12	東御市身体障害者福祉協会女性部	総合福祉センター	骨ストレッチとフレイル予防	横井
<b>【県内】</b>				
1 2023/6/13	長野県健康福祉部健康増進課・オーラルフレイル対策タスクフォース	Zoom	オーラルフレイル予防体操動画に関する相談	横井
2 2023/6/20	長野県健康福祉部健康増進課・オーラルフレイル対策タスクフォース		オーラルフレイル予防体操動画に関する提案を提出	横井
3 2023/6/28	湯の丸高原ホテル・高原学習ポッチャ体験プログラム	湯の丸高原ホテル	高原学習ポッチャ体験 中塩田小学校	佳澄
4 2023/7/13	長野県健康福祉部健康増進課・オーラルフレイル対策タスクフォース	Zoom	オーラルフレイル対策タスクフォースWG	横井
5 2023/7/18	湯の丸高原ホテル・高原学習ポッチャ体験プログラム	湯の丸高原ホテル	高原学習ポッチャ体験 川西小学校	佳澄
6 2023/7/24	湯の丸高原ホテル・高原学習ポッチャ体験プログラム	湯の丸高原ホテル	高原学習ポッチャ体験 川越小学校	佳澄
7 2023/7/25	長野県健康福祉部健康増進課・オーラルフレイル対策タスクフォース		オーラルフレイル予防体操動画に関する提案を提出	横井
8 2023/8/3	長野県健康福祉部健康増進課・オーラルフレイル対策タスクフォース	長野市内	オーラルフレイル予防体操動画撮影	横井
9 2023/9/9	公財長野県長寿社会開発センター・2023「信州ねんりんピック」実行委員会事務局	丸子文化会館レネサンスホール	2023信州ねんりんピック「はれラジ体操」の紹介と実演	横井
10 2023/10/20	子どもが育つ地域共育フォーラム	佐久平交流センター	心身を育む運動遊び	岡田
11 2023/11/15	立科町健康づくり講演会	老人福祉センター	これからつくる私の体づくり	半田
12 2023/12/10	青年海外協力隊長野県OB会	広瀬まなびや	ポッチャ競技の運営	岡田佳
13 2024/12/12	介護予防講座 カラダを育むために	老人福祉センター	カラダを育むために	岡田
<b>【県外】</b>				
1 2023/5/12	兵庫県小野市社会福祉協議会・地域包括ケア研修会	オンライン	地域と共に・皆で創る地域包括ケアシステム	岡田
2 2023/7/12	日本体育大学・野外活動実習	芸術むら公園明神池	野外活動実習	谷 他
3 2023/7/28	東京大学・野外活動実習	芸術むら公園明神池	野外活動実習	谷・岡田
4 2023/8/1	ウェルビーイングマネジメントシステム検討	WEB会議	高齢社会対応標準化国内委員会	岡田
5 2023/8/24	日本パラスポーツ協会・障がい者スポーツ指導者協議会	長野県障害者福祉センター	第1回トレーナー部会	半田
6 2023/9/2	NPO法人日本健康運動指導士会・2023年度健康運動指導士更新必修講座	福岡市南近代ビル	運動指導における社会的つながりの重要性	岡田
7 2023/9/28	日本ライフスタイル医学会・オープンニングシンポジウム	オンライン	長寿県・長野の取組と課題（座長）	岡田
8 2023/10/31	富山県入善町・入善町介護予防講演会	入善町うるおい館	これからの介護予防・フレイルを予防して生涯現役を目指す	岡田
9 2023/12/2	日本パラスポーツ協会・ジャパン・ライジングスター・プロジェクト	長野県障害者福祉センター	ジャパン・ライジングスター・プロジェクト	半田
10 2023/12/2	日本健康運動指導士会・2023年度健康運動指導士更新必修講座	四日市商工会議所	運動指導における社会的つながりの重要性	岡田
11 2024/1/30	東京大学教育学部	東京大学教育学部	地域におけるスポーツ指導・保健体育科教育法(実践)A	岡田

3. 各年度末の正味財産、経常収益、経常費用、人件費率、固定資産の推移

図1 正味財産期末残高の推移（公益認定後の2011年度以降、単位：百万円）

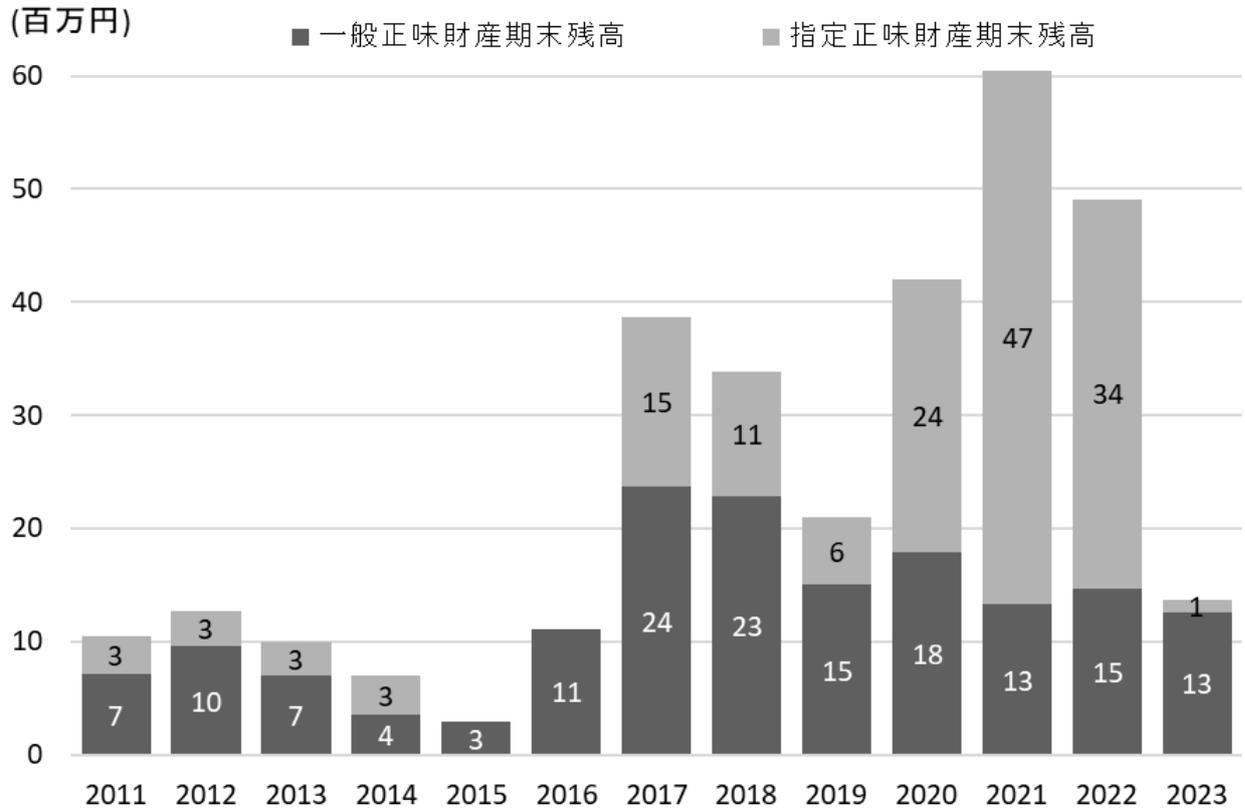


図2 経常収益の推移①（公益目的事業区分別、公益認定後の2011年度以降、単位：百万円）

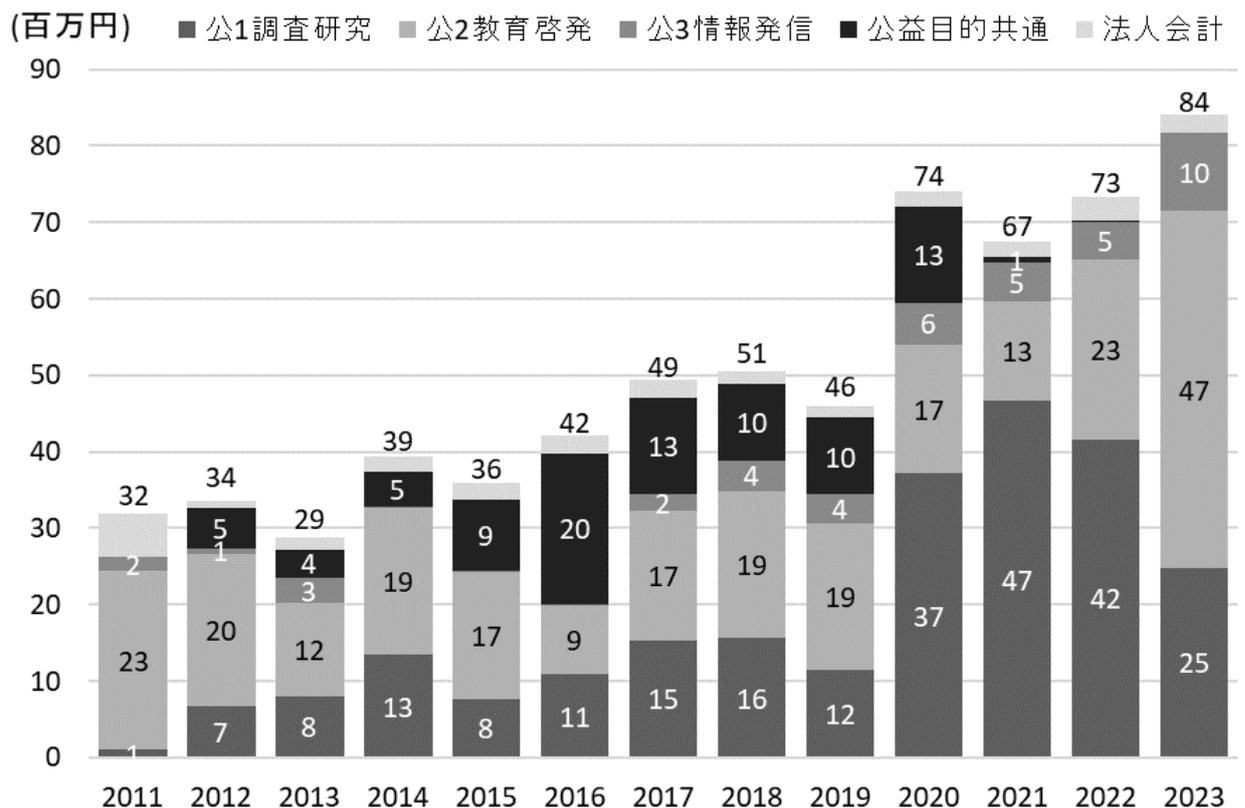


図3 経常収益の推移②（大科目別、公益認定後の2011年度以降、単位：百万円）

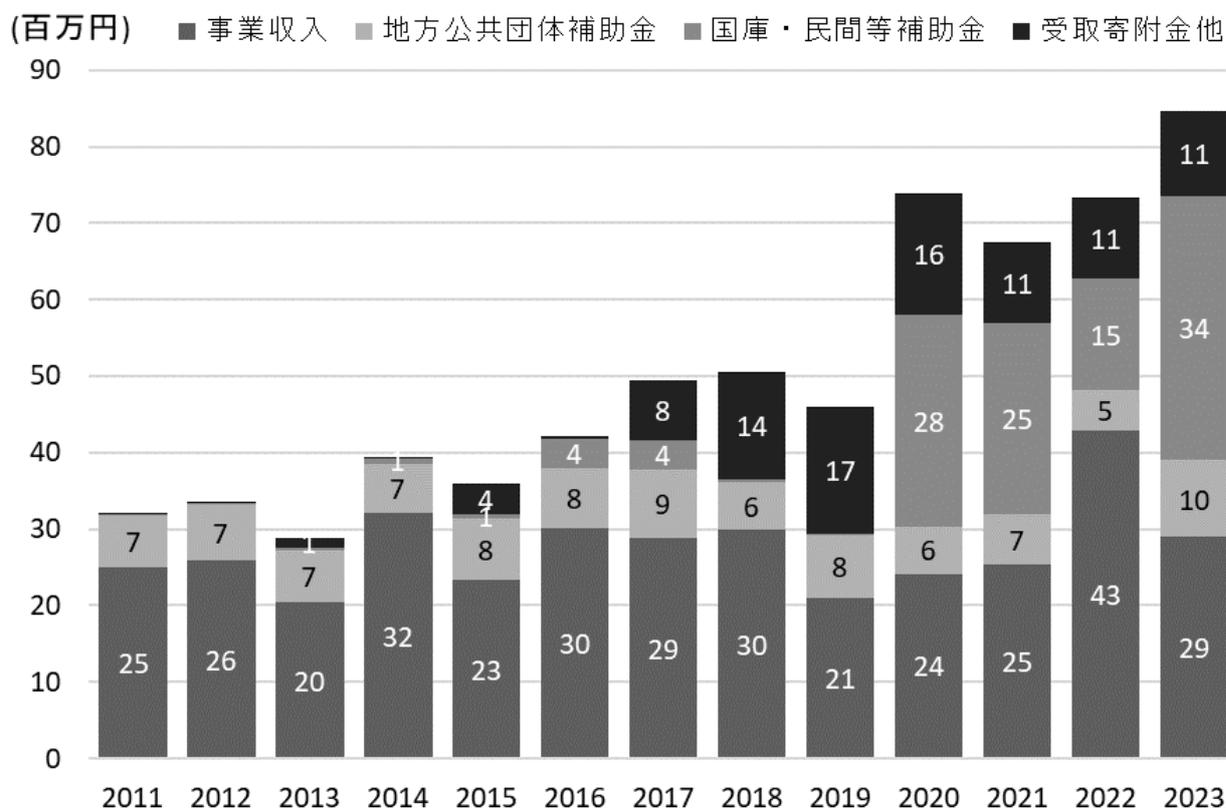


図4 経常費用および人件費率の推移（大科目別、公益認定後の2011年度以降、単位：百万円）

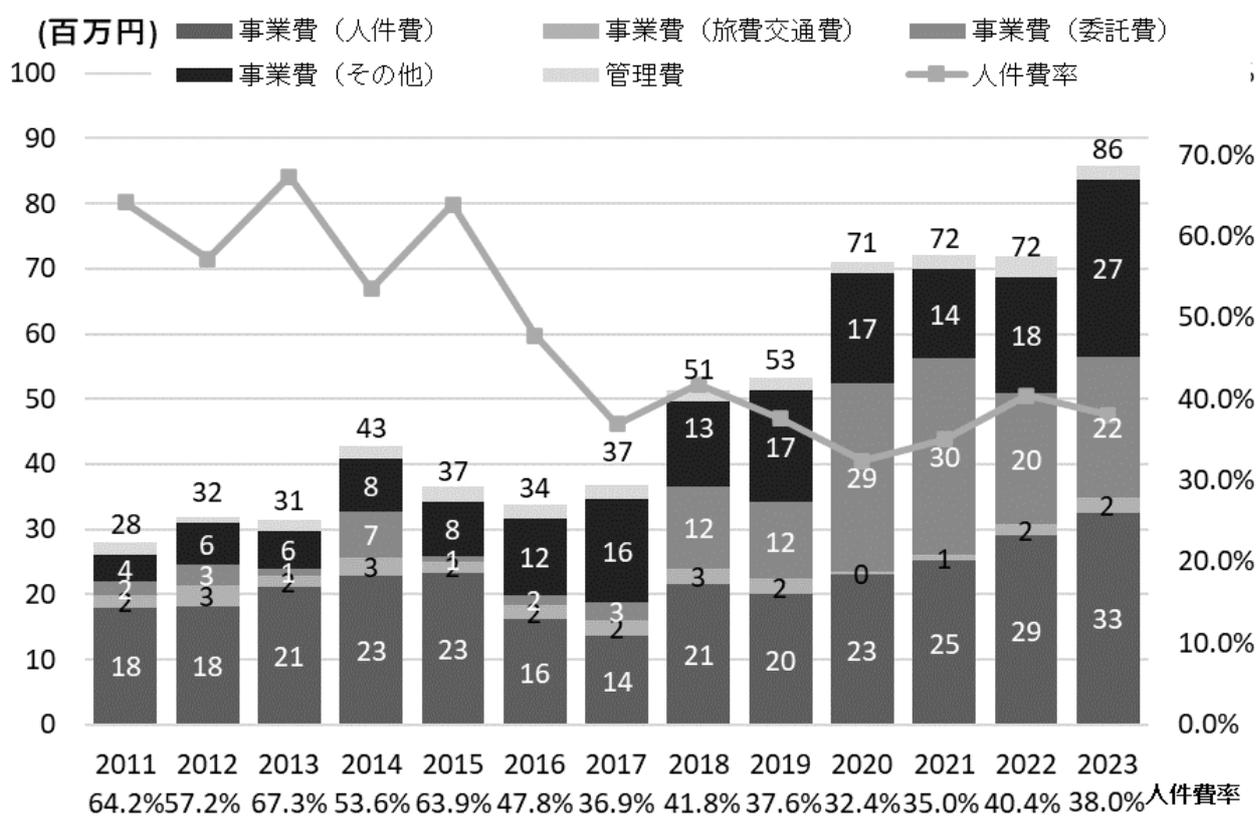


図5 固定資産の推移（公益認定後の2011年度以降、単位：百万円）

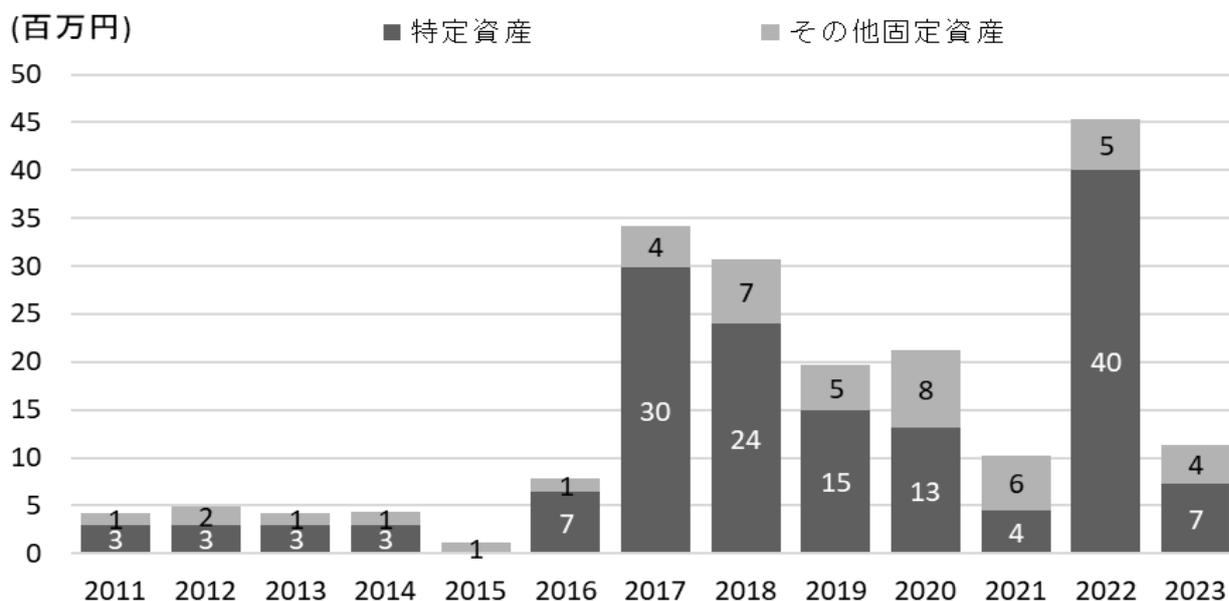


表 各年度で特記すべき規模（100万円以上）の補助金・助成金・支援金・委託費・寄附金等

年度	※毎年の補助・委託は省略		長野県	国	民間	寄附
	東御市 健康福祉関係 (補助金以外)	高地関係 (外部含む)				
2011			元気づくり、 新しい公共			
2012			元気づくり、 新しい公共			
2013	健康課題調査	施設誘致	元気づくり			
2014	健康課題調査	施設誘致				
2015		施設誘致				
2016	子ども研究	ﾌﾟﾛﾓｰｼﾞｮﾝ		厚労省支援事業	日本財団	
2017		ﾌﾟﾛﾓｰｼﾞｮﾝ、 国際ｼﾝﾎﾟ	元気づくり		健体財団	戸部様、 匿名遺贈受付
2018		日本水泳連盟				戸部様、 匿名遺贈支出
2019		日本水泳連盟	元気づくり			戸部様、 匿名遺贈支出
2020	健康づくり動画	日本水泳連盟、 モニタリング	元気づくり	ｽﾎﾟｰﾂ庁支援、 経産省給付金、 中小庁給付金	日本財団、 B&G財団、 健体財団	戸部様、 匿名遺贈支出
2021	ワクチン接種	インナー施策、 モニタリング	元気づくり		日本財団、 B&G財団	戸部様
2022	ワクチン接種				日本財団、 B&G財団	戸部様
2023	ワクチン接種		元気づくり		日本財団	戸部様

### Ⅲ. 法人の課題

改善すべき点や今後の方向性など法人の課題について、直近の事業の状況や近年の社会情勢もふまえて、大きく3つ（A：連携、B：財源、C：構想）に分けて整理したうえで、以下の通り箇条書きで示す。

- A) **【連携】日頃から、研究所内、法人組織内、関連機関との円滑な連携で活動が進めやすい環境を整える。**
- 研究所の業務形態は、調査研究、教育啓発、情報発信、法人管理運営と大きく4つに分かれ、研究部、指導部、総務部それぞれが役割分担しながら、これらの取り組みを進めている。また、活動する分野についても、子どもの育ち、心身の健康、みんなのスポーツ、と幅広いため、どうしても所員個々の分業で進めざるを得ず、各所員への負担が大きくなりやすい。月例ミーティングやメール・LINE等での業務連絡・情報共有は行っているが、所内でより連携を深めて事業に取り組めるように、全体の業務負担を軽減しながら時間的な余裕を作っていく必要がある。
  - 長年、研究所活動の核を担ってきた指導部長が2022年度末に退任し、各所員への負担が大きい状況が続いたが、事業継続のために適任の後任者を2024年度採用できたことから、再度、体制整備を図る。
  - 法人組織内の客員研究員や役員等と、不定期であっても情報共有や意見交換ができる機会を定着させる。そのことにより、研究所に関わる貴重な人材から、活動の充実に力添えを受けられる流れを作る。
  - 研究所うんなん、東京健康リハ総研、その他つながりの深い関係機関・団体・企業等との連携についても、これまで以上に協働を意識し、信頼関係を高めながらより大きな成果が得られるように努める。
- B) **【財源】公益目的事業の持続可能性を高めるために、大口の収益に依存し過ぎない安定財源を構築する。**
- 法人存続要件の正味財産300万円を下回った2015年度以降、外部資金獲得を含んだ様々な自助努力と関連機関の支援、そして多額のご寄附等によって、年度ごとの変動は大きいものの、結果的に継続して一定以上の正味財産を維持できてきた。しかし、継続して得られる保証がない大口の財源は不安定要因でもあることから、小口でも多数の支援を継続して受けられるような仕組み（会員制度等）を構築する。
  - 日本財団助成事業の完了に伴って指定正味財産が無くなったことから、正味財産は大きく減少した。
  - 単体では収支バランスが取りにくい事業の多くは存在意義の大きな取り組みであり、周囲の理解と協力が得られやすいことから、事業継続のための支援を受けられるように、より積極的に働きかけていく。
- C) **【構想】Society 5.0やポストコロナ等の流れから、次期(第4期)中期計画(2024~2027)に繋げる。**
- 「情報社会」の次の新たな社会のあり様として、「仮想空間と現実空間を高度に融合させたシステムにより、経済発展と社会的課題の解決を両立する、人間中心の社会」と定義されるSociety 5.0を見据えて、今後予測される活動形態の変容を想定しながら、次期中期計画の4年間の取り組みに繋げていく。
  - 新型コロナウイルス感染症拡大によって経験した社会の大きな変化をふまえて、これから起こり得ることに想像力を働かせながら、今後改善・解決すべき新たな社会課題に積極的に取り組んでいく。
  - デジタルの発達が進むがゆえのアナログの価値や、リアルな場・体験の重要性等、関わりのある活動の中で普遍的な価値が見いだせるものを研究所の取り組みの強みとして、理解者・支援者を増やしていく。



【左】一般社団法人日本経済団体連合会より <https://www.keidanren.or.jp/policy/society5.0.html>

【右】内閣府 > 政策 > 科学技術政策 > Society 5.0 より [https://www8.cao.go.jp/cstp/society5\\_0/](https://www8.cao.go.jp/cstp/society5_0/)

## 貸借対照表

公益財団法人身体教育医学研究所

令和6年 3月31日現在 (単位：円)

科 目	当 年 度	前 年 度	増 減
〔資産の部〕			
【流動資産】			
現金預金	2,516,160	901,831	1,614,329
未収金	7,196,283	9,388,404	△ 2,192,121
流動資産合計	9,712,443	10,290,235	△ 577,792
【固定資産】			
(特定資産)			
公益目的事業積立資産	3,000,000	3,000,000	0
介護予防事業外部団体支援積立資産	1,026,000	0	1,026,000
つながり支援普及事業積立資産	0	34,382,902	△ 34,382,902
退職給付引当資産	3,187,962	2,687,067	500,895
特定資産合計	7,213,962	40,069,969	△ 32,856,007
(その他固定資産)			
車両運搬具	4	258,176	△ 258,172
什器備品	3,469,972	4,547,836	△ 1,077,864
ソフトウェア	322,630	414,810	△ 92,180
権利	387,633	0	387,633
その他固定資産合計	4,180,239	5,220,822	△ 1,040,583
固定資産合計	11,394,201	45,290,791	△ 33,896,590
資産合計	21,106,644	55,581,026	△ 34,474,382
〔負債の部〕			
【流動負債】			
未払金	3,490,279	3,345,384	144,895
前受金	6,000	0	6,000
預り金	773,902	426,142	347,760
流動負債合計	4,270,181	3,771,526	498,655
【固定負債】			
退職給付引当金	3,187,962	2,687,067	500,895
固定負債合計	3,187,962	2,687,067	500,895
負債合計	7,458,143	6,458,593	999,550
〔正味財産の部〕			
【指定正味財産】			
民間補助金	0	34,382,902	△ 34,382,902
寄附金	1,026,000	500,000	526,000
指定正味財産合計	1,026,000	34,882,902	△ 33,856,902
(うち特定資産への充当額)	(1,026,000)	(34,382,902)	33,356,902
【一般正味財産】	12,622,501	14,239,531	△ 1,617,030
(うち特定資産への充当額)	(3,000,000)	(3,000,000)	0
正味財産合計	13,648,501	49,122,433	△ 35,473,932
負債及び正味財産合計	21,106,644	55,581,026	△ 34,474,382

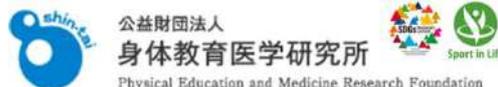
# 令和5年度正味財産増減計算書

公益財団法人身体教育医学研究所

令和5年4月1日から令和6年3月31日まで (単位:円)

科目	当年度	前年度	増減
I 一般正味財産増減の部			
1 1. 経常増減の部			
2 (1) 経常収益			
3 特定資産運用益	73	38	35
4 特定資産受取利息	73	38	35
5 事業収益	28,941,361	42,873,571	△ 13,932,210
6 受託協力事業収益	23,391,445	34,331,090	△ 10,939,645
7 講師派遣事業収益	4,847,288	7,681,830	△ 2,834,542
8 研究会等開催事業収益	493,000	194,892	298,108
9 出版物用発刊事業収益	75,291	55,717	19,574
10 その他事業収益	134,337	610,042	△ 475,705
11 受取補助金等	44,561,902	19,874,098	24,687,804
12 受取地方公共団体補助金	10,068,000	5,350,000	4,718,000
13 受取民間補助金	500,000	1,707,000	△ 1,207,000
14 受取補助金等振替額	33,993,902	12,817,098	21,176,804
15 受取寄附金	10,614,748	10,626,700	△ 11,952
16 受取寄附金	10,500,748	10,626,700	△ 125,952
17 受取寄附金等振替額	114,000	0	114,000
18 雑収益	154	329	△ 175
19 受取利息	154	329	△ 175
20 <b>経常収益計</b>	<b>84,118,238</b>	<b>73,374,736</b>	<b>10,743,502</b>
21 (2) 経常費用			
22 事業費	83,631,592	68,717,083	14,914,509
23 給料手当	17,947,887	17,218,947	728,940
24 臨時雇賃金	9,469,163	6,952,587	2,516,576
25 退職給付費用	1,220,895	1,432,713	△ 211,818
26 法定福利費	3,862,404	3,396,363	466,041
27 福利厚生費	93,640	68,254	25,386
28 旅費交通費	2,244,011	1,663,964	580,047
29 通信運搬費	93,000	149,519	△ 56,519
30 減価償却費	1,434,787	2,626,609	△ 1,191,822
31 消耗什器備品費	0	1,111,235	△ 1,111,235
32 消耗品費	315,472	710,140	△ 394,668
33 書籍費	75,085	105,520	△ 30,435
34 修繕費	327,014	355,998	△ 28,984
35 印刷製本費	1,915,608	246,990	1,668,618
36 燃料費	615,499	731,476	△ 115,977
37 光熱水料費	757,000	543,000	214,000
38 賃借料	15,968,900	890,080	15,078,820
39 保険料	307,899	394,461	△ 86,562
40 諸謝金	2,531,170	5,092,791	△ 2,561,621
41 租税公課	1,347,600	2,028,300	△ 680,700
42 支払負担金	314,990	541,512	△ 226,522
43 会議費	202,238	105,068	97,170
44 委託費	21,706,280	20,141,277	1,565,003
45 雑費	881,050	2,210,279	△ 1,329,229
46 管理費	2,103,676	3,194,758	△ 1,091,082
47 役員報酬	135,300	154,300	△ 19,000
48 給料手当	480,000	480,000	0
49 臨時雇賃金	1,053,805	2,063,415	△ 1,009,610
50 法定福利費	148,456	293,752	△ 145,296
51 会議費	28,766	2,283	26,483
52 旅費交通費	141,300	103,840	37,460
53 通信運搬費	0	5,180	△ 5,180
54 租税公課	450	0	450
55 賃借料	0	500	△ 500
56 雑費	115,599	91,488	24,111
57 <b>経常費用計</b>	<b>85,735,268</b>	<b>71,911,841</b>	<b>13,823,427</b>
58 評価損益等調整前当期経常増減額	△ 1,617,030	1,462,895	△ 3,079,925
59 評価損益等計	0	0	0
60 当期経常増減額	△ 1,617,030	1,462,895	△ 3,079,925
61 2. 経常外増減の部			
62 (1) 経常外収益			
63 経常外収益計	0	0	0
64 (2) 経常外費用			
65 経常外費用計	0	0	0
66 当期経常外増減額	0	0	0
67 当期一般正味財産増減額	△ 1,617,030	1,462,895	△ 3,079,925
68 一般正味財産期首残高	14,239,531	13,276,636	962,895
69 一般正味財産期末残高	12,622,501	14,739,531	△ 2,117,030
70 II 指定正味財産増減の部			
71 受取民間補助金等	△ 389,000	0	△ 389,000
72 受取民間補助金返還額	△ 389,000	0	△ 389,000
73 受取寄附金	640,000	0	640,000
74 受取寄附金	640,000	0	640,000
75 一般正味財産への振替額	△ 34,107,902	△ 12,817,098	△ 21,290,804
76 一般正味財産振替民間補助金	△ 33,993,902	0	△ 33,993,902
77 一般正味財産振替寄付金	△ 114,000	0	△ 114,000
78 当期指定正味財産増減額	△ 33,856,902	△ 12,817,098	△ 21,039,804
79 指定正味財産期首残高	34,882,902	47,200,000	△ 12,317,098
80 指定正味財産期末残高	1,026,000	34,382,902	△ 33,356,902
81 III 正味財産期末残高	13,648,501	49,122,433	△ 35,473,932

# しんたい 4 年計画 2024-2027 (第 4 期中期計画)



## 1. しんたいの基本的考え【コンセプト】と社会的使命【ミッション】



～「からだを育み、こころを育み、きずなを育む」研究と実践を地域(信州・東御)から発信する～

私たち「しんたい」は、保健・医療・福祉・介護・教育・スポーツ等の諸分野にまたがる調査研究・教育啓発・情報発信等の活動を地域で実践し、各活動に関連する幅広いネットワークを生かすことによって、だれもが「からだを育み、こころを育み、きずなを育み」ながら、地域で健やかに暮らし続けることができるための公共政策づくりに寄与します。

## 2. しんたいの行動指針【ビジョン】

しんたいは、「子どもの育ち」「健康づくり」「みんなのスポーツ」に関わる各領域を個別に捉えることなく、相互に関連づけながら研究と実践を進めていくことを強みとし、地域に密着した独自性のあるシンクタンクとして、核となる各種事業を展開していきます。またその活動により、公益法人として「SDGs (持続可能な開発目標)」の達成にも貢献します。

### ① 子どもたちの元気な育ちを応援

(教育・子育て領域)

子どもたちの“自ら元気に育つ力”を信じ、その力を引き出すことに深く関わります。

### ② 前向きになれる健康づくりを後押し

(保健・医療領域)

健康づくりを通して誰もが前向きに暮らすためのきっかけづくりを後押しします。

### ③ みんなのスポーツで地域を元気に

(福祉・スポーツ・まちづくり領域)

アスリートから愛好者まで、障がいの有無によらず皆が関われる多様なスポーツ環境の充実に貢献し、地域を元気にします。



### 3. しんたいの事業展開【アクション】

#### 1) 第1期（2012～15）・第2期（2016～19）・第3期（2020～23）の総括

第1期（2012～15）、第2期（2016～19）の積み上げから、第3期（2020～23）では、「子どもの育ちを応援する（教育・子育て領域）」、「心身の健康を後押しする（保健・医療領域）」、「みんなのスポーツで地域を元気にする（福祉・スポーツ・まちづくり領域）」3つの行動指針と領域を掲げ、これらを相互に関連付けて研究と実践を進めてきました。

表1 中期計画：第1期（2012～15）・第2期（2016～19）・第3期（2020～23）の総括

	子どもの育ち	健康づくり	みんなのスポーツ
第1期	<b>東御の子どもの元気な育ちを支える取り組み</b> 里山探検事業（2012～） 専門保育士部会（2014～） 体力向上委員会（2016～）	<b>市の健康保健・福祉（介護予防）施策への関わり</b> 各種事業の検証（2012～） 健康とうみ二次（2013～） 地域包括ケア（2013～）	<b>みんなの健康×スポーツ実行委員会の取り組み</b> 高地トレ誘致推進（2014～） とうみユニバーサルスポーツクラブ立ち上げ（2015～）
第2期	<b>①里山探検・外遊び活動充実への貢献（子どもの育ち×みんなのスポーツ）</b> <b>②保幼小中からだを育む取り組みへの支援（子どもの育ち×心身の健康）</b> <b>③生活習慣改善・心の健康づくりの啓発（心身の健康×子どもの育ち）</b> <b>④地域包括ケアシステム充実への寄与（心身の健康）</b> <b>⑤ソーシャルキャピタル醸成への関わり（心身の健康×みんなのスポーツ）</b> <b>⑥ユニバーサルスポーツの普及（みんなのスポーツ×心身の健康）</b> 里山探検事業・運動あそび専門保育士部会・体力向上推進委員会の継続・発展的な活動。世代交流型自然体験・介護予防プログラム開発（2016）他、地域の人材育成の推進。地域における健康づくり・介護予防のための身体活動・運動実施のための継続的な支援。健康とうみ21後期計画策定支援、小学校区単位の健康課題学習（2016～）他評価分析。ボッチャをはじめとした各種ユニバーサルスポーツ普及・定着への取り組み（2016～）。高地トレーニング拠点・プール施設整備推進及びプロモーションの取り組み（2016～）。		
第3期	<b>第3期は第2期①～⑥をいずれも踏襲して取り組んできた。具体的な事業は以下の通り。</b> 里山探検・運動あそび部会・体力向上委員会等への支援に関わる継続・発展的な活動。親子運動あそびガイドブック作成（2020）。体験格差解消のための水辺活動の充実と人材育成（2020～）。「里山探検のススメ」冊子作成（2021）。総合型SC活動支援（2022～）。認定スクールトレーナー制度創設に向けたモデル事業（2023～）。健康・医療・介護に関する東御市の課題分析と地域還元の継続。多世代向け健康づくり動画制作（2020）。高地環境での健康づくり効果検証（2020）。企業や大学等と連携した栄養や睡眠も含む健康関連分野の共同研究（2020～）。ハイブリッド型のつながり支援に資するアプリ開発（2020～）。健康リハビリテーション関連資料作成（2020～）。高地合宿利用者モニタリング（2020～）。ボッチャ運営・審判ガイドブック作成（2021）。新たなユニバーサルスポーツ種目の取り組み（2022～）。高地医科学サポート体制の構築に向けた検討（2022～）。ボッチャリーグ創設による持続可能な体制づくり（2023～）。		

## 2) 第4期の事業展開

第4期（2024～27）では、開所から25年間の歩みをふまえて、引き続き地域や社会から期待される役割を基盤に活動を継続しつつ、我々自身と社会全体のこれからの見据えて、次のキーワード視野に、公益財団法人としての主体的な活動を強化していきます。

これからのキーワード	協働・交流	誰もが	居場所づくり
EBPM	継続・継承	人づくり・次世代育成	プラネタリーヘルス
ほどよく…	フィジカルリテラシー	ライフコースアプローチ	
ライフパフォーマンス	ユニバーサル・ヘルス・カバレッジ		

表2 第4期中期計画の年度ごとの各活動の展開の見通し

		2024	2025	2026	2027
子どもたちの 元気な育ちを 応援	自然体験・外遊び活動 の環境充実を図る	●新たな活動拠点の環境整備 ☆自然体験活動等の効果検証		●持続可能な事業体制づくり ☆長期効果に関する研究発表	
	元気な心身を育む 取り組みを支える	●第三の居場所含む支援の検討 ☆育ちのデータベースづくり		●保小中地域の包括的な支援 ☆事業成果に関する研究発表	
	健康寿命延伸・健康 格差縮小に貢献する	●行動科学の最良知見を活用した行動変容・健康づくり支援の実践 ☆健康寿命延伸を目指した地域での継続的な取り組みの効果検証			
	地域包括ケア充実の 連携強化に寄与する	●地域の主体的な取り組みのサポート ☆2025年→2040年を見据えた地域包括ケア関連指標動向の検証	●多職種・多分野連携支援		
みんなの スポーツで 地域を 元気に	ユニバーサルスポーツ の機会を拡大する	●ユニバーサルスポーツの拡大 ☆普及に伴う様々な効果の探索		●機会拡大への広域的な貢献 ☆事業成果に関する研究発表	
	高地等スポーツ医科学 サポート体制を作る	●幅広いアスリートの競技力向上への貢献と健康づくりへの還元 ☆高地医科学サポート効果検証		☆事業成果に関する研究発表	

表内の記載の区分： ●地域での実践， ☆社会への発信

## 4. しんたいの運営体制【マネジメント】

### 1) 公益事業の三本柱

#### ① 調査研究

身体教育医学に関する量的(疫学等)・質的(自然科学、人文・社会科学等)研究を行います。

#### ② 教育啓発

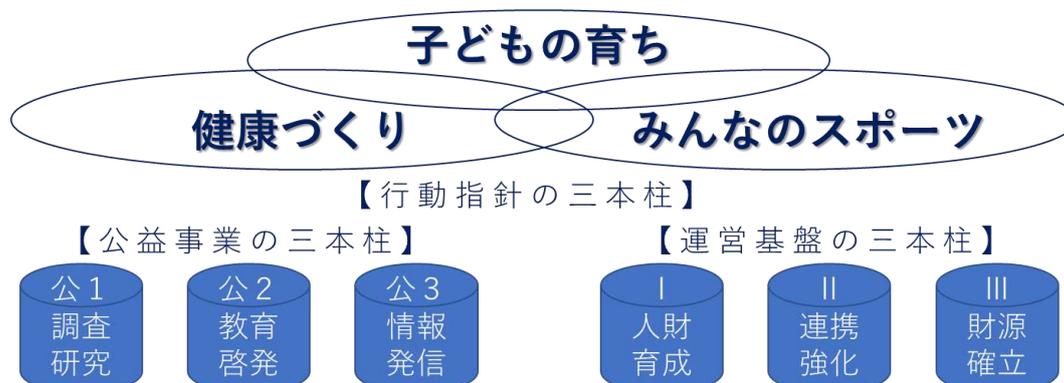
健康づくりに関する事業受託、講演会・教室への講師派遣、相談指導等を行います。

#### ③ 情報発信

法人主催の研修会、出版物の発刊、収集文献の一般公開、WEB発信等を行います。



「からだを育み、こころを育み、きずなを育む」研究と実践を地域（信州・東御）から発信する



## 2) 運営基盤の三本柱

### ① 人財育成

専門性と総合性を兼ね備えた人財を確保し、外部との人事交流やインターンシップ受入等も行います。また「しんたい応援隊」等の住民組織づくりにも取り組みます。

### ② 連携強化

各関係機関との研究・実践両面の強固な連携を継続するとともに、その基盤となる社会的な信頼性を維持するために、法人内部のガバナンス強化を図ります。

### ③ 財源確立

自主財源の割合をより高めるために、自主事業の確立、研究費・モデル事業費等の獲得、応援寄附金制度の確立・活用等、ファンドレイジングの強化に努めます。

## 3) 持続可能な運営体制の検討

今後も引き続き地元地域や社会全体に対して、研究・実践の両面から貢献できる組織として活動が継続できるよう、持続可能な運営体制の将来見通しを検討します。

## 5. SDGs のゴール・ターゲットに貢献する しんたいの具体的取り組み

SDGs のゴール・ターゲット		しんたいの具体的取り組み
	3. d 健康危険因子の早期警告、緩和・管理能力を強化する	地域での健康寿命延伸・健康格差縮小に資する実践活動の中で取り組む。
	4. 7 教育を通して持続可能な開発に必要な知識・技能を得られるようにする	子どもたちとの運動あそびや自然体験を通じた健康増進活動の中で取り組む。
	5. 5 意思決定において、女性の参画と平等なリーダーシップの機会を確保する	長野県 SDGs 推進登録の重点的な取組に掲げた女性理事比率 30%を継続する。
	11. 7 緑地や公共スペースへのアクセスを提供する	運動・スポーツや自然体験の促進につながる環境整備を政策提言に盛り込む。
	15. 4 生物多様性を含む山地生態系を保全する	子ども・家庭・地域向けの自然体験活動の中で、山地生態系の保全に取り組む。
	16. 6 透明性の高い公共機関を発展させる	公益財団法人の運営の中で、常に、高い透明性と適切な意思決定を確保する。
	16. 7 適切な意思決定を確保する	
	17. 17 効果的な公的・官民・市民社会のパートナーシップを推進する	効果的なパートナーシップを活かして各種事業・法人運営等を展開していく。

新型コロナウイルスワクチン特例臨時接種実績報告

実施期間：令和3年2月17日～令和6年3月31日

健康福祉部

1 年齢階層別接種者数及び接種率

接種区分		初回接種				追加3回目 (乳幼児ここまで初回)		追加(高齢者等4回目+R4秋開始接種+R5年春開始接種+R5秋開始接種)							
		1回目		2回目		人数 C	率(%) C/A	4回目		5回目		6回目		7回目	
人口	人数 A	率(%) B/A	人数 B'	率(%) B'/A	人数 C			率(%) C/A	人数 D	率(%) D/A	人数 E	率(%) E/A	人数 F	率(%) F/A	人数 F
R6.3.31現住者															
年齢	A	B	B/A	B'	B'/A	C	C/A	D	D/A	E	E/A	F	F/A	F	F/A
0～5ヵ月	77														
6ヵ月～4	770	59	7.7%	56	7.3%	52	6.8%	20	2.6%						
5～11	1,661	412	24.8%	396	23.8%	228	13.7%	79	4.8%	0	0.0%	0	0.0%		
12～19	2,137	1,564	73.2%	1,560	73.0%	1,108	51.8%	498	23.3%	102	4.8%	1	0.0%	0	0.0%
20～29	2,410	1,682	69.8%	1,677	69.6%	1,273	52.8%	532	22.1%	173	7.2%	46	1.9%	22	0.9%
30～39	2,915	2,131	73.1%	2,122	72.8%	1,640	56.3%	777	26.7%	323	11.1%	109	3.7%	56	1.9%
40～49	3,788	3,167	83.6%	3,156	83.3%	2,586	68.3%	1,478	39.0%	629	16.6%	207	5.5%	122	3.2%
50～59	3,928	3,444	87.7%	3,437	87.5%	3,088	78.6%	2,163	55.1%	1,045	26.6%	286	7.3%	188	4.8%
60～64	1,876	1,687	89.9%	1,685	89.8%	1,569	83.6%	1,274	67.9%	905	48.2%	501	26.7%	284	15.1%
65～	9,524	9,010	94.6%	8,991	94.4%	8,772	92.1%	8,169	85.8%	7,270	76.3%	5,915	62.1%	4,495	47.2%
計	29,086	23,156	79.6%	23,080	79.4%	20,316	69.8%	14,990	51.5%	10,447	35.9%	7,065	24.3%	5,167	17.8%

→乳幼児  
→小児

延数  
104,221

【参考】全国及び長野県の状況 (R6.4.1公表政府集計)

	1回目	2回目	3回目	4回目	5回目	6回目	7回目
全国	80.4%	79.5%	67.1%	46.2%	30.4%	20.3%	14.0%
乳幼児	4.5%	4.2%	3.4%	—	—	—	—
小児	24.5%	23.8%	10.2%	3.3%	1.1%	0.01%	—
65歳以上	93.1%	92.8%	91.9%	—	—	—	—
長野県	82.3%	82.0%	71.9%	53.3%	35.9%	25.0%	17.6%
乳幼児	6.5	6.2	5.4	—	—	—	—
小児	30.8%	30.1%	14.0%	4.6%	1.5%	0.01%	—
65歳以上	95.1%	94.9%	92.6%	—	—	—	—

2 年度別接種回数 (R6.5.14現在VRS(ワクチン接種記録システム)登録数)

年度	1回目	2回目	3回目	4回目	5回目	6回目	7回目	計	備考(主な経過)	
令和2年度	177	40	—	—	—	—	—	217	R3.2.17～医療従事者等先行接種	
令和3年度	24,691	24,391	15,364	—	—	—	—	64,446	4.19～高齢者施設 5.17～初回接種 R4.1.31～追加3回目 3.12～小児の接種	
令和4年度	613	925	6,452	15,467	8,560	—	—	32,017	7.1～高齢者等4回目 10.1～R4秋接種(オミクロン株対応) 11.9～乳幼児の接種	
令和5年度	25	30	67	321	2,285	7,250	5,256	15,234	5.8～5類移行 5.15～R5春接種(高齢者等追加) 9.20～R5秋接種(XBB対応)	
計	25,506	25,386	21,883	15,788	10,845	7,250	5,256	111,914	→総接種回数(接種時に市民であった者の接種累計)	
(内訳1)	乳幼児	86	81	76	22	—	—	265	(内訳2)	
	小児	661	646	316	87	—	—	1,710		市内接種
	12歳以上	24,759	24,659	21,491	15,679	10,845	7,250	109,939		市外接種
									(※1)10医療機関 (※2)商工会他2社	
									集団 33,771 個別(※1) 65,090 職域(※2) 1,530 市外接種 11,523	

## 外出活動支援による新たな介護予防サービス実証事業について

健康福祉部 福祉課

### 1 事業目的

交流の機会や外出頻度が少なくなっている高齢者を対象として、外出活動を体験する「外出自主トレーニングプログラム※」を実施することにより、外出の機会を確保することが介護予防に有効であることを実証することを目的とする。

#### 【※外出自主トレーニングプログラム】

定期的に通所して介護予防活動等を行う場所以外に外出先を確保し、食事や買い物、散歩など、様々な外出レクリエーション活動を提供するもの。

### 2 事業概要

(公財)地域社会振興財団から「人生100年時代づくり・地域創生ソフト事業交付金」の助成金を得て、運転ができない高齢者等を対象とした社会参加型の「外出自主トレーニングプログラム」を実施し、外出が運動機能や認知機能の維持のために有効であること、また孤独感の解消や日々の活力向上に効果があることを検証し、次年度以降の介護予防のメニュー開発や普及啓発につなげる。

### 3 事業実施内容

#### ①外出自主トレーニングプログラムの実施

- ・年12～20回予定(3～5団体×4回 団体：通所型サービス、通いの場、認知症カフェ等)  
(参加者：1団体10名程度)

#### ②測定等の実施

- ・外出自主トレーニングプログラム実施中の歩数や心拍数等の活動量の測定。
- ・外出自主トレーニングプログラムの実施前と終了後に身体や精神面等の測定・聞き取り・アンケートの実施。

#### ③測定結果の分析・検証

- ・測定データの収集・分析・検証の実施。

### 4 事業に要する費用

#### 補正額 3,010千円

(内訳) 報償費	730千円 (講師謝礼、測定謝礼、バス運転手謝礼等)
消耗品費	50千円 (事務用品費等)
燃料費	30千円 (ガソリン代)
委託料	1,500千円 (事業企画・運営、評価分析、報告書作成等)
賃借料	700千円 (自動車借上げ、ウェアラブルレンタル)

### 5 スケジュール

7月	・各団体への事業説明
8月～10月	・外出自主トレーニングプログラム、測定等の実施
11月～12月	・測定データ等の分析、検証

## 東御市地域産物販売促進施設について

## 1 施設の概要

- (1) 所在地 東御市祢津 1350 番地 1
- (2) 建物 木造一部鉄骨造、1階建、延床面積 193.20 m<sup>2</sup>
- (3) 目的 ワインを核とした地域産物の販売を通じた地域振興を図るとともに、新たな交流人口等を創出する
- (4) 事業費  
令和5年度契約額 115,280,000 円  
(このうち 69,280,000 円を令和6年度へ繰越)

## 2 建築工事の進捗状況

- 令和5年 12 月 着工
- 令和6年 3 月末 建設地の排水対策等に係る地元協議、資材の調達に不足の日数を要したため、令和6年度へ繰越
- 令和6年 8 月末 工事完了予定（6月末に完了予定だったが、職人及び資材の調達に不足の日数が必要となるため、工期延長）

## 【工事写真】



### 3 指定管理者の選定

- (1) 募集期間 令和6年3月25日から4月19日まで
- (2) 候補者 株式会社カーヴ・ド・ミドウ（東御市祢津405、代表：小山英明）
- (3) 決定 市議会6月定例会の議決をもって決定
- (4) 委託料 債務負担行為（令和7年度～令和10年度の4年間分：2,000万円。  
なお、令和6年度分の250万円は当初予算計上済み）も同様に上程
- (5) その他 御堂地域活用構想推進協議会を主体として、地域住民も運営に参加する

### 4 オープンの予定

- (1) 10月1日（火） 供用開始  
→当面は土日祝日の営業予定
- (2) 10月3日（木） オープニングセレモニー

## 海野宿滞在型交流施設改修工事について

## 1 事業目的

開宿400年を迎える海野宿において、令和7年度から海野宿滞在型交流施設「うんのわ」の指定管理業務を刷新し、改めて海野宿のランドマークとして住民と共存した観光地経営を目指した施設運営を行っていきます。

については、地域を代表する宿泊施設として継続的な集客、健全運営を実現するために、インバウンドを含めた観光客ニーズに合わせた宿泊機能、飲食機能の向上、さらには歴史、文化の発信機能をあわせ持った観光宿泊施設として運営するために施設改修工事を行います。

## 2 事業（補正）概要

海野宿滞在型交流施設「うんのわ」を改修するものです。多様化する観光客ニーズに応えられ、持続可能で健全な施設運営を実現するために歴史的建築物の雰囲気と資源を最大限に活用し滞在価値の向上を図るため、次のとおり改修するものです。

なお、事業の実施にあたっては観光庁の観光振興事業費補助金（歴史的資源を活用した観光まちづくり推進事業）を活用します。

## (1) 宿泊棟の改修工事

最大宿泊数や稼働率改善のために客室を増加します（現在の2室から5室へ）。

## (2) 飲食棟の改修工事

海野宿を観光する観光客が気軽に立ち寄れる開放的なカフェ機能を併せ持ったレストラン棟へと改修します。

## (3) 休憩棟の改修工事

休憩棟は施設敷地の中でも良い立地の場所にあり、現在はトイレ利用のみとなっている。客室数増加に伴い浴室の不足が想定されるため、トイレは別の場所へ移設し、休憩棟への貸切檜木風呂を設置します。

## 3 事業費（補正額） 49,000千円

【財源：観光庁 観光振興事業費補助金（補助率1/2以内 18,104千円）】

※ 補助対象：改修工事費用のみ。

		千円
12 委託料	01 実施設計業務委託料	6,000
	02 工事監理業務委託料	3,000
14 工事請負費	01 工事請負費	40,000

【裏面あり】

## 4 特記事項

事業期間（スケジュール）

令和6年5月28日	事業採択
令和6年7月下旬	実施設計業務開始
令和6年11月中旬	改修工事開始
令和7年3月上旬	事業完了

## 市保育料軽減事業の拡充について

東御市で行ってきた第3子以降の保育料無償化に続き、第2子について保育料の1/2とするなど、当市の保育料軽減を拡充します。（3歳以上児の保育料は、すでに無償化されています。）

## 1 軽減の拡充

- ・ 第1子で世帯年収 360 万円未満 保育料の 1/2
- ・ 第2子で世帯年収 360 万円未満 保育料無償化
- ・ 第2子で世帯年収 360 万円以上 保育料の 1/2

## &lt; 現行 &gt;

年収相当額	第1子	第2子		第3子以降	
		同時入所	非同時入所	同時入所	非同時入所
年収360万未満		国1/2軽減	国1/2軽減	国無償化	国無償化
年収360万以上		国1/2軽減		国無償化	無償化①



## &lt; 拡充後 &gt;

年収相当額	第1子	第2子		第3子以降	
		同時入所	非同時入所	同時入所	非同時入所
年収360万未満	1/2軽減②	無償化③	国1/2軽減	国無償化	国無償化
年収360万以上		国1/2軽減	1/2軽減④	国無償化	無償化①

## 2 軽減に係る財源

	市負担額(千円)				
	①	②	③	④	計
現行	11,580	-	-	-	11,580
拡充後	6,510	286	261	2,384	9,441

県補助金 (千円)
1,440
9,441

県補助上限  
(上限6千円)  
(上限なし)

※拡充後の軽減分の負担割合 県 1/2、市 1/2

## 3 実施時期

令和6年4月分の保育料から適用します。

# 第 1 期 事 業 報 告

自 令和 5 年 12 月 8 日

至 令和 6 年 3 月 31 日

株式会社エコパワーとうみ

## 第1期 事業報告

### 1. 事業概要

新型コロナウイルスの影響で停滞していた経済活動の回復による世界規模のエネルギー需要の高まりや、ロシアによるウクライナ侵略等の世界情勢を背景とした世界的な燃料価格の変動は、エネルギーの9割近くを輸入に頼る日本の電気・ガス料金にも大きく影響を及ぼしています。

天然ガスや石炭による火力発電にかわる発電として、日本政府は、2030年までの電源構成における再エネの割合を36～38%、また2050年までには50～60%とする目標を掲げています。

このような状況において、当社では、東御市全域での再生可能エネルギーへの転換を推進し、脱炭素社会の実現を目指したエネルギーの地産地消により電力インフラのレジリエンスを強化するとともに、エネルギーコストを抑制し、エネルギー代金の域外流出を抑えることで地域経済の活性化を図ります。

第1期においては、公共施設を対象としたP P A事業や電気小売事業（取次事業）を進めていくための調査検討等を行いました。

#### （1）公共施設等へのP P Aモデルによる太陽光発電設備設置検討

地域エネルギーにより生み出された電力により公共施設の再生可能エネルギーへの転換を図るため、市の取組みと連携し、以下の18施設において屋根の形状及び状態、日射状況、電力使用量、電気配線などを調査し、太陽光発電施設導入による事業性や費用対効果に関する検討を実施しました。

また、オフサイトP P Aのための野立て太陽光発電設備建設候補地の調査を実施しました。

調査は継続中であり、市が進める重点対策加速化事業の進捗状況を注視し、共同した事業を行います。

- |               |                 |
|---------------|-----------------|
| 1. 滋野児童館      | 10. 第二体育館       |
| 2. 移住体験施設     | 11. ふれあい体育館     |
| 3. 和児童館       | 12. 武道館         |
| 4. 東部人権センター   | 13. 憩いの家        |
| 5. 北御牧人権センター  | 14. 道の駅雷電くるみの里  |
| 6. 梅野記念絵画館    | 15. 物産加工施設      |
| 7. 湯の丸高原荘     | 16. 総合福祉センター    |
| 8. 湯の丸高原荘(別館) | 17. ふれあいトロンセンター |
| 9. 湯の丸高原屋内運動施 | 18. 市民病院        |

## (2) 公共施設の電気契約切替えに向けた検討

公共施設 32 施設の電力使用状況を調査し、再生可能エネルギー由来の電力を安定供給するため、以下の施設の 30 分電力及び年間使用量等を調査し、事業性を含めスイッチングの可能性を調査しました。

- |                   |                      |
|-------------------|----------------------|
| 1. 東御市役所          | 17. 東御市立北御牧中学校       |
| 2. 東御市役所北御牧総合支所   | 18. 東御市中央公民館         |
| 3. 東御市子育て支援センター   | 19. 東御市第1体育館         |
| 4. 東御市立田中保育園      | 20. 東御市文化会館          |
| 5. 東御市立滋野保育園      | 21. 東御市民病院           |
| 6. 東御市立和保育園       | 22. 東御市 最終処分場        |
| 7. 東御市祢津保育園       | 23. 東御市 西入水源浄水施設     |
| 8. 東御市総合福祉センター    | 24. 東御市 川久保浄化センター    |
| 9. 東御市立海野宿滞在型交流施設 | 25. 東御市 東部浄化センター     |
| 10. 東御市立田中小学校     | 26. 東御市農林漁業体験実習館     |
| 11. 東御市立滋野小学校     | 27. 温泉健康複合施設         |
| 12. 東御市立和小学校      | 28. 東御市温泉コミュニティーセンター |
| 13. 東御市立北御牧小学校    | 29. アートヴィレッジ明神館      |
| 14. 東御市立祢津小学校     | 30. 東御市北御牧保育園        |
| 15. 北御牧学校給食センター   | 31. 東御市 湯の丸高原特設プール   |
| 16. 東御市立東部中学校     | 32. 湯の丸高原荘           |

## 2. 当社の現況（令和6年3月31日現在）

### （1）従業員の状況

	男性		女性		計
	正社員	その他	正社員	その他	
期首 (R5. 12. 8)	0	7	0	0	7
期末 (R6. 3. 31)	0	7	0	0	7

### （2）資本金の推移

資本金	期首 (R5. 12. 8)	11,000,000 円
	期末 (R6. 3. 31)	11,000,000 円

### （3）株式の状況（年度末現在）

ア. 株式数	発行可能株式数	800 株
	発行済株式の総数	220 株

イ. 株主数 4名

ウ. 株主及び持株数	東御市	120 株
	株式会社アドバンテック	60 株
	株式会社信州東御市振興公社	20 株
	脱炭素推進機構株式会社	20 株

(4) 取締役及び監査役の他社（自治体）との兼職状況

(年度末現在)

役職名	氏名	兼務状況
代表取締役	田丸 基廣	株式会社信州東御市振興公社 代表取締役社長
取締役	花岡 利夫	東御市 市長
取締役	石本 祐子	株式会社アドバンテック 執行役員
取締役	木下 卓	脱炭素推進機構株式会社 代表取締役
監査役	清水 初太郎	株式会社アヅマ 代表取締役
監査役	後藤 誠	株式会社長野三洋化成 専務取締役

(5) 取締役・監査役と会社の取引状況

なし

(6) 取締役・監査役に支払った報酬額

0円

# 決 算 報 告 書

( 第 1 期 )

自 令和 5 年 12 月 8 日  
至 令和 6 年 3 月 31 日

株式会社エコパワーとうみ

長野県東御市県281番地2

## 貸借対照表

令和 6 年 3 月 31 日現在

資産の部		負債の部	
科目	金額	科目	金額
	円		円
<b>【流動資産】</b>	<b>【 10,696,076】</b>	<b>【流動負債】</b>	<b>【 87,789】</b>
現金及び預金	10,682,426	未払金	33,000
未収消費税	13,650	預り金	9,189
		未払法人税等	45,600
		負債の部合計	87,789
		純資産の部	
		<b>【株主資本】</b>	<b>【 10,608,287】</b>
		(資本金)	( 11,000,000)
		資本金	11,000,000
		(利益剰余金)	( △391,713)
		繰越利益剰余金	△391,713
		純資産の部合計	10,608,287
資産の部合計	10,696,076	負債及び純資産の部合計	10,696,076

## 損 益 計 算 書

科 目	金 額	額
		円
<b>【販売費及び一般管理費】</b>		
消 耗 品 費	6,507	
支 払 手 数 料	136,638	
租 税 公 課	203,000	346,145
営 業 損 失		( 346,145)
<b>【営業外収益】</b>		
受 取 利 息	37	37
経 常 損 失		( 346,108)
税引前当期純損失		( 346,108)
法人税、住民税及び事業税		45,605
当 期 純 損 失		( 391,713)

## 株主資本等変動計算書

自 令和 5 年 12 月 8 日 至 令和 6 年 3 月 31 日 単位 円

	株主資本				純資産合計
	資本金	利益剰余金		株主資本 合計	
		その他利益剰余金 繰越利益剰余金	利益剰余金 合計		
当期首残高					
当期変動額					
利益剰余金の資本組入れによる増資	11,000,000			11,000,000	11,000,000
当期純損益金		△391,713	△391,713	△391,713	△391,713
当期変動額合計	11,000,000	△391,713	△391,713	10,608,287	10,608,287
当期末残高	11,000,000	△391,713	△391,713	10,608,287	10,608,287

## 個 別 注 記 表

自 令和 5 年 12 月 8 日  
至 令和 6 年 3 月 31 日

- I. この計算書類は、中小企業の会計に関する指針によって作成しています。
- II. 重要な会計方針に係る事項に関する注記  
(1) その他計算書類の作成のための基本となる重要な事項  
①消費税等の会計処理  
消費税等の会計処理は、税抜方式によっています。
- III. 株主資本等変動計算書に関する注記  
(1) 当該事業年度の末日における発行済株式の数 220株

## 重点対策加速化事業（オフサイトPPA）について

2050年までの脱炭素社会実現に向け、市内の再生可能エネルギーを最大限導入するため、市有地にオフサイトPPAモデルにより太陽光発電設備を設置します。

事業者はプロポーザルにより公募します。

地域脱炭素移行・再エネ推進交付金（重点対策加速化事業）により、要件に該当する事業者へ補助金を交付します。

- (1) 設置候補地 北御牧グランド周辺
- (2) システム容量見込み 800kW
- (3) 電力の供給先 公共施設
- (4) 令和6年度重点対策加速化事業計画

事業名	施設名	本年度事業費(申請額)				当初予算	6月補正
		事業費	対象事業費	交付率	交付限度額	交付限度額 (予算額)	交付限度額 (予算額)
間接補助による住宅への太陽光発電導入事業	一般住宅	158,050,000	38,150,000	定額	38,150,000	38,150,000	
間接補助による住宅への蓄電池導入事業		110,400,000	71,300,000	1/3	23,766,000	32,033,000	
間接補助による民間施設への太陽光発電導入事業	民間施設	78,000,000	15,000,000	定額	15,000,000	15,000,000	
間接補助による民間施設への蓄電池導入事業		24,000,000	19,000,000	1/3	6,333,000	6,333,000	
公共施設の新築ZEB設計・建設事業	滋野児童館	100,006,000	100,006,000	3/5	60,003,000	51,928,000	
PPA方式による公共施設への太陽光発電導入事業	公共施設	21,810,000	21,810,000	1/2	10,905,000	21,342,000	
PPA方式による公共施設への蓄電池導入事業		4,800,000	3,800,000	2/3	2,533,000	7,600,000	
PPA方式による市有地への太陽光発電導入事業	大日向	192,518,624	192,518,624	1/2	96,259,000		80,563,000
合計		689,584,624	461,584,624		252,949,000	172,386,000	80,563,000

## (5) 補助金の概要

- ・ 名称 東御市公共施設等への太陽光発電設備等設置促進補助金  
(地域脱炭素移行・再エネ推進交付金（重点対策加速化事業）を充当)
- ・ 対象事業 PPA方式により市内の公共施設等に太陽光発電設備を設置する事業  
上記の太陽光発電設備に附帯して蓄電池を設置する事業
- ・ 対象者 東御市内に本店又は支店を有する事業者
- ・ 補助率 太陽光発電設備：補助対象経費の1/2  
蓄電池：補助対象経費の2/3

(6) その他（東御市太陽光発電システム等設置補助金交付要綱の一部改正について）

①概要 事業所が設置する太陽光発電設備に対する補助金の上限額を改正します。

②内容

現 行	改正案
上限 10 kW (500,000 円)	上限 100 kW (5,000,000 円)

※ 1 kWあたり 50,000 円の補助

③改正理由 東御市脱炭素化事業推進協議会（再エネ化推進部門分科会）や事業者へのヒアリングにおいて、補助上限の上方修正により企業のメリットを高め、エネルギーの地産地消を加速する必要がある旨の指摘があったため。

④改正予定 令和6年7月1日

## 市営合葬式墓地整備方針について

## 東御市市営合葬式墓地整備の方針

## 1 目的

近年は、少子高齢化や核家族化に伴う家族観の変化等により、墓地のニーズも多様化し、墓地の継承についての問題を抱える人たちが増えるなか、令和6年度以降に市営の合葬式墓地を整備するとともに、福祉的な施策を取組み、市民の安心に寄与することを目的とする。

## 2 使用要件

- (1) 市内在住で墓地のない者
- (2) 市内在住で既存の墓地はあるが管理ができない者
- (3) 市内在住で引き取り手がいない者
- (4) その他市長が認める者

## 3 選定地要件

- (1) 市有地であることを基本とする
- (2) 面積は3,000㎡未満

## 4 施設概要

## 合葬式墓地構造

構造 鉄筋コンクリート造平屋（地下カロート）

延床面積 16㎡～20㎡ 敷地面積：3,000㎡未満

収容体積  $2.0\text{m} \times 2.0\text{m} \times 1.0\text{m} = 4\text{m}^3$

収容体数 500～700体

## 5 整備期間

令和6年度～7年度（予定）

## 6 今後の予定

令和6年度上半期：候補地決定

令和6年度下半期：設計委託

令和7年度：建設

○ 整備方針（案）についてのパブリックコメントの結果について

1 意見の募集期間

令和6年2月15日（木）～令和6年3月15日（金） 一か月間

2 意見の提出状況

提出者数 10人 提出意見数 52件

3 意見の対応区分及び意見数

区分	内容	提出者数	意見数
A	ご意見の趣旨が既に反映されているもの。	1	1
B	ご意見を反映させるもの（または修正したもの）。	1	1
C	ご意見を反映することはできないが、今後の参考とするもの。	12	24
D	ご意見を反映できないもの。 ・法令等で規定されており、市として実施できないもの。 ・実施主体が市以外のもの。 ・市の方針に合わないもの。など	-	-
E	その他のご意見（質問、感想等）。	3	26
計		17	52

※表中の提出者数は、1人で複数の意見を提出している場合があるため、実際の提出者数（10人）と一致しません。

4 意見区分ごとの内容（抜粋）

区分A ・選定地要件で、市有地と限定することに違和感を覚える。

区分B ・パブリックコメントの実施要領の添付を提案する。

区分C ・市営墓地は、行きやすい場所に設置していただきたい、また、墓地を決めていない若い方にも必要な施策と考える。

- ・管理費に差をつけてもよいので混合型と個別収納型を選択できるように要望する。

- ・追加での建設を考え、山城跡や保育園跡地などを活用してはどうか。

- ・収容体数 500～700 体に対し 3,000 m<sup>2</sup> という規模は十分でない。

- ・土葬を行わないことを明記してはどうか。

窓口フロントヤード改革事業について  
(窓口 DX 化について)

市民生活部 市民課

1 事業の概要

市民の窓口手続きの負担を軽減するため、窓口業務支援システムを導入し、来庁者の書類記載を省略するとともに、ライフイベント手続き（出生・死亡・転入）を一元的に受け、「書かない、待たない、回らない」窓口を創設する。

併せて、デジタル窓口実装に適した市役所本館 1 階のカウンター及び事務室のレイアウト改修を行う。

2 事業期間

令和 6 年 7 月～令和 7 年 3 月

3 事業費（市民課分）

(単位：円)

項目	国庫支出金	一般財源	総事業費
補助対象事業	45,553,000	45,553,000	91,106,000
補助対象外事業	0	5,000,000	5,000,000
合計	45,553,000	50,553,000	96,106,000

※デジタル田園都市国家構想交付金 デジタル実装タイプ (TYPE1)

補助率 1/2

4 今後の予定

(1) システム整備 R6.7月～R7.1月

(2) レイアウト改修

① 9月13日(金)～16日(月・祝)

税務課・国保年金係東側に移動

② 9月20日(金)～23日(月・祝)

市民係東側に移動

③ 10月11日(金)～14日(月・祝)

生活環境課西側で配置換え

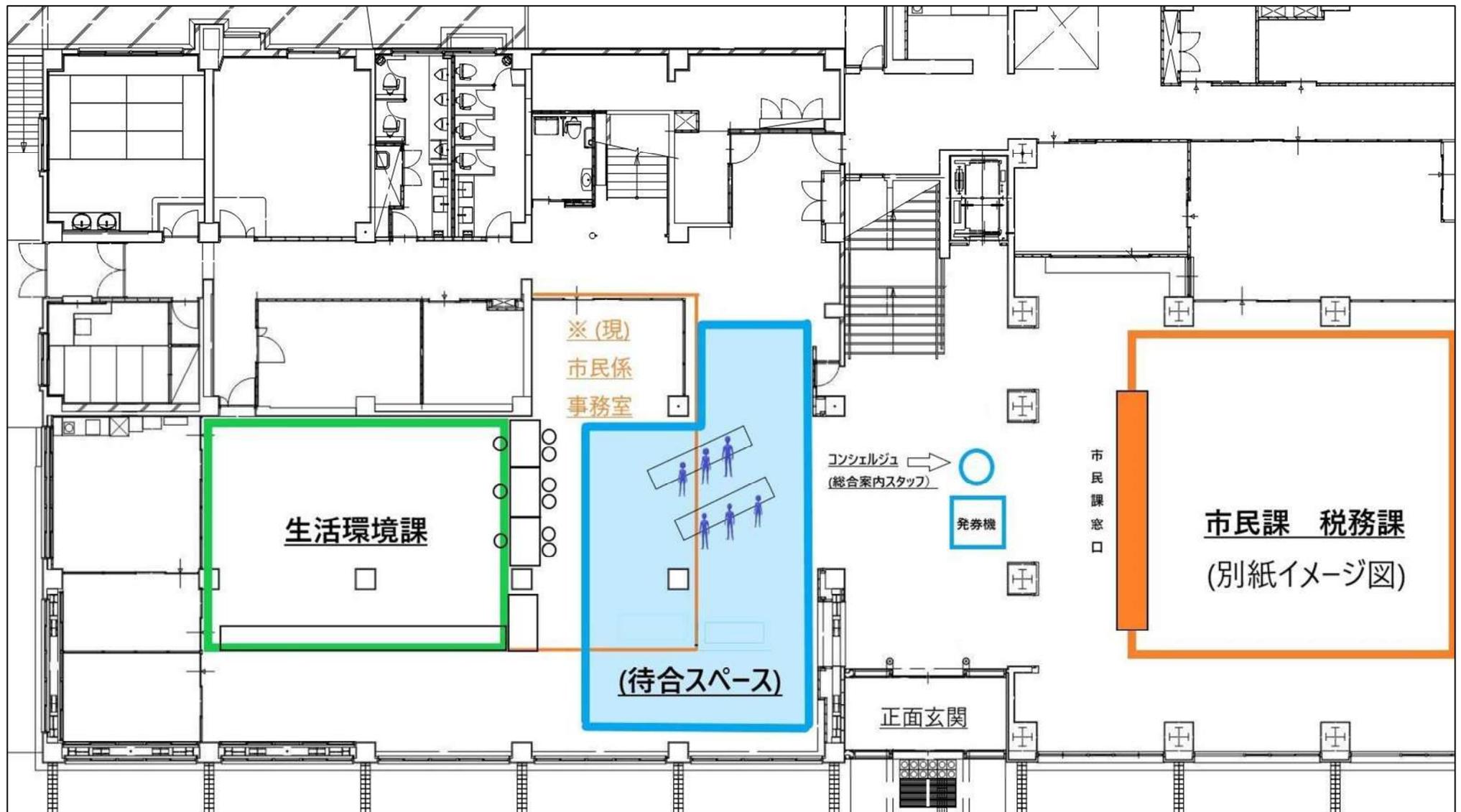
④ 11月1日(金)～4日(月・祝)

全体調整等

(3) 窓口取扱い業務

9月定例議会の全協で説明予定

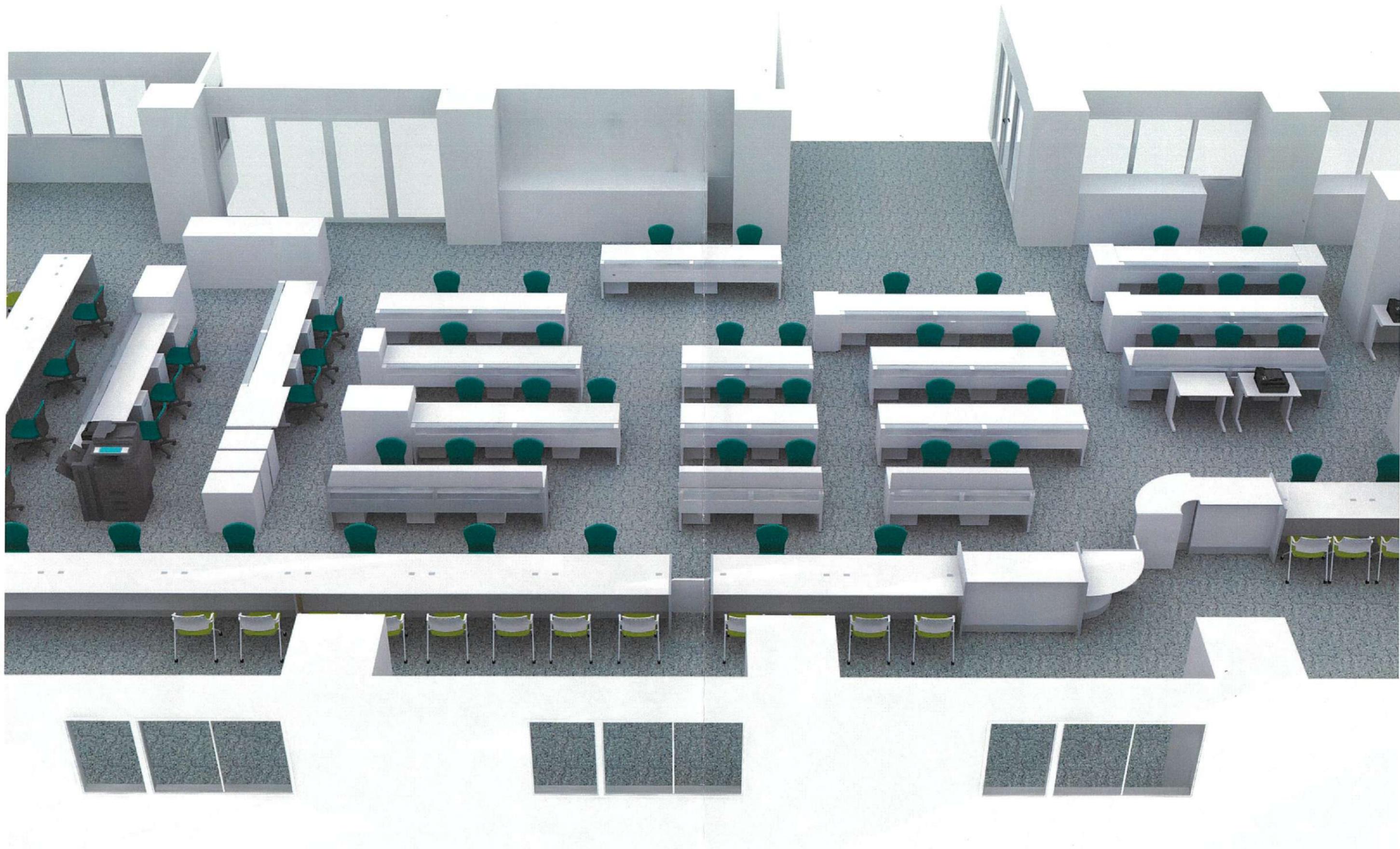
## 庁舎1階全体レイアウト案



### 【主な変更点】

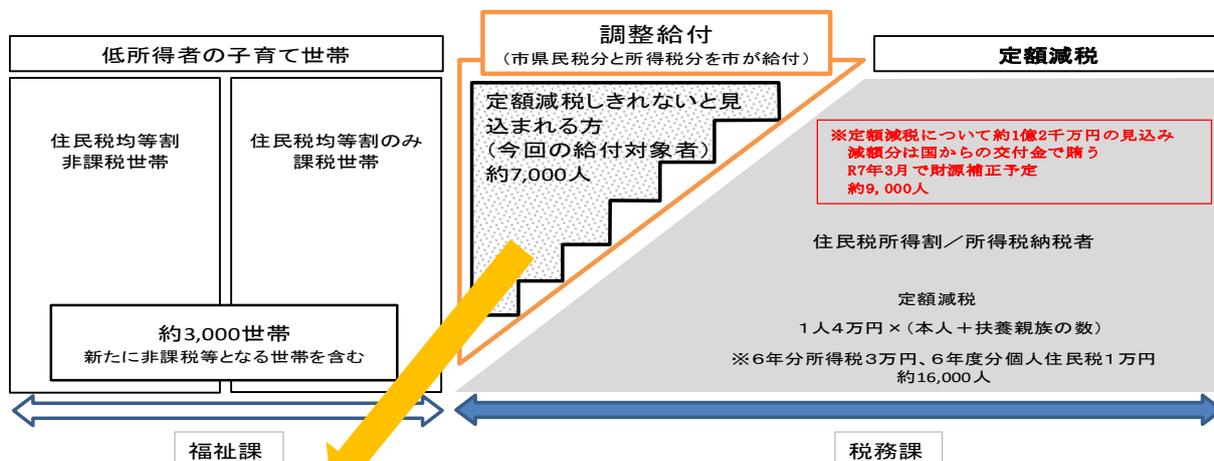
- (1) 現在西側にある市民係事務室を東側に集約し、市民のライフイベントに関連する窓口手続きの一定のワンストップ化を図る。
- (2) 市民係が移設後のスペースを待合スペースとして利活用し手続きの待ち時間等のストレスフリーな空間を作る。

# 【庁舎 1 階東側 イメージ図】



## 定額減税調整給付金について

物価高騰低所得者支援事業費(定額減税しきれないと見込まれる方への調整給付金交付事業)



## 1 定額減税調整給付金の概要

定額減税の対象者で住民税と所得税の年間の納税額が1人当たり4万円に満たない方(定額減税可能額を控除し切れないと見込まれる方)に対して、調整給付金を支給します。

## 2 支給対象者

定額減税可能額が「令和6年度分個人住民税所得割額」又は「令和6年分推計所得税額」を上回る方

## 3 給付額

(1) 個人住民税所得割分減税可能額 — 令和6年度分個人住民税所得割額

(2) 所得税分定額減税可能額 — 令和6年分推計所得税額(令和5年分所得税額)

(1) + (2)の合算額(合算額を万円単位に切り上げる)

計算例	(1)個人住民税所得割分	(2)所得税分	給付額 控除しきれない額(1)+(2)
納税義務者が妻と子ども3人、両親2名を扶養している場合	○定額減税可能額1万円×(本人+扶養親族6人)=7万円 ○令和6年度分個人住民税所得割額減税前 5万5千円 ○控除不足額 1万5千円	○定額減税可能額3万円×(本人+扶養親族6人)=21万円 ○令和6年分所得税額減税前 19万6千円 ○控除不足額 1万4千円	○(1)+(2)=2万9千円(1万円未満切り上げ) ○調整給付額 3万円

## 4 今後のスケジュール

6月以降 市県民税・森林環境税税額決定通知書送付

8月中旬以降 対象者に確認書発送予定(必要事項記入のうえ要返送)

9月上旬以降 順次給付開始 申請期限 令和6年10月31日

令和5年度

東御市土地開発公社

事業報告書

決算報告書

自 令和5年4月1日

至 令和6年3月31日

## 令和5年度 東御市土地開発公社事業報告書

### (1) 事業の概要

地域の秩序ある整備と公共の福祉の増進に資するため、「公有地の拡大の推進に関する法律」に基づいて設立された東御市土地開発公社の令和5年度の事業概要は次のとおりです。

#### ① 公有地取得事業の用地

平成26年度の市による買戻しをもって、現在、公社所有地については保有がありません。

#### ② 経理状況

令和5年度においては上田バイパス延伸工事事業費の金融機関への一部返済及び借換をしました。また、経常的な販売費及び一般管理費の支出を行いました。

### (2) 理事会決議事項

議案番号	件名	議決年月日
議案第1号	令和4年度東御市土地開発公社決算について	令和5年5月19日
議案第2号	令和6年度東御市土地開発公社予算について	令和6年2月16日

### (3) 公有地取得事業用地における土地取得及び売却に関する事項

#### 《土地取得》

用地の名称	取得面積 (㎡)	取得額 (円)
代行用地	0	0
合計	0	0

#### 《土地売却》

用地の名称	売却面積 (㎡)	売却額 (円)
代行用地	1,929.60	22,420,532
合計	1,929.60	22,420,532

令和5年度 財産目録

令和6年3月31日現在

資産の部

単位 円

区 分		金 額		備 考
1 流動資産				
(1) 現金及び預金	普通預金	9,717,532		
	定期預金	28,000,000		
		小計	37,717,532	
(2) 公有用地	取得費	0		
	造成費	0		
	事務費	0		
	支払利息	0		
		小計	0	
(3) 代行用地	取得費	1,045,586		
	造成費	0		
	事務費	630		
	支払利息	166,255		
		小計	1,212,471	
(4) 代替用地	取得費	0		
	造成費	0		
	事務費	0		
	支払利息	0		
		小計	0	
流動資産合計			38,930,003	
2 固定資産				
(1) 有形固定資産	車両運搬具	0		
(2) 投資その他の資産		0		
固定資産合計			0	
資産合計			38,930,003	

## 負債の部

単位 円

区 分		金 額		備 考
1 流動負債				
(1) 流動負債	短期借入金	2,116,394		
	預り金	0		
	修繕引当金	3,303,355		
		小計	5,419,749	
流動負債合計			5,419,749	
2 固定負債				
(1) 固定負債	預り保証金	0		
	特別修繕引当金	0		
		小計	0	
固定負債合計			0	
負債合計			5,419,749	

## 純資産の部

単位 円

区 分		金 額		備 考
1 資本金				
(1) 基本財産		8,000,000		
		小計	8,000,000	
資本金合計			8,000,000	
2 準備金				
(1) 前期繰越準備金		25,109,882		
		小計	25,109,882	
(2) 当期純利益		400,372		
		小計	400,372	
準備金合計			25,510,254	
純資産合計			33,510,254	

貸借対照表

令和 6 年 3 月 31 日現在

単位 円

		資 産 の 部	
【流動資産】			
現金及び預金		37,717,532	
公有用地		0	
代行用地		1,212,471	
	流動資産合計		38,930,003
	資産の部合計		38,930,003
		負 債 の 部	
【流動負債】			
短期借入金		2,116,394	
預り金		0	
修繕引当金		3,303,355	
	流動負債合計		5,419,749
【固定負債】			
預り保証金		0	
特別修繕引当金		0	
	固定負債合計		0
	負債の部合計		5,419,749
		純 資 産 の 部	
【資本金】			
基本財産		8,000,000	
	資本金合計		8,000,000
【準備金】			
前期繰越準備金		25,109,882	
当期純利益		400,372	
	準備金合計		25,510,254
	純資産の部合計		33,510,254
	負債及び純資産の部合計		38,930,003

損益計算書

自 令和 5 年 4 月 1 日  
至 令和 6 年 3 月 31 日

単位 円

【事業収益】			
公有地取得事業収益	23,139,963		
土地造成事業収益	0		0
【事業原価】			
公有地取得事業原価	22,420,532		
土地造成事業原価	0		
合計	0		719,431
事業総利益			719,431
【販売費及び一般管理費】			327,580
営業利益			391,851
【事業外収益】			
受取利息	8,521		
雑収益	0		8,521
【事業外費用】			
支払利息	0		0
経常利益			400,372
【特別利益】			
その他特別利益	0		
普通引当金取崩額	0		
特別引当金取崩額	0		0
税引前当期純利益			400,372
当期純利益			400,372

販売費及び一般管理費

自 令和 5 年 4 月 1 日  
至 令和 6 年 3 月 31 日

単位 円

報	酬	53,200
賃	金	0
広	告	0
宣	伝	0
旅	費	5,402
交	際	0
需	用	197,318
役	務	660
委	託	0
負	担	0
金	補	0
助	及	0
び	交	0
付	金	0
公	租	71,000
公	課	0
使	用	0
料	・	0
賃	借	0
料		0
団	地	0
修	繕	0
整	備	0
費		0
寄	付	0
金		0
雑	費	0

販売費及び一般管理費合計

327,580

キャッシュ・フロー計算書

自 令和5年4月1日 至 令和6年3月31日

(単位：円)

I 事業活動によるキャッシュ・フロー	
公有地取得事業収入	23,139,963
土地造成事業収入	0
その他事業収入	1,820
土地造成事業支出	0
取得に係る支出	△166,885
管理に係る支出	0
その他事業支出	△1,820
人件費支出	△53,200
その他の業務支出	△274,380
小計	<u>22,645,498</u>
利息の受取額	8,521
利息の支払額	0
事業活動によるキャッシュ・フロー	<u>22,654,019</u>
II 投資活動によるキャッシュ・フロー	
定期預金預入による支出	0
現金預金の払戻による収入	0
投資活動によるキャッシュ・フロー	<u>0</u>
III 財務活動によるキャッシュ・フロー	
短期借入による収入	2,116,394
短期借入金の返済による支出	△24,095,102
財務活動によるキャッシュ・フロー	<u>△21,978,708</u>
IV 現金及び現金同等物増減額	675,311
V 現金及び現金同等物期首残高	37,042,221
VI 現金及び現金同等物期末残高	<u>37,717,532</u>

注 記 事 項

自 令和5年4月1日  
至 令和6年3月31日

I. 重要な会計方針に係る事項に関する注記

1. たな卸資産の評価基準及び評価方法
  - 公有用地・・・個別法による原価法
  - 完成土地等・・・個別法による原価法  
ただし、時価が取得原価に比べておおむね50%以上下落したときは  
近い将来明らかに回復する見込みがあると認められる場合を除き、  
時価で評価しています。
  - 代替地・・・個別法による原価法
2. 固定資産の減価償却の方法
  - ①有形固定資産  
定額法を採用しています。
3. 引当金の計上基準
  - 修繕引当金・・・・・・修繕等で発生すると見込まれる額を計上しています。
  - 特別修繕引当金・・・・・・将来発生すると見込まれる大規模な改修費用の額を計上  
しています。

附 属 明 细 表

(様式第1号)

令和5年度 現金及び預金明細表

科目	種類	金融機関名	金額 (円)	摘要
現金	—		0	
預金	普通	信州うえだ農協 東御支所	199,396	
		㈱八十二銀行 田中支店	1,873,739	
		上田信用金庫 とうみ支店	7,644,397	
	定期	信州うえだ農協 東御支所	28,000,000	
計			37,717,532	

(様式第4号)

令和5年度 公有用地明細表

資産区分	期首残高		当期増加高								当期減少高		期末残高		摘要
	面積	金額	面積	用地費	補償費	工事費	測量試験費	諸経費	支払利息	計	面積	金額	面積	金額	
	m <sup>2</sup>	円	m <sup>2</sup>	円	円	円	円	円	円	円	m <sup>2</sup>	円	m <sup>2</sup>	円	
	該当なし														
合計	0.00	0	0.00	0	0	0	0	0	0	0	0.00	0	0.00	0	

(様式第5号)

令和5年度 代行用地明細表

資産区分	期首残高		当期増加高								当期減少高		期末残高		摘要
	面積	金額	面積	用地費	補償費	工事費	測量試験費	諸経費	支払利息	計	面積	金額	面積	金額	
上田バイパス事業	m <sup>2</sup>	円	m <sup>2</sup>	円	円	円	円	円	円	円	m <sup>2</sup>	円	m <sup>2</sup>	円	
	2,053.67	23,466,118	0	0	0	0	0	630	166,255	166,885	1,929.60	22,420,532	124.07	1,212,471	
合計	2,053.67	23,466,118	0	0	0	0	0	630	166,255	166,885	1,929.60	22,420,532	124.07	1,212,471	

令和5年度有形固定資産明細表

(様式第11号)

資産の種類	取得原価 A	当期増加額 B	当期減少額 C	期末残高 (A+B-C) D	当期減価 償却額 E	減価償却 累計額 F	差引期末残高 D-F	摘 要
車両その他の 運搬具	円 該当なし	円	円	円	円	円	円	
計	0	0	0	0	0	0	0	

令和5年度短期借入金明細表

(様式第14号)

借 入 先	利 率	期 首 残 高	当 期 増 加 高	当 期 減 少 高	期 末 残 高	備 考
上田信用金庫 とうみ支店	% 1.16	円 24,095,102	円 2,116,394	円 24,095,102	円 2,116,394	
計		24,095,102	2,116,394	24,095,102	2,116,394	

令和5年度 資本金明細表

(様式第16号)

区 分	出 資 団 体 名	出 資 額	摘 要
基本財産	東御市	8,000,000 <sup>円</sup>	
計		8,000,000	

13

令和5年度 引当金明細表

(様式第17号)

区 分	期 首 残 高	当 期 増 加 額	当 期 減 少 額		期 末 残 高	摘 要
			目 的 使 用	そ の 他		
修繕引当金	3,303,355 <sup>円</sup>	0 <sup>円</sup>	0 <sup>円</sup>	0 <sup>円</sup>	3,303,355 <sup>円</sup>	
計	3,303,355	0	0	0	3,303,355	

(様式第20号)

令和5年度 事業収益明細表

科 目		金額 (円)	摘 要
公有地取得 事業収益	公有用地売却収益	0	
	代行用地売却収益	23,139,963	
	特定土地売却収益	0	
	代替地売却収益	0	
合 計		23,139,963	

(様式第21号)

令和5年度 事業原価明細表

科 目		金額 (円)	摘 要
公有地取得 事業原価	公有用地売却原価	0	
	代行用地売却原価	22,420,532	
	特定土地売却原価	0	
	代替地売却原価	0	
合 計		22,420,532	

## 令和5年度決算監査報告書

東御市土地開発公社定款第23条の規定により、令和5年度会計の決算及び証拠書類の監査を実施したところ、適切かつ正確に処理されていることを認めます。

令和6年4月30日

東御市土地開発公社

監事 塩川 壽友 

監事 窪田 俊介 

# 令和5年度活動記録

令和6年5月

## 上田バイパス東御市区間用地取得率 50%超！ 早期開通へ一歩一歩！

上田バイパスは、東御市から上田市区間の人・車の流れを分散させ、国道18号線大屋周辺の渋滞緩和だけでなく、交通の利便性の向上による沿線地域の物流、観光などの地域産業の発展に寄与するほか、暮らしやすいまちづくりの基幹となる東御市本海野から上田市上塩尻を終点とした延長11.5kmの道路です。

新型コロナウイルス感染症が5類に引き下げられ、長野国道事務所をはじめとした関係する皆さまのご尽力をいただき、昨年度から西海野地籍の用地交渉が始まり、更に用地取得が進み早期に工事に着手できることを大いに期待しています。

令和5年度は委員会役員の変更がありましたが、今後も、東御市と上田市で組織する国道18号上田バイパス第二期（国分～本海野）工区建設促進期成同盟会と連携を図りながら、国関係機関への要望活動を行い大幅な予算の確保に努め、地域の皆様のご理解を得て上田バイパスの早期開通に取り組んでまいりますので、引き続き皆様の一層のご支援、ご協力をお願いいたします。

### 【上田バイパス建設促進委員会役員】（敬称略）※令和5年度～令和6年度

委員長 北沢 達 副委員長 小林 幹雄、堀 志津雄、正村 俊一 監事 大熊 清人、伊藤 隆也  
顧問 堀 高明 区代表役員 戸田 雅彦、堀 憲一、荻原 通晴、小林 和恵

## 要 望 活 動

### ■長野国道事務所への要望

日 時 令和5年9月28日(木)  
場 所 長野国道事務所  
出席者 東御市  
…東御市長、東御市議会議長、  
北沢建設促進委員長  
他4名  
上田市…上田市長他7名

### ■国土交通省等への要望

日 時 令和5年11月8日(水)、  
11月9日(木)  
場 所 国土交通省、財務省、関東地方整備局  
出席者 東御市…東御市長、建設課長  
上田市…上田市長、都市建設部長

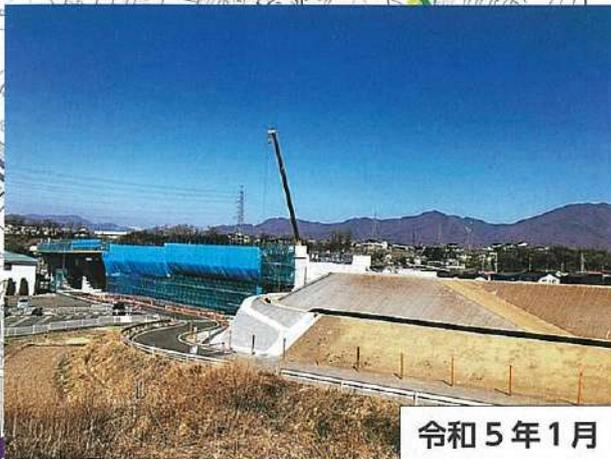


国土交通省への要望活動

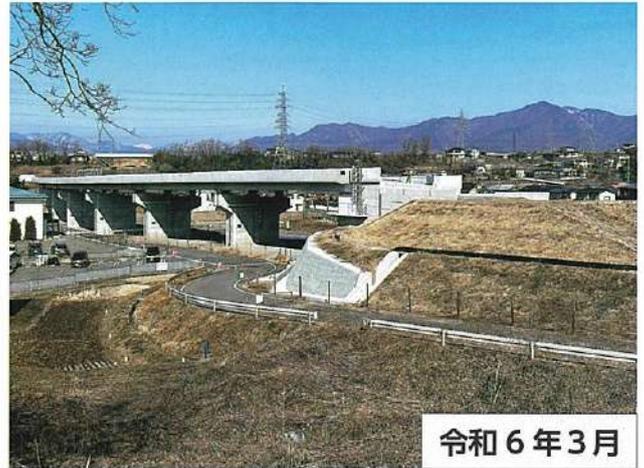
# 上田バイパス進捗



# 概要



令和5年1月



令和6年3月



## 【事業進捗状況】（令和6年3月末現在）

### 用地状況

【東御市区間】 用地取得率約 53%（昨年取得率約 48%）

① 深井地籍（市境～県道大屋（停）田沢線付近）0.9 km  
 設計協議：完了 用地測量、物件調査：完了  
 用地取得：実施中

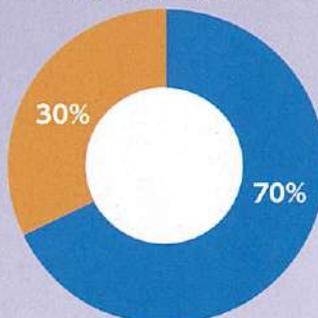
② 西海野地籍  
 （県道大屋（停）田沢線付近～国道18号和交差点）0.9 km  
 設計協議：完了 幅杭設置：完了  
 用地測量、物件調査：完了  
 用地取得：実施中



【上田バイパス延伸区間】

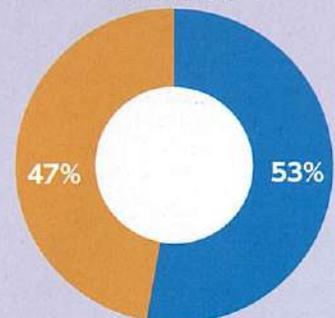
（上田市大字国分～東御市本海野）4.1 km  
 用地取得率 約 70%（昨年取得率約 68%）

上田バイパス全体



■ 用地取得済 ■ 用地未取得

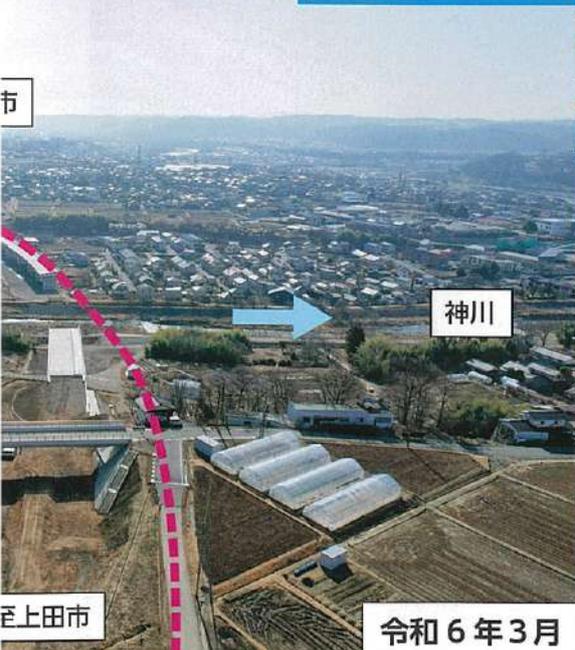
東御市区間



■ 用地取得済 ■ 用地未取得



上田市国分～芳田

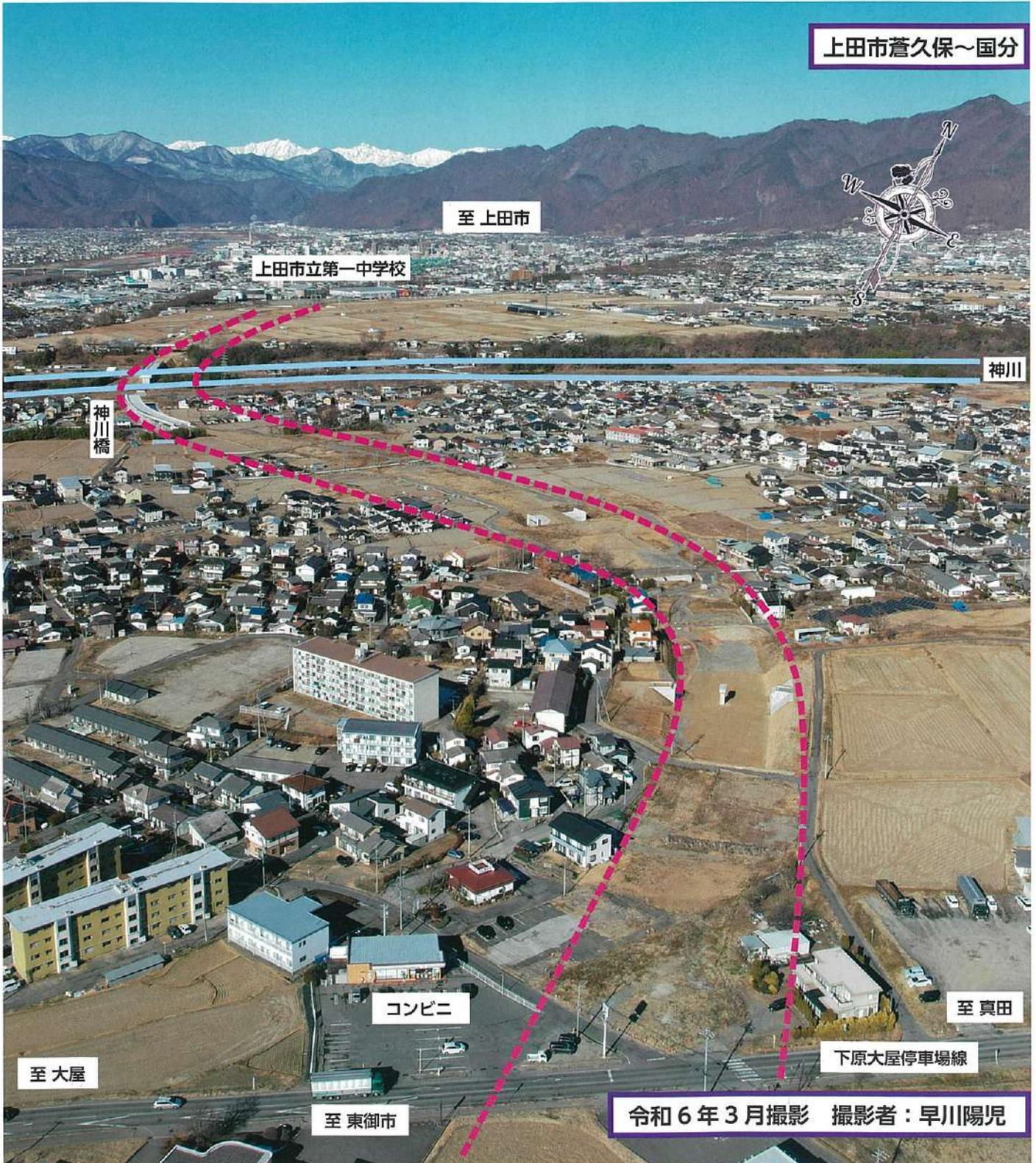


令和6年3月

# 今後のスケジュール

※参考資料 (再評価)一般国道18号上田バイパス(延伸) 令和3年7月13日 国土交通省関東地方整備

S46	S46	~	H21	H22	H23	~	H27	H28	H29	H30	R1	R2	R3	R4	R5	R6	R7以降
都市計画決定	○																
測量・調査・設計			○	○	○		○	○	○	○	○	○	○	○			
用地取得					○		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
埋蔵文化財調査													○	○	○	○	○
工事									○	○	○	○	○	○	○	○	○



令和6年3月撮影 撮影者：早川陽児

お問い合わせ ● 上田バイパス建設促進委員会事務局 (東御市役所建設課) TEL 64-5914 FAX 64-5881

## 能登半島地震被災地支援について

## 1 人的支援について【詳細は資料16-2】(市支援合計延べ26人、76日間)

## (1) チームながのによる支援

総務省の「応急対策職員派遣制度」による「対口支援団体」方式により、長野県として県、市長会、町村会合同による長野県合同災害支援チーム(チームながの)を編成し、「輪島市」「羽咋市」の求めに応じた業務の支援を5月31日まで実施。

## ア 廃棄物受入支援(延べ2人、14日間)

※チームながの全体(県・市町村) 延べ544人

## イ 被害認定調査支援(羽咋市延べ4人、輪島市2人 合計延べ6人、27日間)

※チームながの全体(県・市町村) 羽咋市・輪島市合計延べ1,974人

## ウ 避難所運営支援(延べ6人、18日間)

※チームながの全体(県・市町村) 延べ1,994人

## (2) 日本水道協会の要請による応援給水支援(延べ8人、11日間)

## (3) 日本医師会災害医療チーム(JMAT)の要請による医療支援(4人、6日間)

## 2 物的支援について

令和6年1月3日に石川県七尾市へ支援物資として備蓄品の一部を発送

支援物資	数量
アルファ米等食料品	3,600食
飲料水(2ℓ) ペットボトル	558本
ブルーシート(3.6m×3.6m)	41枚

## 3 その他支援について

## (1) 災害義援金募金箱3か所設置(市役所本館、総合福祉センター、市民病院)

設置期間: 1月4日~12月27日

## (2) 義援物資受入に関する情報提供(市ウェブサイト)

## (3) 災害ボランティア活動に関する情報提供(市ウェブサイト)

## (4) 2次避難先として市営住宅を3部屋提供可能と県に報告

※東御市への2次避難者なし

■ 能登半島地震被災地支援 人的支援状況表

資料16-2

総務部総務課

凡例: 東御市派遣関係 上小浜遺関係 チームながの シフト

(1) チームながのによる支援

支援	内容等	1月			2月			3月			4月			5月		
		上旬	中旬	下旬	上旬	中旬	下旬	上旬	中旬	下旬	上旬	中旬	下旬	上旬	中旬	下旬
羽咋市	ア 廃棄物受入	<div style="display: flex; justify-content: space-between;"> <span>上小浜訪10</span> <span>上小浜訪10</span> <span>松本北信6</span> <span>佐久上伊那6</span> <span>上小浜訪6</span> <span>飯伊大北6</span> </div> <div style="display: flex; justify-content: space-between;"> <span>飯伊大北10</span> <span>長野木曽10</span> <span>長野木曽6</span> <span>飯伊大北6</span> <span>長野木曽6</span> </div> <div style="display: flex; justify-content: space-between;"> <span>1月11日～17日 1陣10名 (上小・諏訪各5)</span> <span>1月28日～29日 2陣10名 (上小・諏訪各5)</span> <span>2月28日～3月5日 3陣6名 (上小・諏訪各3)</span> </div> <div style="display: flex; justify-content: space-between;"> <span>上田2・東御1 長和1・青木1</span> <span>上田2・東御1 長和1・青木1</span> <span>上田2・東御1 長和1・青木1</span> </div> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 10px auto; width: fit-content;">～R6.3.17対応終了</div>														
	イ 被害認定調査	<div style="display: flex; justify-content: space-between;"> <span>長野木曽10</span> <span>飯伊大北10</span> <span>松本北信10</span> <span>佐久上伊那10</span> <span>上小浜訪10</span> <span>飯伊大北10</span> <span>松本北信10</span> <span>佐久上伊那10</span> <span>上小浜訪10</span> <span>飯伊大北10</span> <span>長野木曽10</span> <span>松本北信10</span> <span>佐久上伊那10</span> <span>上小浜訪10</span> <span>飯伊大北10</span> <span>長野木曽10</span> </div> <div style="display: flex; justify-content: space-between;"> <span>2月18日～24日 1陣10名 (上小・諏訪各5)</span> <span>3月31日～4月6日 2陣10名 (上小・諏訪各5)</span> <span>5月6日～11日 3陣10名 (上小・諏訪各5)</span> </div> <div style="display: flex; justify-content: space-between;"> <span>上田2・東御1 長和1・青木1</span> <span>上田2・東御1 長和1・青木1</span> <span>上田3・東御2</span> </div>														
輪島市	ウ 避難所運営	<div style="display: flex; justify-content: space-between;"> <span>松本3</span> <span>松本3</span> <span>上小6</span> <span>諏訪3～4</span> <span>上小4</span> <span>長野3～4</span> <span>長野3～4</span> <span>佐久3</span> <span>佐久3</span> <span>飯伊3～4</span> <span>飯伊3～4</span> <span>松本2</span> <span>松本2</span> <span>上小2</span> <span>上小2</span> <span>長野2</span> <span>長野2</span> <span>佐久2</span> <span>佐久2</span> </div> <div style="display: flex; justify-content: space-between;"> <span>北信3</span> <span>北信3</span> <span>諏訪3～4</span> <span>諏訪4</span> <span>木曽3～4</span> <span>木曽3～4</span> <span>上伊那3</span> <span>上伊那3</span> <span>大北3～4</span> <span>大北3～4</span> <span>北信3～4</span> <span>北信3～4</span> <span>諏訪3～4</span> <span>諏訪4</span> <span>木曽3～4</span> <span>木曽3～4</span> <span>上伊那2</span> <span>上伊那2</span> <span>大北2</span> <span>大北2</span> <span>北信2</span> <span>北信2</span> <span>諏訪2</span> </div> <div style="display: flex; justify-content: space-between;"> <span>1月30日～2月4日 1陣 (上小6)</span> <span>2月7日～12日 2陣 (上小4)</span> <span>3月6日～11日 3陣 (上小6)</span> <span>3月14日～19日 4陣 (上小4)</span> </div> <div style="display: flex; justify-content: space-between;"> <span>上田6</span> <span>東御2・長和2</span> <span>上田6</span> <span>東御2・青木2</span> </div> <div style="display: flex; justify-content: space-between;"> <span>4月19日～24日 5陣 (上小2)</span> <span>4月27日～5月2日 6陣 (上小2)</span> </div> <div style="display: flex; justify-content: space-between;"> <span>上田2</span> <span>東御2</span> </div> <div style="display: flex; justify-content: space-between;"> <span>5月25日～30日 7陣 (上小2)</span> <span>上田2</span> </div>														
	イ 被害認定調査	<div style="display: flex; justify-content: space-between;"> <span>松本北信4</span> <span>長野木曽4</span> <span>上小諏訪4</span> <span>長野木曽4</span> <span>上小諏訪4</span> <span>飯伊大北4</span> <span>松本北信4</span> <span>佐久上伊那4</span> <span>飯伊大北4</span> <span>松本北信4</span> <span>上小諏訪4</span> </div> <div style="display: flex; justify-content: space-between;"> <span>4月12日～業務開始</span> <span>4月28日～5月3日 1陣2名 (上小・諏訪各2)</span> <span>5月14日～19日 2陣2名 (上小・諏訪各2)</span> <span>5月28日～31日 3陣2名 (上小・諏訪各2)</span> </div> <div style="display: flex; justify-content: space-between;"> <span>長和1・青木1</span> <span>上田2</span> <span>上田2</span> <span>東御2</span> </div>														

(2) 日本水道協会、(3) 日本医師会災害医療チーム(JMAT)からの要請による支援

支援	内容等	1月			2月			3月			4月			5月		
		上旬	中旬	下旬	上旬	中旬	下旬	上旬	中旬	下旬	上旬	中旬	下旬	上旬	中旬	下旬
石川県内	応援給水	<div style="display: flex; justify-content: space-between;"> <span>1月9日～19日 第4陣 東御市4 給水車1</span> <span>2月21日～28日 第10陣 東御市4 給水車1</span> </div>														
石川県内	医療	<div style="display: flex; justify-content: space-between;"> <span>2月5日～10日 東御市4 (常設医療 医師会々々)</span> </div>														

## 第3期総合戦略の策定方針について

令和6年6月

### 1 策定の趣旨

本市では、平成27年度に「東御市まち・ひと・しごと創生総合戦略」を策定してから、現在まで2期にわたり地方創生を推進しています。

令和6年度は、第2期総合戦略の最終年にあたることから、国の「デジタル田園都市国家構想総合戦略」を勘案し、デジタルの力や地域の特色を活かした施策を戦略的に展開していくため、令和7年度を初年度とする「東御市まち・ひと・しごと創生第3期総合戦略」を策定します。

### 2 計画期間

計画期間は令和7年度から令和10年度までの4年間とします。

※第3期総合戦略の終了時期は、総合計画・前期基本計画の終了時期と合わせ、最終的には総合戦略と後期総合計画との統合を検討します（図1）。

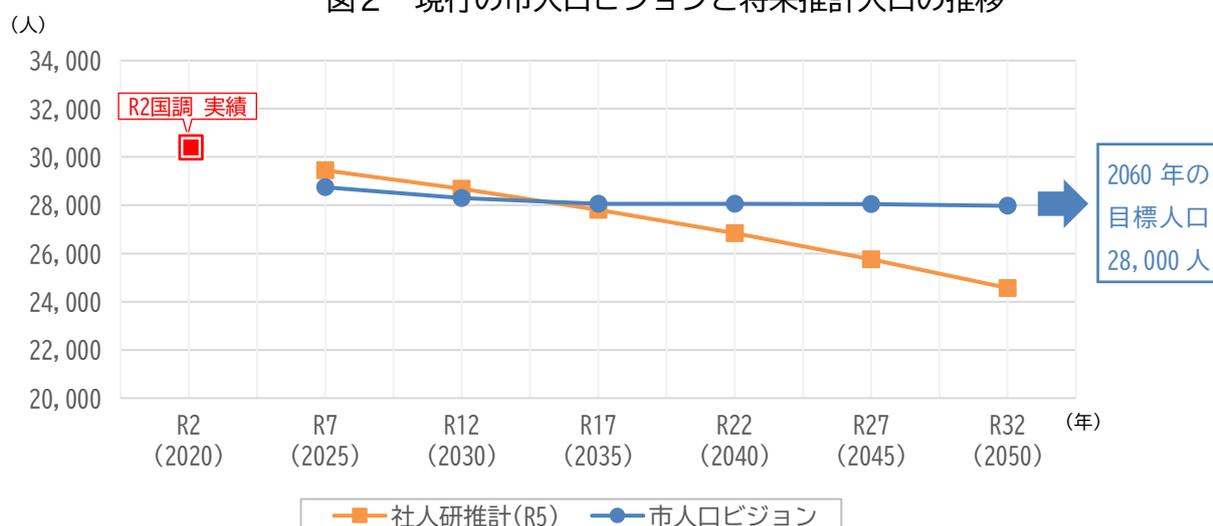
図1 総合計画と総合戦略の統合の検討



### 3 東御市人口ビジョンの改訂

国立社会保障・人口問題研究所が公表した将来推計人口データ（図2）等を踏まえ、令和6年度中に、市人口ビジョンのデータを最新化します。

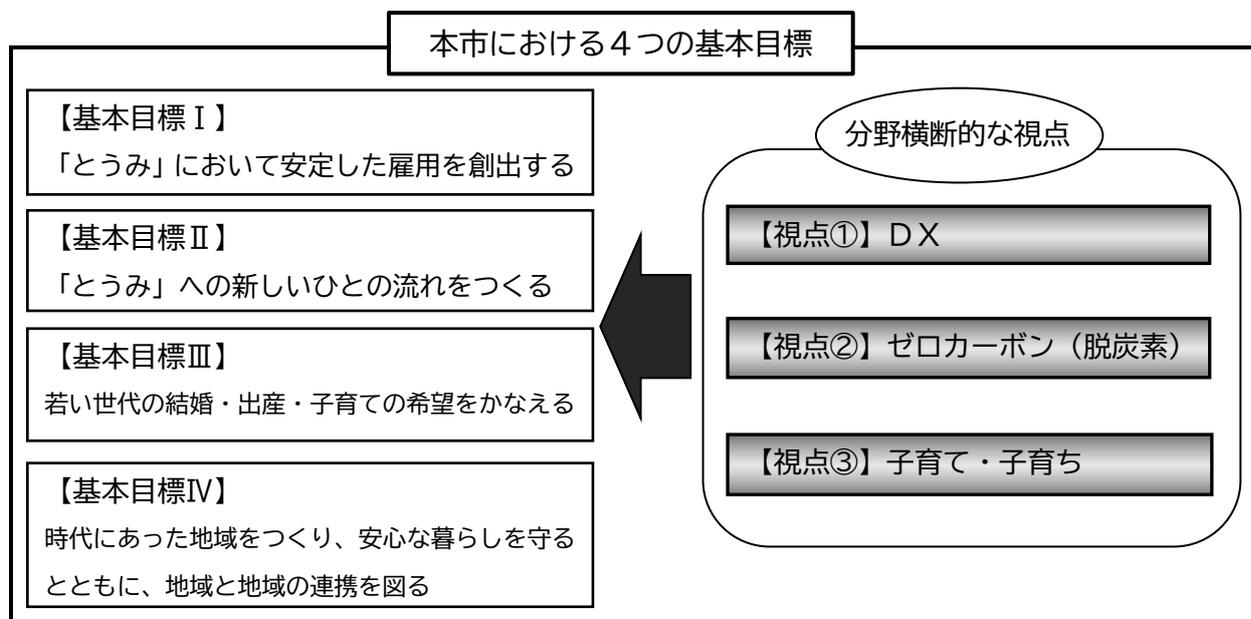
図2 現行の市人口ビジョンと将来推計人口の推移



## 4 計画策定にあたっての基本的な視点

これまでの取り組みで根付いた地方創生の意識を継続するため、現行戦略の大枠を維持しつつ、分野横断的に推進する「DX」「ゼロカーボン（脱炭素）」「子育て・子育て」等の視点を取り入れた施策を展開します。

また、国ではエビデンス（統計データなどの合理的根拠）に基づく政策立案を推進していることから、アウトカム指標を原則とした重要業績評価指標（KPI）を設定し、PDCA サイクルにより管理します。



## 5 策定スケジュール

時期	会議・内容等
5月27日	・まちづくり審議会（諮問）
6月10日	・市議会全員協議会（策定方針について）
9月	・まちづくり審議会（骨子について）
12月	・まちづくり審議会（素案について） ・市議会全員協議会（素案について） ・パブリックコメント
令和7年3月	・まちづくり審議会（答申） ・策定

## 東御市スポーツ推進月間

## 「チャレンジ・スポーツ・エイト」の実施について

## 1 開催趣旨

2014年から参加してきた住民総参加型スポーツイベント『チャレンジデー』は昨年をもって終了することとなりましたが、これまで培ってきた経験を引継ぎ、日常生活における市民の運動・スポーツの習慣化と、新たな運動・スポーツチャレンジへのきっかけづくりに加え、多分野との横断的な連携も含め、東御市では新イベント「チャレンジ・スポーツ・エイト」を開催し、スポーツ月間の定着化を図ります。

## 2 実施目的

- ・運動・スポーツを日常に取り込む
- ・身体を動かすことで地域住民が元気になる
- ・楽しく様々な運動・スポーツに親しめる
- ・「する」「見る」「支える」環境を整備することで、運動・スポーツを通じたつながりをつくる

## 3 開催期間

2024年7月30日（火）～9月1日（日）

## 4 主なプログラム

7/30、8/10, 11	みんなで応援！パリ五輪パブリックビューイング	
8/3	雷電まつり ダンスパフォーマンス	
8/17	「ボッチャ」体験会	
8/24	芝生広場で朝活！ラジオ体操 ～ NHK テレビ体操出演者と ～	
8/29	日本体育大学体操部発表会	他

※詳細スケジュールは裏面（関連イベント含む）

## チャレンジスポーツエイト イベントスケジュール(7~9月)

▲…関連イベント

月	日	日時	時間	イベント	会場	内容	
7	30	火	14:30~	みんなで応援！パリ五輪パブリックビューイング (男子トリアスロン)	中央公民館ロビー	GMOアスリートパークにて練習を行った選手の活躍を観戦	
	31	水					
	1	木					
	2	金	18:00~	▲えらべる運動教室 ～ラクなからだの使い方(眼・腕・呼吸)	保健センター	ラクで疲れない姿勢やからだの使い方の学習	
	3	土	14:00~	雷電まつり Summer Fest. RAIDEN	田中商店街	音楽とダンス、散水と水鉄砲の水まきイベント	
	4	日					
	5	月					
	6	火					
	7	水	9:00 10:00	金藤理絵さん 水泳教室	市民プール	リオデジャネイロ五輪金メダリスト、金藤理絵さんによる一般向け水泳教室	
	8	木					
	9	金	18:00~	▲えらべる運動教室 ～ラクなからだの使い方(生活動作・農作業)	保健センター		
	8	10	土	6:30~	朝活①ウォーキング	中央公園芝生広場	
				14:30~	みんなで応援！パリ五輪パブリックビューイング (男子マラソン)	中央公民館ロビー	GMOアスリートパークにて練習を行った選手の活躍を観戦
		11	日	14:30~	みんなで応援！パリ五輪パブリックビューイング (女子マラソン)	中央公民館ロビー	GMOアスリートパークにて練習を行った選手の活躍を観戦
		12	月				
		13	火				
14		水					
15		木					
16		金					
17		土	6:30~	朝活②ピラティス	中央公園芝生広場	交替わりの体操	
			10:00~	パラリンピック競技『ポッチャ』体験会	第二体育館	一般向け『ポッチャ』の体験	
18		日					
19	月						
20	火						
21	水						
22	木						
23	金						
24	土	6:30~	朝活③ラジオ体操 ～ NHKテレビ体操出演者と ～	中央公園芝生広場	NHKテレビ体操等アシスタントによるラジオ体操		
		夕方~	▲アサマスタークロスウォーク	中央公園～湯の丸高原～高峰マウンテンパーク～小諸城	夕方から翌朝方にかけて上信越高原国立公園内の林道等を歩行するナイトウォーキング		
25	日						
26	月						
27	火						
28	水	午前	日本体育大学体操部 夏合宿支援・交流イベント 小中学校指導	市内小中学校	日大体操部による市内小中学校での体育指導		
29	木	夕方	日本体育大学体操部 夏合宿支援・交流イベント 演技発表会	第一体育館	毎年恒例の日大体操部による演技発表 みんなで「Tomi to me!」を踊ろう		
30	金						
31	土	13:00~	東御市水泳大会(市民プール)	市民プール			
9	1	日		湯の丸ヒルクライム	新張～湯の丸高原	11km、標高差1,000mを駆け上がる自転車ヒルクライム	



## 刀剣振興事業の進捗について

### 1 展覧会名・ロゴ



—繋ぐもの— 源清麿、山浦真雄、山浦兼虎、そして宮入法廣へ

### 2 展覧会キャッチコピー

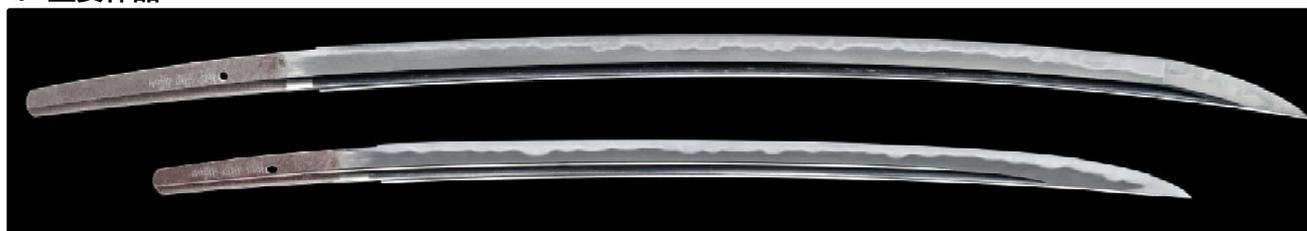
きよまる、帰る。

### 3 開催趣旨

2004年（平成16年）4月1日、小県郡東部町と北佐久郡北御牧村が合併して誕生した「東御市」は、今年度市政発足20周年を迎えました。この記念事業の一環として、企画展「東御の刀鍛冶—繋ぐもの—源清麿、山浦真雄、山浦兼虎、そして宮入法廣へ」では、江戸末期に活躍した東御市滋野出身の山浦真雄・源清麿（山浦環）の山浦兄弟と、現在東御市八重原に鍛錬場を構え作刀する宮入法廣氏ら東御市ゆかりの刀工をテーマとした展覧会を開催します。

本企画展では、江戸に出た清麿が故郷に初めて帰る展覧会であり、兄の真雄から現代の刀工宮入法廣まで、東御市ゆかりの刀工にスポットをあて、その魅力と人気を探ります。

### 4 主要作品



刀 銘：源清麿（号 一期一腰の大）

脇差 銘：源清麿（号 一期一腰の小）

### 5 概要

- (1)会 期：2024（令和6）年9月14日（土）～11月24日（日）
- (2)会 場：東御市梅野記念絵画館・ふれあい館 長野県東御市八重原 935-1
- (3)出品作品(予定):源清麿6振、水心子正秀1振、大慶直胤1振、山浦真雄7振、山浦兼虎4振、宮入法廣3振
- (4)展示点数:22振
- (5)関連企画：・民間事業者とのコレボレーションの検討
  - ・宮入法廣刀匠アーカイブ動画公開
  - ・刀剣関連史跡等周遊マップの公開・配布、市内周遊バスの運行
  - ・刀剣勉強会、刀剣鑑賞会、ギャラリートーク

## 6 新館長就任について



このたび、東御市梅野記念絵画館・ふれあい館館長大竹永明が令和6年3月31日をもちまして退任いたしました。新たに特別館長として、令和6年4月1日付で岡部昌幸（おかべまさゆき）が就任いたしましたのでお知らせします。

### (1)経歴

岡部昌幸（おかべ・まさゆき）

1957年横浜生まれ。早稲田大学第一文学部美術史専攻、同大学院文学研究科芸術学(美術史)専攻博士前期課程修了、横浜市美術館準備室学芸員、東京都庭園美術館専門調査員等をへて、1992年帝京大学文学部史学科専任講師に就任。同助教授、教授をへて帝京大学大学院文学研究科日本史・文化財学専攻教授(美術史)、2023年4月同名誉教授。群馬県立近代美術館特別館長(2017年2月より同館館長、2020年4月より職名変更、現職)、日本フェノロサ学会会長、畠山記念館顧問等を兼務。専攻は西洋近代美術および日本近代美術、写真史、装飾美術史、ジャポニスム。リヴィジヨニズムとグローバル・アート・ヒストリーの視点で、ネグレクト(不当に評価)された美術、分野、美術家を歴史的に研究、啓蒙し、展覧会の企画を行う。

### (2)著書

レンブラントとフェルメール	近代美術の都モスクワ
渡辺省亭：花鳥画の孤高なる輝き	JAPAN ロバート・ブルーム画集
すぐわかる画家別西洋絵画のみかた	ジャポニスム入門(共編著)
すぐわかる作家別写真の見かた	ほか多数
日本でしか観られない世界的な名画	

### (3)企画・監修した主要な展覧会

- 洋画の動乱－昭和10年 帝展改組と洋画壇 日本・韓国・台湾(1992)
- 大正日本画の若き俊英たち：今村紫紅と赤曜会(1993)
- 正統なる造形－GOZO：20世紀アメリカに生きた彫刻家川村吾蔵(1995)
- フォンタネージと日本の近代美術：志士の美術家たち(1997)
- 華麗なる馬たち：馬と人間の美術史・バロックから近代まで(1998)
- 川端龍子(2005)
- 二世五姓田芳柳と近代洋画の系譜：近代の歴史画の開拓者(2006)
- ジャポニスムのテーブルウエア 西洋の食卓を彩った“日本”(2009)
- 生誕130年 竹久夢二展 ベル・エポックを生きた夢二とロートレック(2014)
- サラ・ベルナールの世界－パリ世紀末ベル・エポックに咲いた華(2018) ほか多数